

令和5年度 西成田コミュニティセンター増設工事（繰越）

閲覧特記仕様書

1. 工事实績情報登録

工事实績情報の登録について、契約締結後10日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。

2. 官庁その他への手続き関係

イ) 工事施工に必要な諸手続き、仮設用電力・水道の引込手続き（設計審査手数料及び竣工検査手数料を含む）、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ) 本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。

又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

3. 下請負契約、雇用及び購入業者選定

下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷市内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

4. 建材等について

工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

5. 製本図の提出

工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図縮小製本（A－3版二つ折り製本）3部を提出すること。

令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

図面リスト

A 建築 (全体)		E 電気設備		M 機械設備	
1	表紙・図面リスト	29	増築・既存 建具表、建具キープラン	1	改修機械設備工事特記仕様書①
2	改修特記仕様書 ①	30	既存 外構配置図	2	改修機械設備工事特記仕様書②
3	改修特記仕様書 ②	31	増築 外構図	3	改修機械設備工事特記仕様書③
4	改修特記仕様書 ③	32	既存 外構詳細図	4	改修機械設備工事特記仕様書④
5	改修特記仕様書 ④	33	増築 外構詳細図	5	既存 機械設備図①
6	改修特記仕様書 ⑤	34	増築 基礎伏せ図、基礎詳細図	6	既存 機械設備図②
7	改修特記仕様書 ⑥	35	増築 床伏図、梁伏せ図、小屋伏図	7	既存 機械設備図③
8	改修特記仕様書 ⑦	36	増築 防音パネル詳細図	8	増築 給排水、空調調和設備図
9	改修特記仕様書 ⑧	37	増築 軸組計算書	9	増築 換気、スプリンクラー設備図
10	改修特記仕様書 ⑨	38	仮設工事図面		
11	改修特記仕様書 ⑩	39			
12	各工事の区分表	40			
13	位置図、区域図	41	解体工事特記仕様書①		
14	敷地求積図	42	解体工事特記仕様書②		
15	配置図	43			
16	既存 建物面積表	44			
17	既存 平面図	45			
18	既存 平面詳細図	46			
19	増築 平面図	47			
19-2	増築 平面詳細図				
20	既存 立面図				
21	増築 立面図				
22	既存 屋根・天井伏図				
23	増築 屋根・天井伏図				
24	増築部 断面図				
25	増築部 矩計図				
26	既存 展開図 (物入、納戸、職員室、ﾌﾞﾚｲﾙｰﾑ)				
27	増築部 展開図 (職員室)				
28	既存 建具表				合計 58枚

株式会社 池下建築設計 一級建築士事務所

〒981-3302 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3

Tel・Fax 022-348-8555

E-mail ikesita@sunny.ocn.ne.jp

<http://www.hisayuki.info/>

3 防水改修工事
屋根露出防水（既存）
新設防水層の種類
改修工法 新設種別 施工箇所
仕上塗料 種類 使用量
断熱材 備考
・M4C
・C-1
・C-2
・C-3
・C-4
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・M3D
・POD
・D-1
・D-2
・D-3
・D-4
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
※3.3.2(9)種類
厚さ
・有 ・無
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
絶縁断熱工法のルーフトロン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)
屋根防水
防水層の種類
改修工法 種別 施工箇所
・PIE
・P2E
・E-1
・E-2
保護層 ・設ける (※図示による)
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝
※図示による
5. 改質アスファルトシート防水 <3.4.2、3>
屋根露出防水（既存）
新設防水層の種類
改修工法 新設種別 施工箇所
仕上塗料 種類 使用量
断熱材 備考
・M4AS
・AS-T1
・AS-T2
・AS-J2
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・M3AS
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・AS-J2
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・POAS
・AS-T3
・AS-T4
・AS-J1
・AS-J3
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
防湿層
・有 ・無
・M3ASI
・M4ASI
・POASI
・ASI-T1
・ASI-T2
・ASI-T3
・ASI-T4
・ASI-J1
・ASI-J2
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
厚さ
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
防湿層
・有 ・無
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ ()mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)

6. 合成高分子系ルーフィングシート防水
絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない
<3.5.2~4><表3.5.1~3>
新設防水層の種類
改修工法 新設種別 施工箇所
仕上塗料 種類 使用量
断熱材 備考
・S-F1
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・POS
・S4S
・S-F2
・S-M1
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・S-M2
・S-F1
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・S-F2
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・S-F1
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・S-M2
・S-F1
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・S-F2
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・S-M1
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・S-M2
・製造所の仕様 ※製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
※軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する
・設置しない
屋内防水
防水層の種類
種別 種別 施工箇所
保護層
坪場の保護モルタル塗厚 立上り部の保護モルタル塗厚
・PIS
・S-C1
・7mm以下
平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
目地の種類
※押し目地
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類
厚さ
mm以上
絶縁シート
※発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う (※図示による)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合)
・行う (※図示による)
・行わない
新設防水層の種類 <3.6.2、3>
改修工法 新設種別 施工箇所
仕上塗料 種類 使用量
備考
・POX
・X-1
・X-2
・X-1H
・X-2H
・主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
改修用ドレン
・有 ・無
・L4X
・X-1
・X-2
・X-1H
・X-2H
・主材料の製造所の仕様 ※主材料の製造所の仕様
脱気装置
・有 ・無
ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※主材料の製造所の仕様
設置数量 ※主材料の製造所の仕様 (個)

8. シーリング
新設防水層の種類
改修工法 新設種別 施工箇所
工程数及び各工程の使用量
保護層
・PIY
・Y-2
※主材料の製造所の仕様
・設ける
・設けない
・P2Y
・Y-2
※主材料の製造所の仕様
・設ける
・設けない
シーリング改修工法の種類 <3.1.4><3.7.2、3、7、8>
①シーリング充填工法
②シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
・ブンドプレーカー張り
・適用する
・適用しない
エッジング材張り
・適用する
・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.11による。
施工箇所 シーリング材の種類(記号)
外壁目地、バルコニー建具枠周り SR-1(1)フロン (1成分形)
仕上げを行わない施工箇所
・図示による
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書表3.7.3(1)による
・図示による
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験
とその他の材料
・配管用鋼管
①硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフトロン
・表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類)
と受金物
材料
※改修標準仕様書表3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)
形状
※市販品 (と径100以下)
※25×4.5以上 (と径100を超えるもの)
取付け間隔
※改修標準仕様書表3.8.2による
足金物
材料
※改修標準仕様書表3.8.2による (溶融亜鉛めっきを行ったもの)
形状
※市販品
取付け間隔
※改修標準仕様書表3.8.2による
多雪地域
・適用する
・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による
鋼管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
ルーフトロンの種類及び呼び
種別 呼び 施工箇所
・ろく屋根用たて形I型 ※ねじ込み式 80・100・125・150
・ろく屋根用横形I型 ※ねじ込み式 80・100・125・150
・バルコニー中継用 ※ねじ込み式 50・80・100
・差し込み式 50・75・100
・差し込み式 50・80・100
・差し込み式 50・75・100
たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフトロンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
種類 <3.9.2、3>
・オープン形式 (・押出250形 ・押出300形 ・押出350形)
・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・シール形式)
本体幅 ()mm 板厚 (※2.0mm)mm
表面処理
種別 ()種
色合等 ・標準色 () ・特注色 ()
既存笠木の撤去
・行う (範囲 ・図示による)
・行わない
下地補修の工法
※図示による
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による

11. 防水保証
アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名のうえ、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。
1. ひび割れ部改修工法 <4.1.4><4.3.5、6、7、8>
・樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) 延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
0.2以上~1.0未満 ※200~300 130
・手動式エポキシ樹脂注入工法
0.2以上~0.3未満 ・50~100 ・40
・機械式エポキシ樹脂注入工法
0.3以上~0.5未満 ・100~200 ・70
0.5以上~1.0未満 ・150~250 ・130
注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mmごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
※図示による
・Uカットシール材充填工法
工法の種類 ひび割れ幅(mm) 延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂
0.2以上~0.3 未満
0.3以上~0.5 未満
0.5以上~1.0 未満
1.0超過
1.0超過~1.5 未満
1.5以上~2.0 未満
以上~未満
・シーリング材
ひび割れ幅(mm)
0.2以上~0.3 未満
0.3以上~0.5 未満
0.5以上~1.0 未満
1.0超過
1.0超過~1.5 未満
1.5以上~2.0 未満
以上~未満
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
・行う ・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書表3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
工法の種類 ひび割れ幅(mm) 延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂
0.2未満
・可とう性エポキシ樹脂
・充填工法 <4.1.4><4.2.4、7>
材料 平均深さ(mm) 平均広さ(m) 延べ箇所数
・ポリマーセメントモルタル
5~10未満
10~15未満
15~20未満
20~25未満
25~30未満
30~35未満
35~40未満
・エポキシ樹脂モルタル
25~30未満
30~35未満
35~40未満
1. ひび割れ部改修工法 <4.1.4><4.3.5、6、7、8>
・樹脂注入工法
工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) 延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
0.2以上~1.0未満 ※200~300 130
・手動式エポキシ樹脂注入工法
0.2以上~0.3 未満 ・50~100 ・40
・機械式エポキシ樹脂注入工法
0.3以上~0.5 未満 ・100~200 ・70
0.5以上~1.0 未満 ・150~250 ・130
注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mmごと及びその端数につき1個
抜き取り部の補修方法
※図示による
・Uカットシール材充填工法
工法の種類 ひび割れ幅(mm) 延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂
0.2以上~0.3 未満
0.3以上~0.5 未満
0.5以上~1.0 未満
1.0超過
1.0超過~1.5 未満
1.5以上~2.0 未満
以上~未満
・シーリング材
ひび割れ幅(mm)
0.2以上~0.3 未満
0.3以上~0.5 未満
0.5以上~1.0 未満
1.0超過
1.0超過~1.5 未満
1.5以上~2.0 未満
以上~未満

4-2	外壁 改修工事 モルタル塗り 仕上げ外壁	<p>・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系</p> <p>シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>延べ長さ(m)</th> </tr> <tr> <td>・パテ状エポキシ樹脂</td> <td rowspan="2">0.2未満</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td></td> </tr> </table> <p>・充填工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ(mm)</th> <th>平均広さ(m)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ポリマーセメントモルタル</td> <td>5~10未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10~15未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15~20未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20~25未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>25~30未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・エポキシ樹脂モルタル</td> <td>30~35未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>35~40未満</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・モルタル塗替え工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ(mm)</th> <th>平均広さ(m)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> <tr> <td>・現場調合材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・既調合材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調合材料 ()</p> <p>既製目地材 ・使用する(形状・図示による) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)	・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満		・可とう性エポキシ樹脂		材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・ポリマーセメントモルタル	5~10未満			10~15未満			15~20未満			20~25未満			25~30未満			・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満			35~40未満			材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・現場調合材料				・既調合材料			
		工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)																																													
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満																																																
・可とう性エポキシ樹脂																																																	
材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																														
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満																																																
	10~15未満																																																
	15~20未満																																																
	20~25未満																																																
	25~30未満																																																
・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満																																																
	35~40未満																																																
材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																														
・現場調合材料																																																	
・既調合材料																																																	
2. 欠損部改修工法	<p>・充填工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ(mm)</th> <th>平均広さ(m)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> <tr> <td rowspan="5">・ポリマーセメントモルタル</td> <td>5~10未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10~15未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15~20未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>20~25未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>25~30未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・エポキシ樹脂モルタル</td> <td>30~35未満</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>35~40未満</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・モルタル塗替え工法</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>平均深さ(mm)</th> <th>平均広さ(m)</th> <th>延べ箇所数</th> </tr> <tr> <td>・現場調合材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・既調合材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調合材料 ()</p> <p>既製目地材 ・使用する(形状・図示による) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による</p>	材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・ポリマーセメントモルタル	5~10未満			10~15未満			15~20未満			20~25未満			25~30未満			・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満			35~40未満			材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数	・現場調合材料				・既調合材料												
材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																														
・ポリマーセメントモルタル	5~10未満																																																
	10~15未満																																																
	15~20未満																																																
	20~25未満																																																
	25~30未満																																																
・エポキシ樹脂モルタル	30~35未満																																																
	35~40未満																																																
材料	平均深さ(mm)	平均広さ(m)	延べ箇所数																																														
・現場調合材料																																																	
・既調合材料																																																	

2.	ひび割れ部 改修工法	<p>・樹脂注入工法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(mL/m)</th> <th>延べ長さ(m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0未満</td> <td>※200~300</td> <td>・130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>・50~100</td> <td>・40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>・100~200</td> <td>・70</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>・150~250</td> <td>・130</td> <td></td> </tr> </table> <p>注入状況の確認方法 ※コアの抜き取りを行う 抜き取り箇所 ※長さ500mごと及びその端数につき1箇所</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示による</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130		・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40		・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70			0.5以上~1.0未満	・150~250	・130	
	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0未満	※200~300	・130																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	・50~100	・40																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	・100~200	・70																								
	0.5以上~1.0未満	・150~250	・130																								
3.	欠損部改修工法	<p>・タイル部分張替え工法</p> <p>接着剤の種類 ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 施工数量： 平均広さ() m 延べ箇所数() 箇所</p> <p>・タイル張替え工法</p> <p>張替え用材料 ・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル (・現場調合材料 ・既調合モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書表4.4.21による ・図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない 施工数量： 平均広さ() m 延べ箇所数() 箇所</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>タイル張りの工法 ・外装タイル ・密着張り ・ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系</p> <p>伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p>																									

4-4	外壁 改修工事 塗り 仕上げ外壁	<p>・タイル張替え工法</p> <p>張替え用材料 ・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形成シリコーン樹脂系 ・張付けモルタル (・現場調合材料 ・既調合モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※改修標準仕様書表4.5.11による ・図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着剤試験 ・行う ・行わない 施工数量： 平均広さ() m 延べ箇所数() 箇所</p> <p>・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ・目荒し工法(改修標準仕様書4.3.10(3)による)</p> <p>タイル張りの工法 ・外装タイル ・密着張り ・ユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り シーリング 改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p> <p>・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ・目荒し工法(改修標準仕様書4.4.9(3)による)</p> <p>シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系</p> <p>伸縮調整目地その他の目地 ※変成シリコーン系</p> <p>シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章 防水改修工事による。</p>
		5. 目地改修工法

4.	マステック 塗材塗り	<p>・複層仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> <td>樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック</td> <td>※耐候形 3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>溶媒 ※水系</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・可とう形複層塗材CE</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形複層塗材CE</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> <td>樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック</td> <td>※耐候形 3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>溶媒 ※水系</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E</td> <td>・凸部処理 ・凹凸状</td> <td>・吹付け</td> <td>樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック</td> <td>※耐候形 3種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>溶媒 ※水系</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・可とう形改修用仕上げ塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類(呼び名)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材の種類</th> <th>耐候性</th> <th>防火材料</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE</td> <td>・平たん状</td> <td>・吹付け</td> <td>樹脂</td> <td>・耐候形 1種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・さざ波状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>外観</td> <td>・耐候形 2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ゆず肌状</td> <td>・ローラー塗り</td> <td>溶媒</td> <td>・耐候形 3種</td> <td></td> </tr> </table>	種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック	※耐候形 3種		・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ※水系			種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック	※耐候形 3種		・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ※水系			種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック	※耐候形 3種		・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ※水系			種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料	・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状	・吹付け	樹脂	・耐候形 1種		・さざ波状	・ローラー塗り	外観	・耐候形 2種			・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒	・耐候形 3種	
		種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																					
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック	※耐候形 3種																																																																								
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ※水系																																																																									
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																							
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック	※耐候形 3種																																																																								
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ※水系																																																																									
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																							
・防水形複層塗材CE ・防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※7ポリ系 ・外観 ※つやあり ・メリック	※耐候形 3種																																																																								
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒 ※水系																																																																									
種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料																																																																							
・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状	・吹付け	樹脂	・耐候形 1種																																																																								
	・さざ波状	・ローラー塗り	外観	・耐候形 2種																																																																								
	・ゆず肌状	・ローラー塗り	溶媒	・耐候形 3種																																																																								
5.	外壁用塗膜 防水材塗り	<p>種別 ・A種 ・B種</p> <p>仕上げの形状 ・A種 ・B種</p> <p>工法 ・A種 ・B種</p> <p>仕上塗料の耐候性</p> <p>下地挙動緩衝材の適用 ・適用する ・適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修)による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)による。</p> <p>吹付け工法の模様材の種類 ・(所要量 (kg/m²)) 外壁用仕上げ塗料の種類 ・(所要量 (kg/m²)) 既設塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事(塗仕上げ外壁等改修)による。</p>																																																																										

4-3	外壁 改修工事 タイル張り 仕上げ外壁	<p>1. タイルの形状 寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th>タイルの形状、寸法等</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑</th> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>施す</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>標準</td> <td>特注</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一体成形とする。 見本焼き ・行う(施工箇所：) ・行わない 試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示による) ・行わない</p>	タイルの形状、寸法等	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	施工箇所	I類 II類 III類	施す	有	無	標準	特注								<p>4. 浮き部改修工法</p> <p>アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ・ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度(cm/s)</th> <th>長さ変化量(収縮率)</th> <th>引張接着性(N/mm²)</th> <th>曲げ性能(N/mm²)</th> <th>吸水性(%)</th> <th>耐久性(劣化曲げ強さ(N/mm²))</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以下</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00</p> <p>充填工法用材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・現場調合材料 (セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による) ・既調合材料 () 既製目地材 ・使用する(形状・図示による) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示による</p>	広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮率)	引張接着性(N/mm ²)	曲げ性能(N/mm ²)	吸水性(%)	耐久性(劣化曲げ強さ(N/mm ²))	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上	<p>設計年月日</p> <p>調査者氏名</p> <p>設計者氏名 池下 久幸 一級建築士 第280837号</p> <p>工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事 図面名称 Scale</p> <p>全業</p> <p>図面 No A-4</p>
タイルの形状、寸法等	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑																															
施工箇所	I類 II類 III類	施す	有	無	標準	特注																															
広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮率)	引張接着性(N/mm ²)	曲げ性能(N/mm ²)	吸水性(%)	耐久性(劣化曲げ強さ(N/mm ²))																																
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上																																

(株)池下建築設計
事務所登録 宮城県 第21610219号

改修特記仕様書 (3)

A-4

5	⑤ アルミニウム製建具 5 建具改修工事	性能値等 <5.2.2~5><表 5.2.2> 耐風圧性の等級 (・S-5) (建具番号・建具表による)) 気密性の等級 (・A-3) (建具番号・建具表による)) 水密性の等級 (・W-3) (建具番号・建具表による)) 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具番号・建具表による)) ○B種 (建具番号・建具表による)) ・C種 (建具番号・建具表による)) 枠の見込み寸法 (・建具表による) 70) 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具番号:・建具表による)) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-3) (建具番号:・建具表による)) 材料 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 表面処理 外部に面する建具 種類 ※BB-1 ・BB-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ○標準色 ・特注色 屋内の建具 種類 ※BC-1 ・BC-2 (改修標準仕様書表5.2.2) 着色 ○標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ・水貯め式 ○排水式 工法 水切り板、ぜん板 ※図示による	9. 鋼製軽量建具 <5.2.2><5.2~4> 性能値等 簡易気密型ドアセット ※適用する (建具番号:・建具表による)) ・適用しない 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・) (建具番号:・建具表による)) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・) (建具番号:・建具表による)) 材料 鋼板 ・亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合わせ、縦小口包み板の性質 ※鋼板 ステンレス製のくつずりの仕上げ ※HL 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※改修標準仕様書表5.5.1による ・ mm 使用箇所 () 標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法 ※建具表による	⑩ 建具用金物 金物の種類及び見え掛り部の材質等 <5.8.1~3> ※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による 金属材料 ・鋼材	⑪ 木製建具 <5.7.2~4> 建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 建物内部の木製建具に使用する接着剤ホルムアルデヒド放熱量 ※F☆☆☆☆ ・フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放熱量等 ※改修標準仕様書5.7.2(2) (f) (a)による 表面材の合板の種類 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規格等</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・普通合板</td> <td>表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等)) 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)</td> <td></td> </tr> </table>	合板の種類	規格等	備考	・普通合板	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等)) 接着の程度 (・1類 ・2類)		・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)		⑫ 鍵 マスターキー <5.8.4> ・製作する ・製作しない ・既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ※各室3本1組 (室札付き) 鍵箱 ・無し ・有り 戸の開閉方式 <5.9.2、3> ・建具表による ・引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.1による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 種類・開閉方式 () 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 電源 () ・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置 性能値 ※改修標準仕様書表5.9.2による (防錆 ・適用する ・適用しない) ・以下による 耐電圧 () 温度上昇 () 耐久性 (サイクル) () 防錆 () 防滴 () 電源 () 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 ・建具表による タッチスイッチの種類 ・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ	15. 自閉式上吊り引戸装置 <5.10.3> 性能値等 ※改修標準仕様書表5.10.1 ・以下による 手動開き力 () 手動閉じ力 () 閉じ速度の調整 () 制動区間 () 閉閉繰返し () 耐衝撃性 () 16. 重量シャッター <5.11.2、3> シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 () Pa 開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式 安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 (設置箇所 ・建具表による)) 電動式シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)) 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 (設置箇所 ・建具表による)) 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ※JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 17. 軽量シャッター <5.12.2~4> 開閉方式の種類 ※手動式 ・電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () Pa 安全装置 電動シャッターの障害物感知装置 (設置箇所 ・建具表による)) スラットの材質の種類 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※Z06又はF06)) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 (※AZ90)) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 18. オーバーヘッドドア <5.13.2、3> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧性能区分</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・50 ・75 ・100 ・125</td> <td>※バランス式 ・チェーン式 ・電動式</td> <td>※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーティカル形</td> </tr> </table> ガイドレールの材料 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置 (設置箇所 ※建具表による)) 19. ガラス <3.7><5.14.2~4> ・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3.7><5.14.2~4> ※建具表による ・型板ガラスの厚さによる種類 ※建具表による ・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による ・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 落球衝撃は離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類 ・強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類 ・熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・1種 ・2種	セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーティカル形
合板の種類	規格等	備考																						
・普通合板	表面の樹種 板面の品質 (※広葉樹1等)) 接着の程度 (・1類 ・2類)																							
・天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1類 ・2類)																							
セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分																					
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーティカル形																					
		(株) 池下建築設計			設計年月日	調査者氏名	設計者氏名 池下 久幸 一級建築士 第280837号	工 事 名 称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	全 業	図 面 N o A-5														
		事務所登録 宮城県 第21610219号			図 面 名 称 Scale 改修特記仕様書 (4)																			

5 建具 改修 工事	<p>・複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による</p> <p>断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S</p> <p>乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p> <p>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p> <p>日射熱遮へい性による区分 ・1種 ・2種 ・3種</p> <p>耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合） ・A類 ・B類</p> <p>・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p>	6 内装 改修 工事	① 改修範囲	<p><6.1.3> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による</p> <p>既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による</p>	7. 造作用単板積層材	<p>・ JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 <6.5.2></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・ JAS 0701 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※14%以下</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・ JAS 3079 に基づく直交集成板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>強度等級</th> <th>種別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による普通合板 <6.5.2></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> <tr> <td>耐力壁</td> <td>※2級以上 ・1級</td> <td>針葉樹 本実加工</td> <td>※1類 ○特類</td> <td>※C-D以上</td> <td>※12 ○28</td> <td>・適用する ○適用しない</td> <td>・適用する （ ） ・適用しない</td> </tr> <tr> <td>床下地</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・特類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> <td>※15</td> </tr> </table> <p>・ JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理					・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない	施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理				※14%以下	・適用する ・適用しない				※14%以下	・適用する ・適用しない	施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)								施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理		※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	耐力壁	※2級以上 ・1級	針葉樹 本実加工	※1類 ○特類	※C-D以上	※12 ○28	・適用する ○適用しない	・適用する （ ） ・適用しない	床下地								施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理				・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理			・1類 ・2類			・適用する ・適用しない	施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			※13タイプ	※P又はM		※15	施工箇所	寸法 (mm)			施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							<p>② 既存床の撤去及び下地補修</p> <p><6.2.2> ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示による ・除去範囲全て）</p> <p>合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法</p> <p>既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p> <p>改修後の床の清掃範囲 ※図示による</p>	③ 既存壁の撤去及び下地補修	<p><6.3.2> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）</p>	④ 施工一般	<p><6.5.2> 材料のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(a)(b)による</p>	⑤ 製材	<p><6.5.2> ・ JAS 1083-5 製材 - 第5部に基づく下地用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※上小節</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※小節以上</td> <td>※A種 ・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種 ・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td>※10%以下 ・A種 ・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ JAS 1083（製材）以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table>	施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理			※2級	※A種 ・B種				※2級	※A種 ・B種		施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	見え掛り面		※上小節	※A種 ・B種		見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・B種		施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理			※1等	※10%以下 ・A種 ・B種				※1等	※10%以下 ・A種 ・B種		施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率			（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種			（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種	⑥ 造作用集成材	<p><6.5.2> ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等 ※1等 ・2等</td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板： 芯材：</td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板： 芯材：</td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材種名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板： 芯材：</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>化粧薄板： 芯材：</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table>	施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質						※1等 ・2等 ※1等 ・2等	施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質			化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等				化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等		施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率					※15%以下					※15%以下	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板： 芯材：				※15%以下		化粧薄板： 芯材：				※15%以下	20. ガラス ブロック積み	<p><5.14.5></p> <table border="1"> <tr> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整目地位置 (mm)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属枠及び補強材 ※図示による</p> <p>力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304)</p> <p>寸法 ※径5.5mm</p> <p>形状 ※はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー） シーリングの種類（・SR-1 ・PS-1） 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製</p> <p>寸法 ※図示による</p> <p>形状 ※図示による</p> <p>目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示による</p>	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能	・160×160	・95					・200×200	・95					21. ガラス用 フィルム	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>その他性能等</th> </tr> <tr> <td></td> <td>内貼り用/外貼り用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・日射調整フィルム</td> <td>・SC-1 ・SC-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・G1-1 ・G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・GD-1 ・GD-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> </tr> </table> <p>品質は、JIS A 5759による。</p>	種類	記号	その他性能等		内貼り用/外貼り用		・日射調整フィルム	・SC-1 ・SC-2		・低放射フィルム	・LE		・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G1-1 ・G1-2		・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-1		・ガラス貫通防止フィルム	・SF		<p>⑦ 接合具等</p> <p>9. 接合具等</p> <p>⑧ 合板等</p> <p>⑨ 接合具等</p> <p>⑩ 接着剤</p> <p>⑪ 防腐・防蟻処理</p> <p><6.5.3> 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し</p> <p>諸金物 ※かすがい、座金、箱金物、短冊金物 （改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度） ・（形状： 寸法： 材質： ）</p> <p><6.5.3.4> 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p><6.5.5> ・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td>土台</td> <td>・K2 ○K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </table>	適用部材	保存処理性能区分	土台	・K2 ○K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	<p>⑫ 内部間仕切軸組及び床組み</p> <p><6.5.6> ・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※杉又は松 ・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※杉又は松</p> <p>⑬ 窓、出入口その他</p> <p><6.5.7> ・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） ※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉</p> <p>14. 軽量鉄骨天井 下地</p> <p><6.6.2～4> 野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形</p> <p>屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びびんサートの間隔 ・図示による ・周辺部の端からの間隔 ・図示による ・野縁の間隔 ・図示による</p> <p>既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない</p> <p>あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所 引張試験にて確認する強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m²以内の天井の場合は400N程度 ・（ ）N</p> <p>※行わない ・つりボルトの間隔が900mmを超える場合（補強方法 ※図示による） ・天井のふとところが3.0mを超える場合（補強方法 ※図示による） ・天井下地材における耐震性を考慮した補強（補強箇所 ※図示による） （補強方法 ※図示による）</p> <p>15. 軽量鉄骨壁 下地</p> <p><6.7.3.4><表6.7.1> スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による</p> <p>出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による</p>	<p>16. ビニル床シート</p> <p><6.8.2.3></p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※FS(複層ビニル床シート)</td> <td>※無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>接合部の処理 ※熱溶接工法</p> <p>17. ビニル床 タイル</p> <p><6.8.2></p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※KT (コンポジションビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>※300×300 ・450×450</td> <td>※2.0 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・TT (単層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FT (複層ビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・2.5 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA (置き敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・4.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>18. 特殊機能床材</p> <p><6.8.2></p> <p>・帯電防止床シート 種類（ ） 性能（ ） 厚さ (mm)（ ）</p> <p>・帯電防止床タイル 種類（ ） 性能（ ） 寸法 (mm)（ ）×（ ） 厚さ (mm)（ ）</p> <p>・視覚障害者用床タイル ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。</p> <p>種類（ ） 形状（ ）</p> <p>・耐動荷重性床シート 種類（ ） 厚さ (mm)（ ）</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS(複層ビニル床シート)	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0		種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	※KT (コンポジションビニル床タイル)	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0		・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0		・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0		・FOA (置き敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0		・FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物			
			施工箇所	品名		寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			※14%以下	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			※14%以下	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
耐力壁	※2級以上 ・1級	針葉樹 本実加工	※1類 ○特類	※C-D以上	※12 ○28	・適用する ○適用しない	・適用する （ ） ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
床下地																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		※13タイプ	※P又はM		※15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※2級	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		※2級	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
見え掛り面		※上小節	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
見え掛り面以外		※小節以上	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		※1等	※10%以下 ・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		※1等	※10%以下 ・A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
					※1等 ・2等 ※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・160×160	・95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・200×200	・95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種類	記号	その他性能等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	内貼り用/外貼り用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・日射調整フィルム	・SC-1 ・SC-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・低放射フィルム	・LE																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・G1-1 ・G1-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1 ・GD-1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
土台	・K2 ○K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
※FS(複層ビニル床シート)	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
※KT (コンポジションビニル床タイル)	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・FOA (置き敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・FOB (薄型置き敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		(株) 池下建築設計		設計年月日	調査者氏名	設計者氏名 池下 久幸 一級建築士 第280837号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	全業	図面 No																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		事務所登録 宮城県 第21610219号				図面名称 Scale		A-6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
						改修特記仕様書 (5)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

7 塗装 改修工事	⑤ 塗装	<p>〈7.5.2～7.12.2〉</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="10"> ○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類 ※1種・2種 ○クリヤラッカー塗り(GL) </td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※1種</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td>※A種</td> <td>※A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類:</td> <td>種類:</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・耐水性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級()級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上塗り等級()級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>※A種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>・ステイン塗り</td> <td></td> <td></td> <td>・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)</td> </tr> <tr> <td>○木材保護塗料塗り(WP)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・A種</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、木部外、せつこうぷらみ面、せつこうぷらみ面、その他「ド」面)の塗替えの場合のしめ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしめ止めシテとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしめ止め ※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしめ止めシテとする</p> <p>クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する(着色剤:・溶剤系着色剤・油性染料着色剤)</p> <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない</p> <p>オイルステイン塗りの工程等</p>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類 ※1種・2種 ○クリヤラッカー塗り(GL)	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	鉄鋼面	※B種	※B種・A種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※B種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種	※1種	※B種	※B種	※A種	※A種		種類:	種類:			・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種	・A種	・耐水性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級()級			亜鉛めっき鋼面			上塗り等級()級			・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	・A種	屋内の木部	※B種	・A種	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種	屋内の亜鉛めっき面	※A種	・B種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種	・A種	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・A種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	・B種	・ステイン塗り			・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	○木材保護塗料塗り(WP)		※B種	・A種	<p>① 鉄筋</p> <p>8-1 鉄筋工事</p> <p>② 溶接金網</p> <p>③ 鉄筋の継手</p> <p>④ 鉄筋の定着</p> <p>⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)</p> <p>6. 圧接完了後の試験</p> <p>7. 機械式継手</p>	<p>鉄筋の種類等 種類の記号 呼び径(mm) 備考 ※SD295 D10, D13 ※SD345</p> <p>鉄線の形状等 種類 種類の記号 鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ・溶接金網 6.0*150*150 加工土間工 ・鉄筋格子</p> <p>鉄筋の継手の方法等 部位 継手方法 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 ※ガス圧接・機械式継手 ・溶接継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 その他の鉄筋(耐圧盤) ○重ね継手 D10, D13</p> <p>継手位置 ・図示による</p> <p>柱及び梁主筋の重ね継手の長さ ・図示による</p> <p>耐力壁の重ね継手の長さ ・図示による</p> <p>鉄筋の定着長さ ・図示による 40d</p> <p>機械式定着工法 ・適用する 適用箇所 ・図示による()</p> <p>種類 ・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定 ・嵌合グラウト固定</p> <p>工法 ※第三者機関の評定等取得している工法とする 必要定着長さ ※評定等の評価内容による 補強筋形状 ※評定等の評価内容による かぶり厚さ ※評定等の評価内容による 品質確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による</p> <p>最小かぶり厚さ ○図示による 地中部 60mm以上 軽量コンクリートを適用する場合 ・あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所() ・最小かぶり厚さに加える厚さ()mm</p> <p>超音波探傷試験 ※行う(全圧接部)</p> <p>適用箇所 ※図示による()</p> <p>H12建告第1463号に適合する性能 ・A級</p> <p>種類 ・ねじ式鉄筋継手 充填方式 ・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・端部ねじ加工継手 ・モルタル充填式継手</p> <p>工法 ※第三者機関の評定等取得している工法とする 鉄筋相互のあき ※評定等の評価内容による 品質の確認 ※評定等の評価内容による 検査 ※評定等の評価内容による 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波測定試験 試験対象 ・抜き取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度にする。 試験の箇所数 1ロットに対して()箇所 ・全数</p>	<p>試験項目 ※挿入長さ 試験方法 ※JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準)による 不合格となった場合の措置</p> <p>適用箇所 ・図示による() H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による() 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験 試験対象 ※全数 試験項目 ・評定等の評価内容による 試験方法 ・評定等の評価内容による ・超音波探傷試験 試験対象 ・抜き取り ・ロット ・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度にする。 試験の箇所数 1ロットに対して()箇所 ・全数</p> <p>試験の箇所数 1ロットに対して()箇所 ・全数</p>	<p>7. 暑中コンクリート</p> <p>8. マスコンクリート</p> <p>9. 無筋コンクリート</p> <p>10. 流動化コンクリート</p> <p>11. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地</p> <p>12. 構造体コンクリートの仕上り</p> <p>13. 打増し厚さ(打放し仕上り)</p> <p>14. 型枠</p> <p>15. 型枠の加工及び組立</p>	<p>構造体強度補正值 ※6N/mm²</p> <p>適用箇所 ・図示による() セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント</p> <p>混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(4)による</p> <p>スラブ ※15cm 構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.13.1による</p> <p>コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² スラブ ※15cm又は18cm セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所 ・図示による()</p> <p>適用箇所 ・図示による()</p> <p>打継ぎの位置 ・図示による() 目地寸法 ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・図示による()</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上り 種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(柱・梁・壁) 種類 適用箇所 ・a種 化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り ・b種 仕上げ塗り ・c種 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り 胴縁下地</p> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(床) 種類 適用箇所 ・a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式) ・b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベルング材塗り ・c種 タイル張り、モルタル塗り、二重床</p> <p>打増し厚さ(打放し仕上り) ・打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm 20mm</p> <p>せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm)) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・図示による() ・MCR工法用シート 適用箇所 ・図示による() 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 ・図示による() スリーブの材質・規格等 ・図示による()</p> <p>シアコネクタをセパレーターとして使用 使用箇所 ・図示による()</p>
	塗装の種類	塗装面			工程																																																																																		
			塗替え	新規																																																																																			
○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類 ※1種・2種 ○クリヤラッカー塗り(GL)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																				
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																				
	鉄鋼面	※B種	※B種・A種																																																																																				
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	※A種	※B種																																																																																				
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	※B種	※B種																																																																																				
	※1種	※B種	※B種																																																																																				
	※A種	※A種																																																																																					
	種類:	種類:																																																																																					
	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種	・A種																																																																																			
	・耐水性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級()級																																																																																					
亜鉛めっき鋼面																																																																																							
上塗り等級()級																																																																																							
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	・A種																																																																																				
	屋内の木部	※B種	・A種																																																																																				
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)	屋内の鉄鋼面	※B種	・A種																																																																																				
	屋内の亜鉛めっき面	※A種	・B種																																																																																				
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)		※B種	・A種																																																																																				
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・A種																																																																																				
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種	・B種																																																																																				
・ステイン塗り			・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)																																																																																				
○木材保護塗料塗り(WP)		※B種	・A種																																																																																				
8 耐震 改修工事 共通事項	1. 適用範囲	<p>・改修標準仕様書 8章 耐震改修工事 ・改修標準仕様書において8章耐震改修工事以外の改修工事で8章を引用している部分</p> <p>工事内容 ・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 ・鉄骨プレースの設置工事 ・柱補強工事(溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法) ・柱補強工事(鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法) ・連続縦補強工事 ・耐震スリット新設工事 ・免震改修工事 ・制振改修工事 ・土工事及び地業工事 ・新設耐圧盤基礎工事</p>	<p>① コンクリートの種類</p> <p>8-2 コンクリート工事</p> <p>② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度</p> <p>③ セメント</p> <p>④ 骨材</p> <p>⑤ 混和材料</p> <p>⑥ 構造体用モルタル</p>	<p>コンクリートの類別 ※I類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)</p> <p>・普通コンクリート 設計基準強度(N/mm²) スラブ(cm) 気乾単位容積質量(t/m³) 適用箇所 ○24 15 ・2.3程度 基礎、耐圧盤</p> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による</p> <p>・軽量コンクリート 設計基準強度(N/mm²) スラブ(cm) 気乾単位容積質量(t/m³) 種類 適用箇所 ※21 ・1種・2種</p> <p>構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.4による</p> <p>種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された)規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目402J/g以下のものとする 適用箇所() ・高炉セメントB種 適用箇所() ・フライアッシュセメントB種 適用箇所()</p> <p>アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B</p> <p>・混和剤 混和剤の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による</p> <p>構造体用モルタル 圧縮強度() フロー値()</p>	<p>7. 暑中コンクリート</p> <p>8. マスコンクリート</p> <p>9. 無筋コンクリート</p> <p>10. 流動化コンクリート</p> <p>11. 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地</p> <p>12. 構造体コンクリートの仕上り</p> <p>13. 打増し厚さ(打放し仕上り)</p> <p>14. 型枠</p> <p>15. 型枠の加工及び組立</p>	<p>構造体強度補正值 ※6N/mm²</p> <p>適用箇所 ・図示による() セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント</p> <p>混和材料 ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(4)による</p> <p>スラブ ※15cm 構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.13.1による</p> <p>コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² スラブ ※15cm又は18cm セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種</p> <p>適用箇所 ・図示による()</p> <p>適用箇所 ・図示による()</p> <p>打継ぎの位置 ・図示による() 目地寸法 ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・図示による() ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・図示による()</p> <p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上り 種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(柱・梁・壁) 種類 適用箇所 ・a種 化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り ・b種 仕上げ塗り ・c種 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り 胴縁下地</p> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ(床) 種類 適用箇所 ・a種 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア(置敷式) ・b種 カーペット張り、防水下地、セルフレベルング材塗り ・c種 タイル張り、モルタル塗り、二重床</p> <p>打増し厚さ(打放し仕上り) ・打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm 20mm</p> <p>せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm)) ・断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 ・図示による() ・MCR工法用シート 適用箇所 ・図示による() 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 ・図示による() スリーブの材質・規格等 ・図示による()</p> <p>シアコネクタをセパレーターとして使用 使用箇所 ・図示による()</p>																																																																																	
	2. 既存部分の処理等	<p>既存構造体の撤去 撤去範囲 ・図示による() はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置 ・図示による() 既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度 ・既存柱、梁面 ・打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける。 ・既存壁 ・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm(最大7mm)程度の凹凸を、全体にわたってつける。 既存杭の撤去等 ・撤去範囲及び撤去方法 ・図示による()</p>																																																																																					

(株)池下建築設計

事務所登録 宮城県 第21610219号

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名

池下 久幸
一級建築士
第280837号

工事名称

令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

図面名称

Scale

改修特記仕様書 (7)

全業

図面 No

A-8

<p>16. コンクリートの打込み工法等</p> <p>コンクリートの打設工法の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>補強工法</th> <th>打設工法</th> <th>部位</th> </tr> <tr> <td>・現場打ちコンクリート壁の増設工事</td> <td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td>・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖ウェブ巻き工法)</td> <td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td>・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)</td> <td></td> </tr> </table> <p>鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等柱頭及び柱脚の隙間の寸法 ・図示による() 柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠 ・発泡プラスチック保温材等を埋込む</p> <p>既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ ・図示による() 補強後の仕上げ ・図示による()</p>	補強工法	打設工法	部位	・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()	・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖ウェブ巻き工法)	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による()		・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)		<p>7. アンカーボルト (7.2.4)(7.3.2)</p> <p>・構造用アンカーボルト種類 ・ABR400 ・ABR490 ・建方用アンカーボルト種類 ・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト適用箇所 ・図示による()</p> <p>・SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ・図示による()</p> <p>溶接材料 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による</p> <p>8. 溶接材料 <8.2.10></p> <p>9. スタッブ <8.2.11></p> <table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ(mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・22</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>10. 製作精度 <8.13.3></p> <p>鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による</p> <p>アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による</p> <p>食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による</p>	呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所	・16			・19			・22			<p>11. 仮組 <8.13.10></p> <p>仮組を行う範囲 ・図示による()</p> <p>12. 溶接作業を行う技能資格者技量付加試験 <8.15.3></p> <p>試験の要領 ・図示による()</p> <p>13. 溶接接合 <8.15.4><8.15.7></p> <p>開先の形状 ・図示による() ・鋼製エンドタブの切断部分 切断箇所 ・図示による() 切断範囲 ・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。 なお、切斷線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。</p> <p>切断面の仕上げ ・改修標準仕様書8.15.7(1)(h)(b)②による</p> <p>スカラップの形状 ・図示による()</p> <p>14. 入熱、バス間温度の溶接条件 <8.15.7><8.15.10></p> <p>鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・図示による()</p> <p>適用箇所 ・図示による() ・柱、梁、プレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部</p> <p>15. 溶接部の試験 <8.15.12></p> <p>平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ※抜き取り検査① ※抜き取り検査②</p> <p>JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き箇所は、超音波探傷試験の抜き箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.131による補修を行い、再試験する。 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数</p> <p>16. 錆止め塗装 <7.3.3><8.17.2、4></p> <p>塗料の範囲 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示による() 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※改修標準仕様書8.17.2(1)による ・図示による()</p> <p>塗料の種類 ・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類</p>	<p>17. 耐火被覆 <8.18.2>~<8.18.8></p> <table border="1"> <tr> <th>種類、材料、工法等</th> <th>種類</th> <th>材料・工法</th> <th>性能(耐火時間)</th> <th>適用箇所(部位・部分)</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">耐火材吹付け</td> <td rowspan="3">・耐火材吹付け</td> <td>・乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・半乾式吹付けロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・湿式ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐火板張り</td> <td rowspan="2">・耐火板張り</td> <td>・繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・高断熱ロックウール</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火材巻付け</td> <td>・耐火材巻付け</td> <td>・ラス張りモルタル塗り</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐火塗料</td> <td>・耐火塗料</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ・図示による() 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ・図示による() 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種類 ・A種 ・B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種類 厚さ 種類 ※A種 ・B種 ・図示による()</p> <p>18. アンカーボルト等の設置等 (7.10.3)</p> <p>19. 鉄骨プレース設置後の仕上げ <8.22.9></p> <p>・図示による()</p>	種類、材料、工法等	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	耐火材吹付け	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール			・半乾式吹付けロックウール			・湿式ロックウール			耐火板張り	・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板			・高断熱ロックウール			耐火材巻付け	・耐火材巻付け	・ラス張りモルタル塗り			耐火塗料	・耐火塗料				<p>8-5 グラウト工事</p> <p>1. 柱底均しモルタル及びグラウト材 <8.2.12></p> <p>・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル</p> <p>・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等</p> <table border="1"> <tr> <td>混和材</td> <td>セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。</td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。</td> </tr> <tr> <td>砂</td> <td>土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。</td> </tr> </table> <p>無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー Uロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 フリージング 練り混ぜ2時間後のフリージング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内</p> <p>無収縮性 材齢 7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0 N/mm²以上 材齢 28日 40.0 N/mm²以上 塩化物量 0.30kg/m³以下</p> <p>試験方法 1)NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2)塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p>	混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。	セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。	砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。	<p>8-6 連続繊維補強工事</p> <p>1. 連続繊維シート <8.2.13><8.24.6></p> <p>連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維</p> <p>引張強度(含浸硬化後) ・() N/mm² ヤング係数(含浸硬化後) ・() N/mm² ・下地処理 ・ひび割れ部改修範囲 ・図示による() 工法の種類</p> <p>・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ・図示による()</p> <p>連続繊維補強材の強度試験 ・引張強度試験 ※JIS A 1181(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による</p> <p>試験数量 ・図示による() ・付着強度試験 ※JIS A 6909(建築用仕上塗材)による</p> <p>試験数量 ・図示による()</p> <p>2. 仕上げ <8.24.7></p> <p>補強工事後の仕上げ ・図示による()</p>	<p>8-7 耐震スリット新設工事</p> <p>1. 耐震スリットの方式、幅及び深さ <8.25.2></p> <p>方式 ・完全 ・部分 幅及び深さ ・図示による() 設置箇所 ・図示による()</p> <p>2. 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査 <8.12.4></p> <p>既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 ・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする ・はつり出しによる</p> <p>3. 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 <8.25.2></p> <p>耐火材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 遮音材 使用箇所及び仕様 ・図示による() 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">設計年月日</td> <td rowspan="2">調査者氏名</td> <td rowspan="2">設計者氏名 池下 久幸 一級建築士 第280837号</td> <td>工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事</td> <td rowspan="2">全業</td> <td rowspan="2">図面 No A-9</td> </tr> <tr> <td>図面名称 Scale</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>改修特記仕様書 (8)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					設計年月日	調査者氏名	設計者氏名 池下 久幸 一級建築士 第280837号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	全業	図面 No A-9	図面名称 Scale								改修特記仕様書 (8)			<p>(株)池下建築設計 事務所登録 宮城県 第21610219号</p>
補強工法	打設工法	部位																																																																																											
・現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による() ・全ての増設壁 ・図示による()																																																																																											
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖ウェブ巻き工法)	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による() ・全ての柱補強部分 ・図示による()																																																																																											
	・工法指定なし ・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2) ・圧入工法 8.21.8(1)(4),(3)																																																																																												
呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所																																																																																											
・16																																																																																													
・19																																																																																													
・22																																																																																													
種類、材料、工法等	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																																																																									
耐火材吹付け	・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール																																																																																											
		・半乾式吹付けロックウール																																																																																											
		・湿式ロックウール																																																																																											
耐火板張り	・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板																																																																																											
		・高断熱ロックウール																																																																																											
耐火材巻付け	・耐火材巻付け	・ラス張りモルタル塗り																																																																																											
耐火塗料	・耐火塗料																																																																																												
混和材	セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。																																																																																												
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。																																																																																												
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。																																																																																												
				設計年月日	調査者氏名	設計者氏名 池下 久幸 一級建築士 第280837号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	全業	図面 No A-9																																																																																				
							図面名称 Scale																																																																																						
							改修特記仕様書 (8)																																																																																						

8-8 土工事及び地業工事	1. 埋戻し及び盛土	<p>材料及び工法 <8.28.3></p> <ul style="list-style-type: none"> 材料 () 工法 () ※改修標準仕様書表8.28.11による A種 適用場所 () B種 適用場所 () C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () D種 適用場所 () (品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 	9 環境配慮改修工事	1. 石綿含有建材の除去工事 <9.1.3~6>	<p>施工調査 <9.1.3~6></p> <p>※石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。</p> <p>調査範囲 () 図示 ()</p> <p>貸与資料 ()</p> <p>・石綿粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数(各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 1</td> <td rowspan="4">処理作業前</td> <td rowspan="4"></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 2</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 3</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 4</td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td rowspan="2">処理作業中</td> <td rowspan="2"></td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速(m/s以下の位置) 計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 6</td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 7</td> <td>処理作業後(シート養生中)</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 8</td> <td>処理作業後(シート撤去後)</td> <td></td> <td>処理作業室内</td> <td>・計 点</td> </tr> <tr> <td>測定 9</td> <td>処理作業後(シート撤去後1週間以降)</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>・計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-IIに基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ</th> <th>試料の吸引流量(L/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td rowspan="2">25</td> <td rowspan="2">5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>測定</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table>	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)	測定 1	処理作業前		処理作業室内	・計 点	測定 2	調査対象室外部の付近	・計 点	測定 3	処理作業室内	・計 点	測定 4	セキュリティゾーン入口	・計 点	測定 5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速(m/s以下の位置) 計 点	測定 6	処理作業室内	・計 点	測定 7	処理作業後(シート養生中)		処理作業室内	・計 点	測定 8	処理作業後(シート撤去後)		処理作業室内	・計 点	測定 9	処理作業後(シート撤去後1週間以降)		調査対象室外部の付近	・計 点	測定名称	測定方法	測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定 5		測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)	測定 4	25	5	30	測定 5	120	測定	47	10	240	測定	47	10	240	<p>・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板(下地調整材)の除去</p> <p>除去対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>除去工法</p> <p>養生方法</p> <p>除去した石綿含有仕上塗材の処分</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋立処分(安定型最終処分場) 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(熔融施設又は無害化処理施設) <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>2. 断熱アphalt防水改修工事 <9.2.2~3></p> <p>3. 外断熱改修工事 <9.2.1~4></p> <p>断熱材</p> <p>断熱材の種類</p> <p>断熱材の厚さ(mm)</p> <p>施工箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>ホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材</p> <p>改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事</p> <p>鋼材による</p> <p>笠木</p> <p>改修特記仕様書第3章</p> <p>アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置</p> <p>既存外壁仕上材の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う 行わない <p>下地面の清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う 行わない <p>欠損部の改修工法</p> <p>改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による</p> <p>不陸等の下地調整</p> <p>断熱材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材製造所の仕様による <p>外装材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> 外装材製造所の仕様による <p>通気層の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 有 (mm) 無 <p>外装材の外壁への取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>笠木の施工</p> <p>改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による</p> <p>4. 断熱・防露改修工事 <9.3.2~4></p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>工法</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521Iに基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工場所 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 A種1 A種1H 吹付け厚さ(mm) 25 30 施工箇所 図示による 断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521Iに基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法 	種類	防火性能	備考				5. 屋上緑化改修工事 <9.4.2~4>	<p>植栽基盤及び材料 <9.4.2~4></p> <ul style="list-style-type: none"> 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ※図示による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示による かん水装置 設置する(種類) 既存保護層の撤去 行う 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引渡しの日から1年 <p>適用範囲: 歩道 <9.5.2~5、9></p> <p>6. 透水性アphalt舗装改修工事</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用</p> <p>※図示による</p> <p>路床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>路床の材料</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ※B種 ・C種 ・D種</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>※再生クラッシャーラン</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシャーラン</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・切込み砂利</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・砂</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>※砂</td> <td>・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う ※行わない 路床安定処理 適用する 適用しない 安定処理の方法 置き換え工法 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ※普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 生石灰(・特号 ・1号) 消石灰(・特号 ・7号) 添加量 kg/m³ (目標CBR ・3以上) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験 ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m²以上 厚さ(mm) 0.5~1.0 引張強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 1.5×10⁻¹ cm² sec以上 <p>試験</p> <p>路床土の支持力比(CBR)試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う ※行わない <p>路床締固め度の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ※行う 行わない <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う 行わない <p>路盤</p> <p>路盤の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>路盤材料(改修標準仕様書表9.7.3Iによる種別)</p> <ul style="list-style-type: none"> クラッシャーラン 粒度調整砕石 ※再生クラッシャーラン 再生粒度調整砕石 クラッシャーラン鉄鋼スラグ 粒度調整鉄鋼スラグ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ <p>舗装の構成</p> <p>※図示による</p> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う ※行わない <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※著しい不陸がないもの 	路床の材料	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	・建設汚泥から再生した処理土	・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン	・図示による		・クラッシャーラン			・切込み砂利			・砂		・フィルター層	※砂	・図示による
	適用	測定名称		測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)																																																																																															
測定 1	処理作業前		処理作業室内	・計 点																																																																																																	
測定 2			調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																	
測定 3			処理作業室内	・計 点																																																																																																	
測定 4			セキュリティゾーン入口	・計 点																																																																																																	
測定 5	処理作業中		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速(m/s以下の位置) 計 点																																																																																																	
測定 6			処理作業室内	・計 点																																																																																																	
測定 7	処理作業後(シート養生中)		処理作業室内	・計 点																																																																																																	
測定 8	処理作業後(シート撤去後)		処理作業室内	・計 点																																																																																																	
測定 9	処理作業後(シート撤去後1週間以降)		調査対象室外部の付近	・計 点																																																																																																	
測定名称	測定方法																																																																																																				
測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																				
測定 5																																																																																																					
測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																		
測定 4	25	5	30																																																																																																		
測定 5			120																																																																																																		
測定	47	10	240																																																																																																		
測定	47	10	240																																																																																																		
種類	防火性能	備考																																																																																																			
路床の材料	材料	厚さ(mm)																																																																																																			
・盛土	・A種 ※B種 ・C種 ・D種	・建設汚泥から再生した処理土																																																																																																			
・凍上抑制層	※再生クラッシャーラン	・図示による																																																																																																			
	・クラッシャーラン																																																																																																				
	・切込み砂利																																																																																																				
	・砂																																																																																																				
・フィルター層	※砂	・図示による																																																																																																			
8-8 土工事及び地業工事	2. 杭地業 <8.2.15><8.28.4>(4.3.8)	<p>支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>杭の材料、工法、寸法、施工方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>杭の継手の箇所数、材料、工法等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による <p>杭の溶接継手</p> <ul style="list-style-type: none"> 技能資格者の技量 図示による <ul style="list-style-type: none"> 溶接部の確認 図示による <p>杭頭部の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 処理しない 処理する 処理方法(切断ともなう補強方法含む) 図示による <p>杭頭部の中詰め材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎のコンクリートと同調合のもの <p>杭の精度</p> <p>水平方法の位置ずれ</p> <ul style="list-style-type: none"> 杭径の1/4かつ100mm以下 評定等の評価内容による <p>建て込み時の杭の鉛直度</p> <ul style="list-style-type: none"> 1/100以内 評定等の評価内容による <p>記録する施工状況等</p> <ul style="list-style-type: none"> 図示による 	3. 砂利地業 <8.2.15><8.28.4>	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ※再生クラッシャーラン 切込砂利又は切込砕石 <p>砂利厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※60mm</td> <td>・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下</td> </tr> </tbody> </table>	厚さ	適用箇所	※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下	4. 捨コンクリート地業 <8.2.15><8.28.4>	<p>捨コンクリートの厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※50mm</td> <td>・基礎下</td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ※普通コンクリート <p>設計基準強度</p> <p>※18N/mm²</p> <p>スラブ</p> <p>※15cm又は18cm</p>	厚さ	適用箇所	※50mm	・基礎下																																																																																							
厚さ	適用箇所																																																																																																				
※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下																																																																																																				
厚さ	適用箇所																																																																																																				
※50mm	・基礎下																																																																																																				

(株)池下建築設計

事務所登録 宮城県 第21610219号

設計年月日	調査者氏名	設計者氏名	工事名称	全業	図面 No
		池下 久幸 一級建築士 第280837号	令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事		A-10
			図面名称	Scale	
			改修特記仕様書 (9)		

10
縦向き壁の構造

<p>1. フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3,000N ・5,000N</td> <td>・帯電防止床材 ・タイル・ペイント</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による ・以下による パネルの長さの寸法精度 () パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 () フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ()</p> <p>帯電防止性能 ・評価値 (U) ≧0.6以上 ・評価値 (U) ≧1.2以上</p> <p>感電防止性能 漏えい抵抗 (R) ≧1×10⁶Ω</p> <p>2. 可動間仕切 (20.2.3)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類 ※スラット パネル</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td></td> <td>・メラミン樹脂焼付又は 7カメル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・有り (※図示による) ・無し</p> <p>パネル内に取付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。 パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆</p> <p>3. 移動間仕切 (20.2.4)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法による種類</th> <th>パネル圧接装 置の操作方法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>パネル表面材 材質 仕上げ</th> <th>遮音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ※36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する ・図示による</p> <p>パネルをランナーに取り付ける部品 ※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの</p> <p>ハンガーレール及びランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの</p> <p>4. トイレブース (20.2.5)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">表面材の材料</th> <th colspan="2">脚部</th> <th rowspan="2">ドアエッジ 材質</th> </tr> <tr> <th colspan="2">種類</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td colspan="2">※幅木タイプ</td> <td>※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> </tr> </table> <p>5. 手すり (20.2.6)</p> <p>材料の種類及び仕上げ ・SUS304 表面処理 ※HL程度 ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種) ・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種) 色合い ・標準色 () ・特注色 ()</p> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径 (mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材 (材種 :)</td> <td>・クリアラッカー</td> <td>・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ビニル製</td> <td></td> <td>・35程度 ・45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材		・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床材 ・タイル・ペイント	構造形式による種類	構成基材の種類 ※スラット パネル	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式		・メラミン樹脂焼付又は 7カメル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装 置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質 仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ※36以上	表面材の材料	脚部		ドアエッジ 材質	種類		・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ		※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製	材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考	・集成材 (材種 :)	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度			・ビニル製		・35程度 ・45程度			<p>6. 階段滑り止め (20.2.7)</p> <p>材種 ※ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材</p> <p>形状 ※タイヤ型(タイヤの材質 : ゴム又は合成樹脂合等) ・タイヤレス型</p> <p>寸法 (幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度</p> <p>取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法</p> <p>7. 黒板及びホワイトボード (20.2.9)</p> <p>・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ※鋼製黒板 ・ほうろう黒板</p> <p>色 ※緑 ・ホワイトボード</p> <p>8. 鏡 (20.2.10)</p> <p>取付け箇所 () 寸法 (mm) ・図示による 厚さ (mm) ※5</p> <p>9. 表示 (20.2.11)</p> <p>衝突防止表示 ・設置する (設置場所 : ※図示による) 形状・寸法 (・30φ) 材質 (※ステンレス製) ・設置しない</p> <p>誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による) 取付箇所 ※図示による</p> <p>10. タラップ (20.2.12)</p> <p>材質及び仕上げ ・SUS304 (スリップ止め加工 ※あり なし) ・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 (※C種 種))</p> <p>11. 煙突ライニング (20.2.13)</p> <p>適用安全使用温度 工法 ※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)</p> <p>12. ブラインド (20.2.14)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>操作方法の種類</th> <th>スラットの種類</th> <th>スラット幅</th> <th>ボックス・レールの 材種</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形 ・電動</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※7mm²アルミ 合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示による</td> </tr> <tr> <td>・縦形 ・電動</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・7mm²スラット ・4mm²スラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>※7mm²アルミ 合金製</td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>縦型ブラインドのスラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工</p> <p>13. ロールスクリーン (20.2.15)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材種</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>・スプリング式 ・コード式 ・電動式</td> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td> <td>※製造所の仕様 ・図示による</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>スクリーンの仕様 消防法で定める防災性能の表示があるもの</p> <p>14. カーテン (20.2.16)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>生地の種別、 品質、特殊加工等</th> <th>取付け 箇所</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引分け</td> <td>・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーツひだ</td> <td></td> <td>・図示による</td> </tr> </table> <p>生地仕様 消防法で定める防災性能の表示があるもの 暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの 材種	幅・高さ	・横形 ・電動	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7mm ² アルミ 合金製	※25	※鋼製	・図示による	・縦形 ・電動	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7mm ² スラット ・4mm ² スラット	・80 ・100	※7mm ² アルミ 合金製	・図示による	操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様 ・図示による			形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、 品質、特殊加工等	取付け 箇所	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーツひだ		・図示による	<p>15. カーテンレール (20.2.16)</p> <p>材料による区分 ・アルミニウム及びアルミニウム合金の押し出し成型材 ※ステンレス製 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>16. ブラインドボックス及びカーテンボックス</p> <p>材種 ・集成材 (仕上げ :) ※アルミニウム製 押し出し型材 (市販品) 標準仕様書表14.2.11による種別 ※BC-1種 BC-2種</p> <p>色合い ・標準色 () ・特注色 () ・鋼製 (仕上げ :)</p> <p>①7. 天井点検口</p> <p>⑧. 床点検口</p> <p>19. くつふきマット</p> <p>20. 流し台ユニット</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・流し台</td> <td>・1200</td> <td>・550</td> <td>・800</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・1500</td> <td>・600</td> <td>・850</td> <td>トラップ付き</td> </tr> <tr> <td>・1800</td> <td>・650</td> <td></td> <td>天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550</td> <td>・620</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・600</td> <td>・670</td> <td>バックガード有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・650</td> <td></td> <td>天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・つり戸棚</td> <td>・1200</td> <td>・450</td> <td>・500</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・900</td> <td></td> <td>・700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・1200</td> <td></td> <td></td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・水切り</td> <td>・900</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・600</td> <td></td> <td></td> <td>・1段式</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>形状 ※図示による</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ (m)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※アルミニウム合金製</td> <td>※テーパー式</td> <td></td> <td rowspan="2">※ハンドル式 ・ロープ式</td> <td rowspan="2">・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・同一断面式</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>21. 旗竿</p> <p>22. 旗竿受金物</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>形式</th> <th>材種</th> <th>柱径、肉厚 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>23. 車止めさく</p> <p>24. フェンス</p> <p>フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス</p> <p>高さ ・図示による</p> <p>25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th></th> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>質量区分</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・間知石</td> <td>・花こう岩 ・凝灰岩</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート間知ブロック</td> <td>—</td> <td></td> <td>・A ・B</td> <td></td> </tr> </table> <p>積み方 ※谷積み ・布積み 目塗り ・図示による</p> <p>伸縮調整目地 材種 ・図示による 厚さ ・図示による</p> <p>26. 鋼製書架及び物品棚</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>・鋼製書架 ・鋼製物品棚</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </table>	材種	寸法 (mm)			備考	W	D	H	・流し台	・1200	・550	・800	市販品	・1500	・600	・850	トラップ付き	・1800	・650		天板ステンレス製	・コンロ台	・600	・550	・620	市販品		・600	・670	バックガード有り		・650		天板ステンレス製	・つり戸棚	・1200	・450	・500	市販品	・900		・700		・1200			市販品	・水切り	・900	—	—	ステンレス製	・600			・1段式					材種	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考	※アルミニウム合金製	※テーパー式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式		・同一断面式			形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)	・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製				材種	種類	質量区分	備考	・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—		・コンクリート間知ブロック	—		・A ・B		種類	規格等	JISによる種類	・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種	<p>27. 屋内掲示板</p> <p>枠の材質 ※アルミニウム製</p> <p>表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り</p> <p>28. 洗面カウンター</p> <p>材種 ・メラミン樹脂化粧板張り (心材 : 集成材) ・人工大理石 奥行き (mm) ・約450 ・約600</p> <p>29. 防煙垂れ壁</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> <p>・可動式</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>高さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>※不燃布 (不燃認定品)</td> <td>※500 ・800</td> <td>ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>・回転降下式</td> <td>鋼板製又はアルミ製</td> <td>※500 ・800</td> <td>表面仕上げ ※天井材張り</td> </tr> </table> <p>降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)</p> <p>30. 屋外掲示板</p> <p>照明器具 ・有り ・無し 施錠 ・有り ・無し 製造所</p> <p>31. 収納家具</p> <p>合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放放量 ※F☆☆☆☆ 材質、形状、寸法 ※図示による</p>	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考	※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き	種類	材質	高さ (mm)	備考	・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)	・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り	<p>11 総 揮 発 性 有 機 化 合 物 (T V O C) 測 定 仕 様 書</p> <p>1. 一般事項</p> <p>2. 測定対象化学物質</p> <p>3. 測定方法</p> <p>試験採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚生労働省の測定方法」という。) の新築住宅の例に準拠して行う。</p> <p>測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の①から⑭の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。</p> <p>1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。</p> <p>2) トルエン換算で2.0µg/m³未満のピークは測定の対象としない。</p> <p>3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。</p> <p>表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>化学物質名</th> <th colspan="3">室内濃度指針値</th> </tr> <tr> <td>①ホルムアルデヒド</td> <td>100 µg/m³</td> <td>0.08 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②トルエン</td> <td>260 µg/m³</td> <td>0.07 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③キシレン</td> <td>200 µg/m³</td> <td>0.05 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エチルベンゼン</td> <td>3,600 µg/m³</td> <td>0.88 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤スチレン</td> <td>220 µg/m³</td> <td>0.05 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥パラジクロロベンゼン</td> <td>240 µg/m³</td> <td>0.04 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦テトラドカドカン</td> <td>330 µg/m³</td> <td>0.04 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧アセトアルデヒド</td> <td>48 µg/m³</td> <td>0.03 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨ノナナール</td> <td>(暫定)41 µg/m³</td> <td>0.007 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩フタル酸ジ-n-ブチル</td> <td>17 µg/m³</td> <td>0.0015 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル</td> <td>100 µg/m³</td> <td>0.0063 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫クロルピリホス</td> <td>1 µg/m³</td> <td>0.0007 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑬ダイアジノン</td> <td>0.29 µg/m³</td> <td>0.0002 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑭フェノブカルブ</td> <td>33 µg/m³</td> <td>0.0038 ppm</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)</td> <td>400 µg/m³</td> <td>(暫定目標値)</td> <td></td> </tr> </table> <p>4. 測定する室</p> <p>1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等 ・ 室名 :</p> <p>2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室 ・ 室名 : ・ 屋外 (周囲の建物から離れた場所 1か所)</p> <p>5. 測定結果等報告書の提出</p> <p>次の事項を記載した報告書を2部提出する。</p> <p>1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試験採取時の気温が20°Cに満たない場合には、「厚生労働省の測定方法」に定める計算式で20°C、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25°C、湿度50%に補正した濃度を報告すること。)</p> <p>2) 試験採取時の状況 (気温・湿度 (屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試験採取までの日数)</p> <p>3) 試験採取方法、測定方法、使用した測定機器</p> <p>4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し</p> <p>6. その他</p> <p>表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。 TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。</p>	化学物質名	室内濃度指針値			①ホルムアルデヒド	100 µg/m ³	0.08 ppm		②トルエン	260 µg/m ³	0.07 ppm		③キシレン	200 µg/m ³	0.05 ppm		④エチルベンゼン	3,600 µg/m ³	0.88 ppm		⑤スチレン	220 µg/m ³	0.05 ppm		⑥パラジクロロベンゼン	240 µg/m ³	0.04 ppm		⑦テトラドカドカン	330 µg/m ³	0.04 ppm		⑧アセトアルデヒド	48 µg/m ³	0.03 ppm		⑨ノナナール	(暫定)41 µg/m ³	0.007 ppm		⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 µg/m ³	0.0015 ppm		⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 µg/m ³	0.0063 ppm		⑫クロルピリホス	1 µg/m ³	0.0007 ppm		⑬ダイアジノン	0.29 µg/m ³	0.0002 ppm		⑭フェノブカルブ	33 µg/m ³	0.0038 ppm		⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 µg/m ³	(暫定目標値)	
施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床材 ・タイル・ペイント																																																																																																																																																																																																																																																																																																
構造形式による種類	構成基材の種類 ※スラット パネル	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式		・メラミン樹脂焼付又は 7カメル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装 置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質 仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ※36以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
表面材の材料	脚部		ドアエッジ 材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ		※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
材種	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・集成材 (材種 :)	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・ビニル製		・35程度 ・45程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅	ボックス・レールの 材種	幅・高さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・横形 ・電動	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7mm ² アルミ 合金製	※25	※鋼製	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・縦形 ・電動	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7mm ² スラット ・4mm ² スラット	・80 ・100	※7mm ² アルミ 合金製	・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																
操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様 ・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、 品質、特殊加工等	取付け 箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーツひだ		・図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材種	寸法 (mm)			備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	W	D	H																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・流し台	・1200	・550	・800	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・1500	・600	・850	トラップ付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・1800	・650		天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・コンロ台	・600	・550	・620	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		・600	・670	バックガード有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		・650		天板ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・つり戸棚	・1200	・450	・500	市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・900		・700																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・1200			市販品																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・水切り	・900	—	—	ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・600			・1段式																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
材種	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※アルミニウム合金製	※テーパー式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・同一断面式																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・上下式鎖内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	材種	種類	質量区分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・コンクリート間知ブロック	—		・A ・B																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	規格等	JISによる種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 ・2種 ・3種 ・4種 ・5種 ・6種																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種類	材質	高さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
化学物質名	室内濃度指針値																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
①ホルムアルデヒド	100 µg/m ³	0.08 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
②トルエン	260 µg/m ³	0.07 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
③キシレン	200 µg/m ³	0.05 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
④エチルベンゼン	3,600 µg/m ³	0.88 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑤スチレン	220 µg/m ³	0.05 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑥パラジクロロベンゼン	240 µg/m ³	0.04 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑦テトラドカドカン	330 µg/m ³	0.04 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑧アセトアルデヒド	48 µg/m ³	0.03 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑨ノナナール	(暫定)41 µg/m ³	0.007 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 µg/m ³	0.0015 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 µg/m ³	0.0063 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑫クロルピリホス	1 µg/m ³	0.0007 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑬ダイアジノン	0.29 µg/m ³	0.0002 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑭フェノブカルブ	33 µg/m ³	0.0038 ppm																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 µg/m ³	(暫定目標値)																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

(株) 池下建築設計

事務所登録 宮城県 第21610219号

設計年月日

調査者氏名

設計者氏名
池下 久幸
一級建築士
第280837号

工事名称
令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

図面名称
Scale

改修特記仕様書 (10)

全業

図面 No
A-11

各工事の区分表

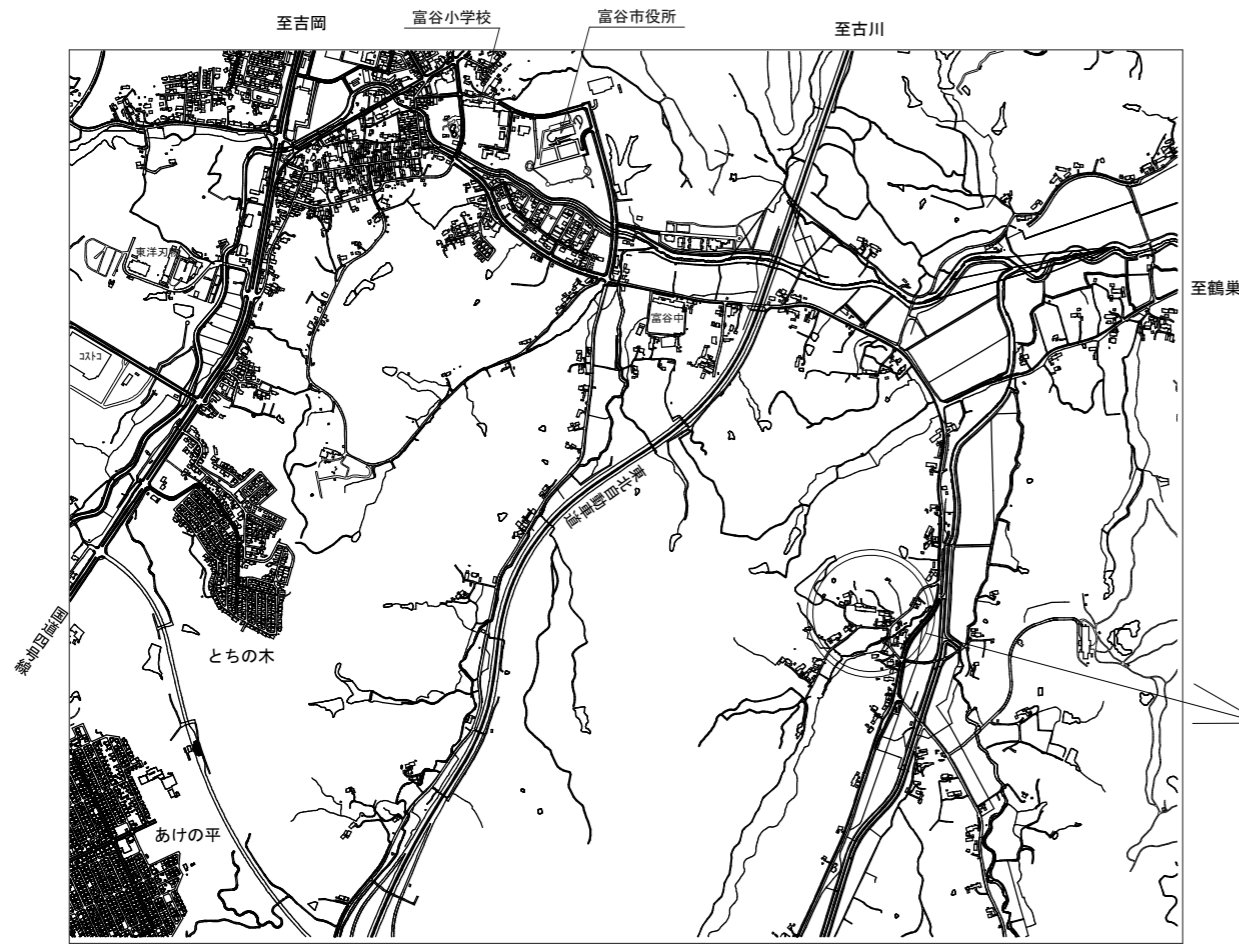
工 事 項 目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	備 考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	●	●	○		各工事に必要な27-7 は各々の工事とする（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強	●						
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	●	●	○		
工場製作間仕切及び同左の天井、床、各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強							
天井付各種設備器具の穴開け、取付枠及び補強・補修	※	○	○	○			※下地補強のみ建築
設備関係居室のシンダーコンクリート	○						
屋上、屋外及び室内設置機器及び水槽類の基礎	○						
同上 仕上（防水）	○						
同上 用架台及びアンカーボルト箱入れ、埋込み		○	○	○			
自動ドア・防火扉（シャッター含む）	○	※					※有感からの番号、1次配線
台所用レンジフード及び浴室天井扇及び取付調整			○				ユニットバス除く
同上ダクト接続			○				
同上電源用配管、配線及び接続		●					
ユニットバス（ユニットバス含む以下同じ）墨出し及び据付工事	○						
浴槽及び据付	○						浴槽パン共建築工事
ユニットバス内シャワー水栓及び取付	○						
同上廻りシーリング打ち	○						
同上への配線及び配管接続		○	○				※1次側のみ
キッチンキャビネット及び据付工事	●						
同上への配管接続			●				
吊戸棚、水切棚及び取付（バックガード共）	●						
同上への照明用電源配線及び接続		●					
洗面台及び据付			○				
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）	○						
同上配管接続			○				
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○					
洗濯パン			○				
設備機器用スリーブ、給気用スリーブ及び取付			●	●			
ダクト用ベントキャップ及び取付				●			
床、壁、天井点検口（下地補強共）	●						設備壁用層は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付、配線	※		●				※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付			●				
床暖房工事	※1	※2	※2				※1仕上げは建築 ※2電気又は空調は電気式・温水式区分による
非常用照明及び誘導灯		○					
消火器			○				
同上表示及び収納箱	○						
各種配管、ダクトの雨掛り躯体貫通部のシーリング 打ち		●	●	●			
エレベーター各層出入口躯体穴開け・吊りフック	○						
エレベーター出入口三方枠・扉上部扉板					○		
三方枠廻りのノロ詰め					○		
エレベーター機械室床、穴開け復旧工事	○						
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○						
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事	○						
壁種・ドレン・受け種	●						
壁種から第一階までの接続	●						
同上第一階以降の排水設備（樹・側溝等）					●		
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○				※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
TVAアンテナ、アンカーボルト取付工事		○					
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※	※			※図面特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事（屋外）		※			○		※照明器具の設置及び配線
自転車置場（屋外）					○		
同上照明器具及び接続		○					
プロパンボンベ庫	○	※	※				
同上配管工事			○				
便所の目皿・手摺り	○						便器一体の手摺り除く
便所のペーパーホルダー			○				
手洗い乾燥機			○				
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体	※	○					※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場、歩道工事					○		
雨水排水側溝設置工事					○		
同上排水管接続		●					

工 事 項 目	建築	電気	衛生	空調	昇降	外構	備 考
1 ・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金	○	○	○	○	○	○	●
2 ・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○	○	○	○	●
3 1、2以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用	○	○	○	○	○	○	●
4 上下水道・ガス・電気等の加入金、負担金							●

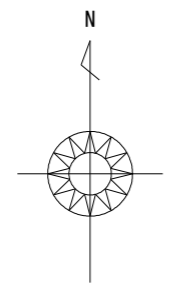
設計年月日	調査	設計 池下久幸 (一級建築士) 第280837号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事 図面名称 各工事の区分表	企業	図面 No. A-12
-------	----	-----------------------------------	--	----	----------------

池下建築設計一級建築士事務所
宮城県知事登録 第21610219号

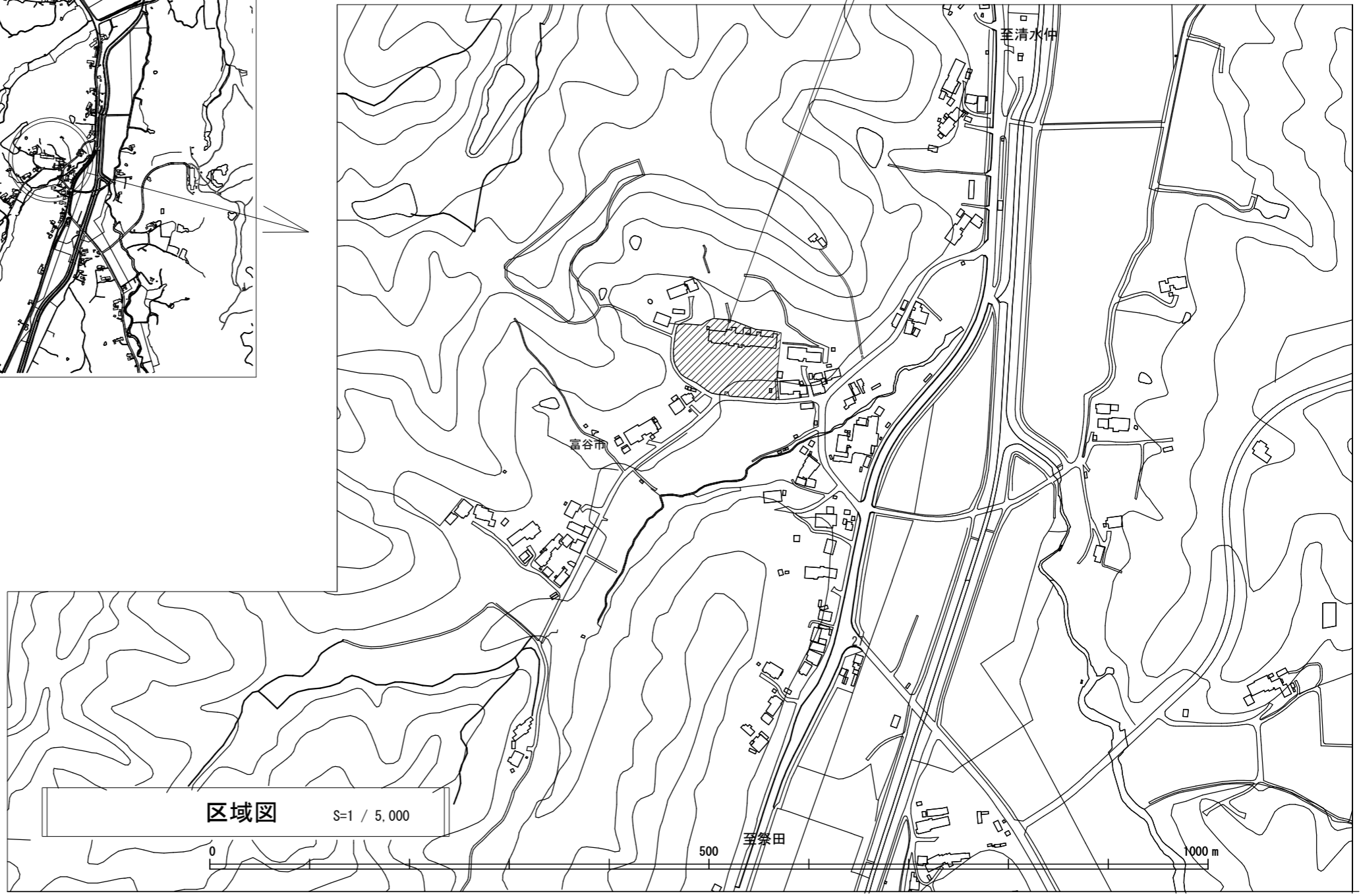
設計年月日	調査	設計 池下久幸 (一級建築士) 第280837号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事 図面名称 各工事の区分表	企業	図面 No. A-12
-------	----	-----------------------------------	--	----	----------------



位置図 SCALE:1/20,000

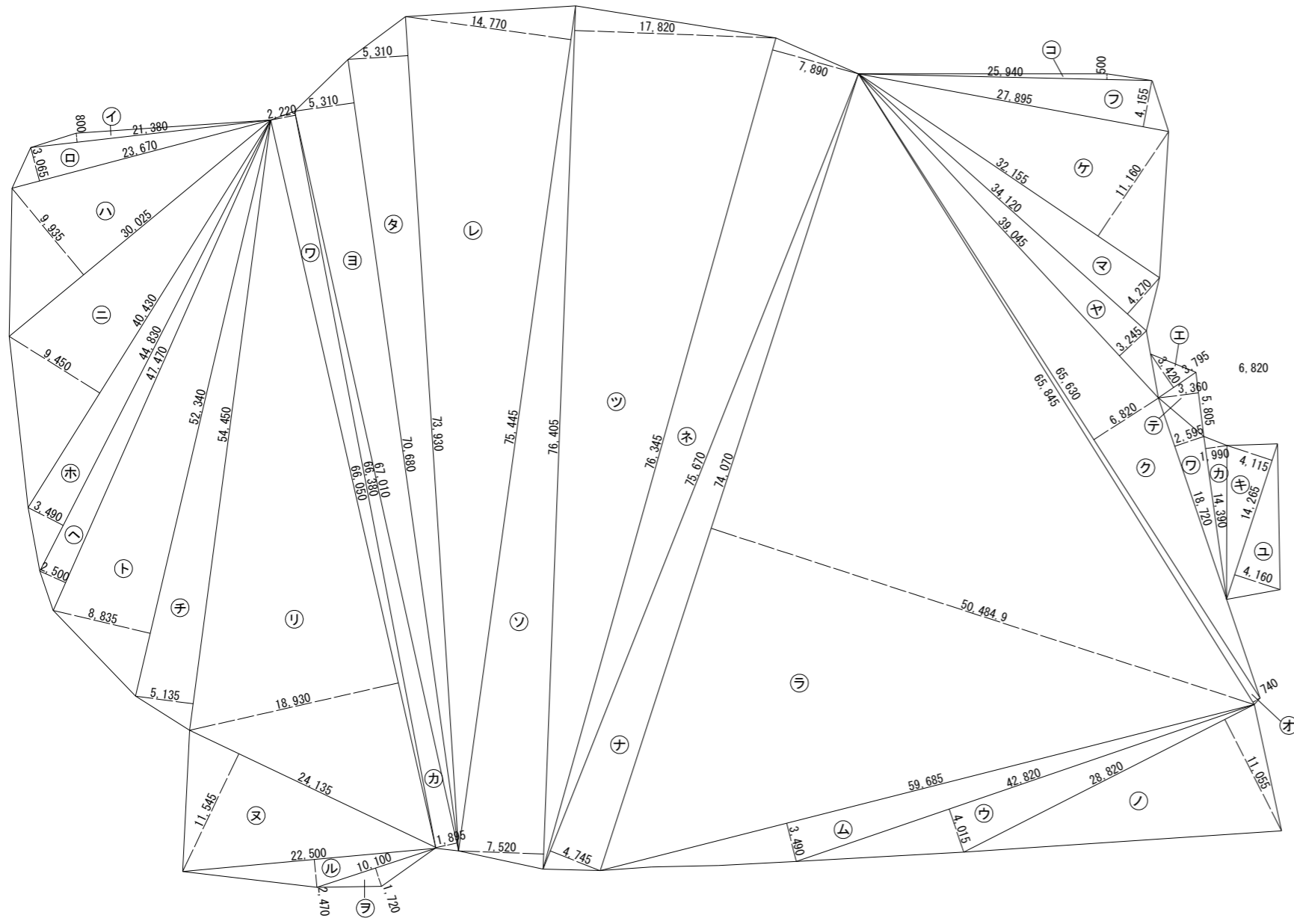


工事場所：富谷市西成田郷田一番地内



区域図 S=1 / 5,000

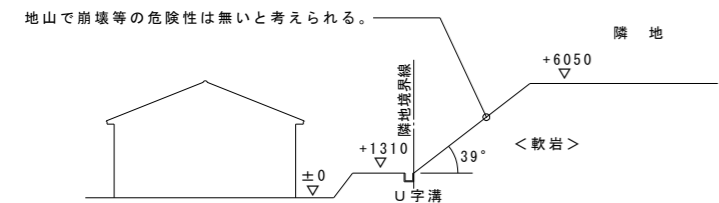
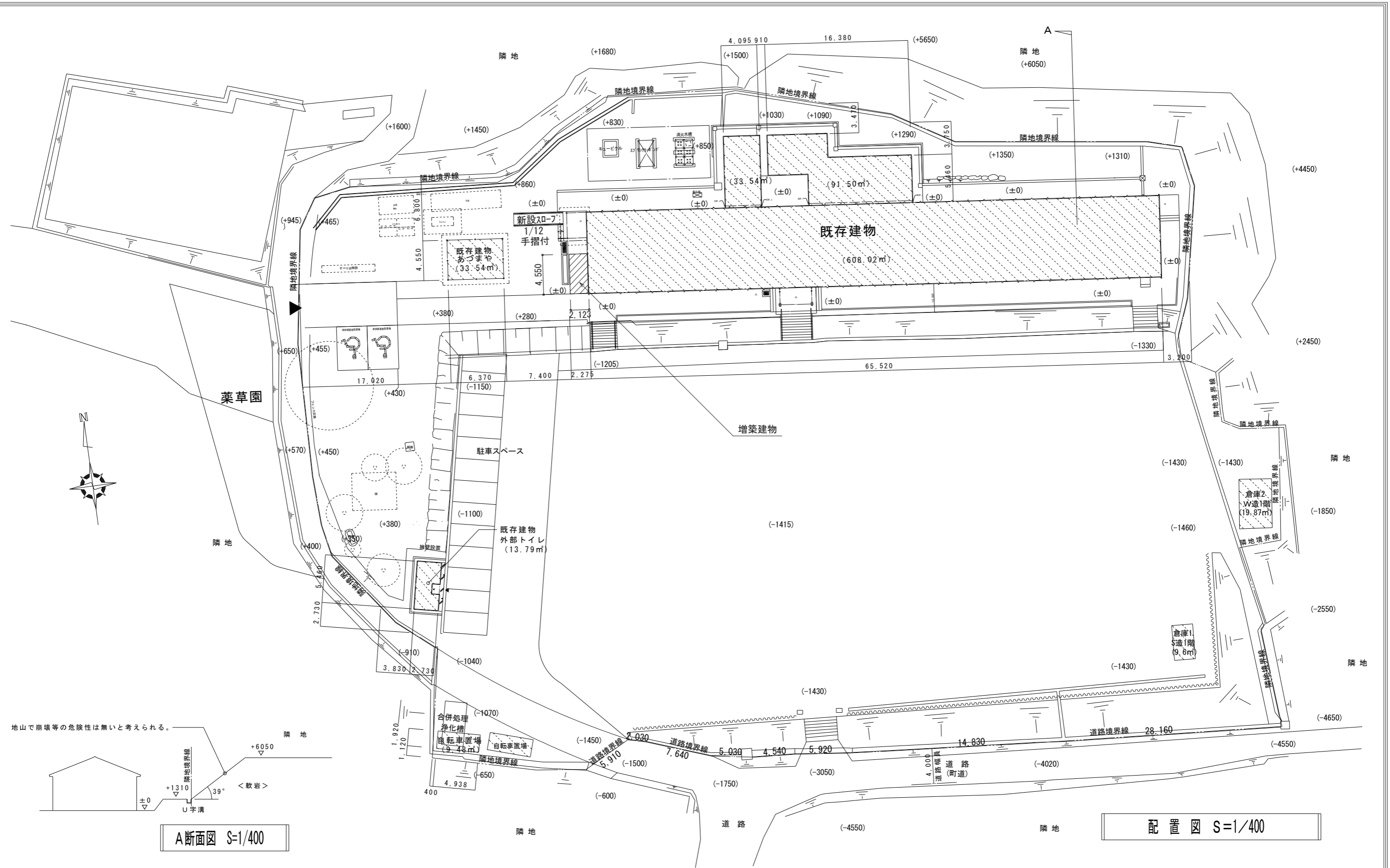
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 位置図、区域図	図面No. A-13
		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付		



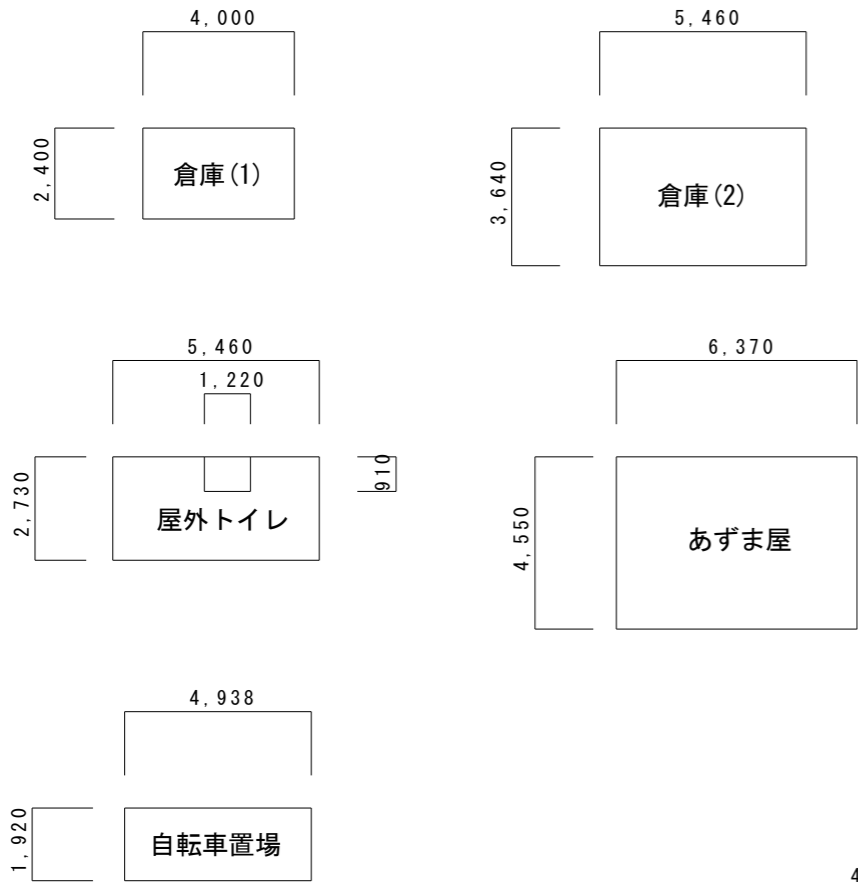
敷地求積図 1:500

敷地面積			
イ	21.380	x	0.800
ロ	23.670	x	3.065
ハ	30.025	x	9.935
ニ	40.430	x	9.450
ホ	44.830	x	3.490
ヘ	41.470	x	2.500
ト	52.340	x	8.835
チ	54.450	x	5.135
リ	66.050	x	18.930
ヌ	24.135	x	11.545
ル	22.500	x	2.470
ヲ	10.100	x	1.720
ワ	66.380	x	2.220
カ	67.010	x	1.895
ヨ	70.680	x	5.310
タ	73.930	x	5.310
レ	75.445	x	14.770
ソ	76.405	x	7.520
ツ	76.405	x	17.820
ネ	76.345	x	7.890
ナ	75.670	x	4.745
ラ	74.070	x	50.485
ム	59.685	x	3.490
ウ	42.820	x	4.015
ノ	28.820	x	11.055
オ	65.845	x	0.740
ク	65.630	x	6.820
ヤ	39.045	x	3.245
マ	34.120	x	4.270
ケ	32.155	x	11.160
フ	27.895	x	4.155
コ	25.940	x	0.500
エ	3.795	x	3.420
セ	5.805	x	3.360
フ	18.720	x	2.595
カ	14.930	x	1.990
キ	14.265	x	4.115
ユ	14.265	x	4.160
			14,364.5366
			x 1/2
			7,182.2683 m ²

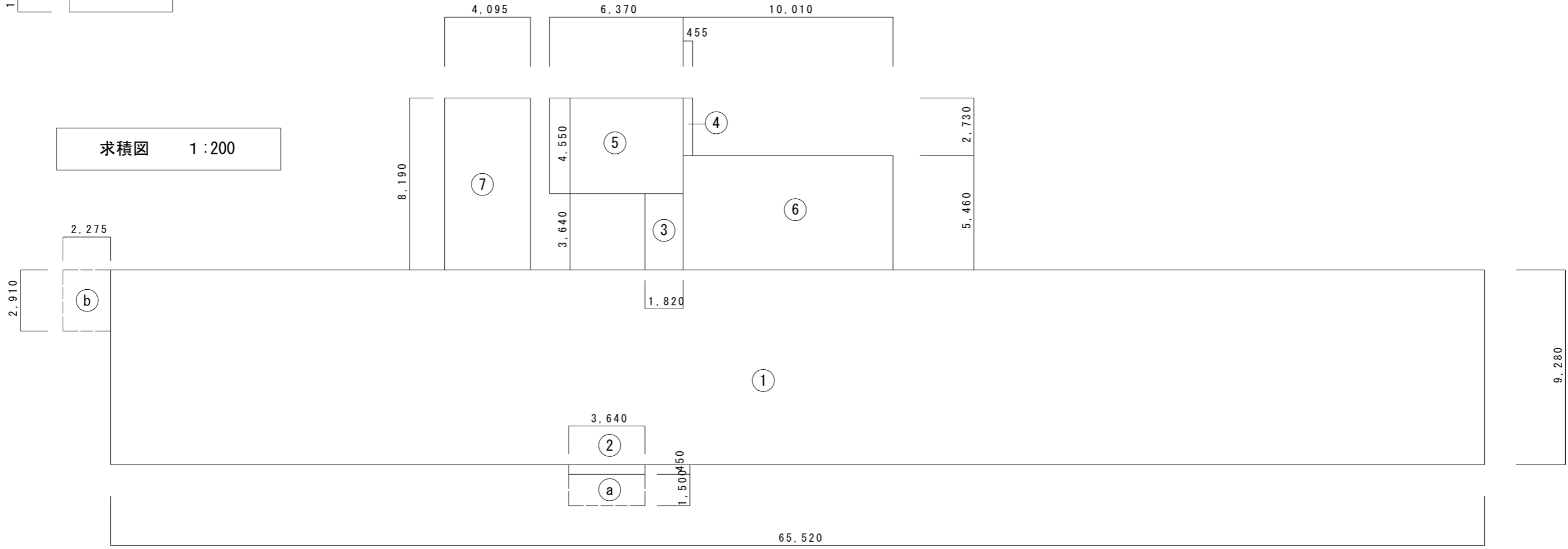
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 敷地求積図	図面No. A-14
		日付	日付	日付		
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ				縮尺 1/500	



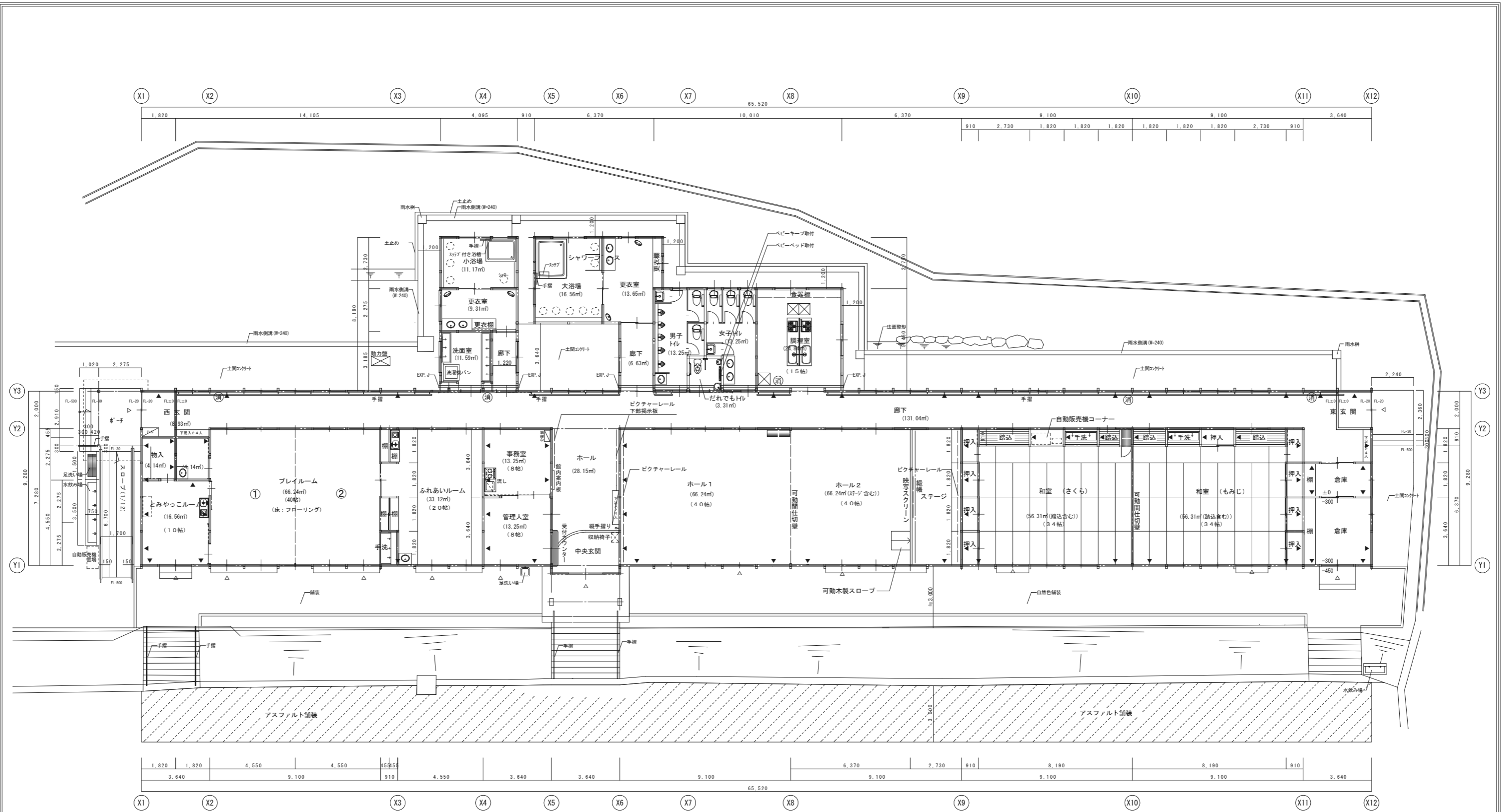
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 配置図	図面No. A-15
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/400	



面積算定表			面積表				
①	65.520 × 9.280	608.0260	a	3.640 × 1.500	5.460	床面積 (本体既存部分)	
②	3.640 × 0.455	1.656	b	2.275 × 2.910	6.620	1 F 床面積	①+②+③+④+⑤+⑥
③	1.820 × 3.640	6.625				延床面積	1 F 床面積
④	0.455 × 2.730	1.242				建築面積	1 F 床面積 + a
⑤	6.370 × 4.550	28.984	倉庫 1	4.000 × 2.400	9.600	床面積 (既存建物)	
⑥	10.010 × 5.460	54.655	倉庫 2	5.460 × 3.640	19.874	延床面積	倉庫 1 + 倉庫 2
⑦	4.095 × 8.190	33.538				建築面積	倉庫 1 + 倉庫 2
			屋外トイレ	床面積 5.460 × 2.730 - 1.220 × 0.91	13.795		
				建築面積 5.460 × 2.730	14.905	床面積 (本体H22増築部分)	
			あずま屋	6.370 × 4.550	28.983	1 F 床面積	⑦
			自転車置場	4.938 × 1.920	9.480	延床面積	1 F 床面積
						建築面積	1 F 床面積 + b
						床面積 (その他H22増築部分)	
						延床面積	屋外トイレ + あずま屋 + 自転車置場
						建築面積	屋外トイレ + あずま屋 + 自転車置場
						延床面積 (計)	(既存部分) + (本体H22増築部分)
						建築面積 (計)	(既存部分) + (本体H22増築部分)
						延床面積 (合計)	(既存部分) + (本体H22増築部分) + (既存建物) + (その他H22増築部分)
						建築面積 (合計)	(既存部分) + (本体H22増築部分) + (既存建物) + (その他H22増築部分)

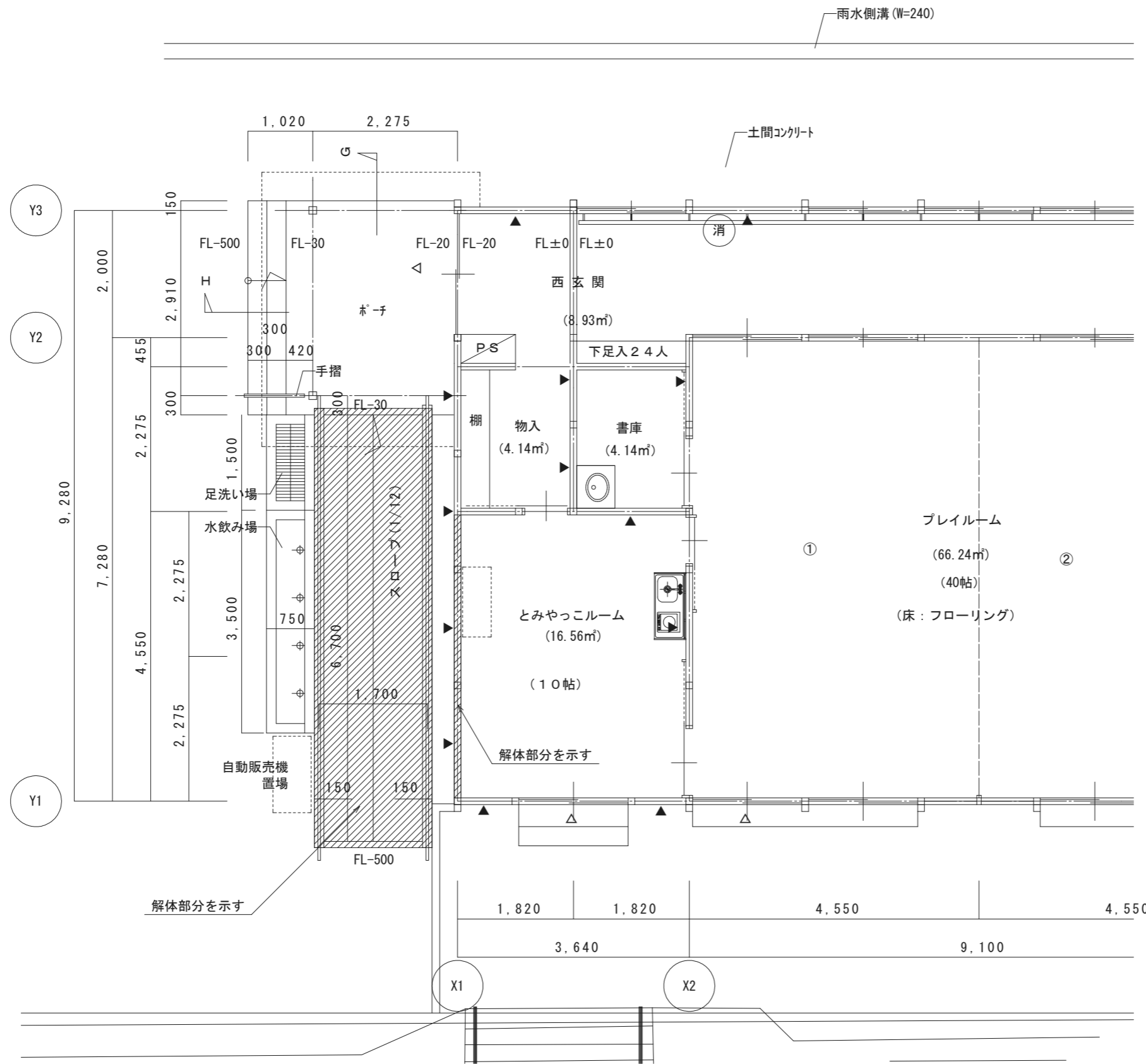


工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 既存 建物面積表	図面No. A-16
		日付	日付	日付		
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ				縮尺 1/200	



凡例
 (消) : 消火器 (ABC10型)
 ▼ : 耐震補強改修部分

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	管理者	設計者	担当者	図面名	既存 平面図 縮尺 1/200	図面 No. A-17
		日付	日付	日付			



工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

(株)池下建築設計

管理者

設計者

担当者

図面名

既存 平面詳細図

図面 No.

A-18

備考

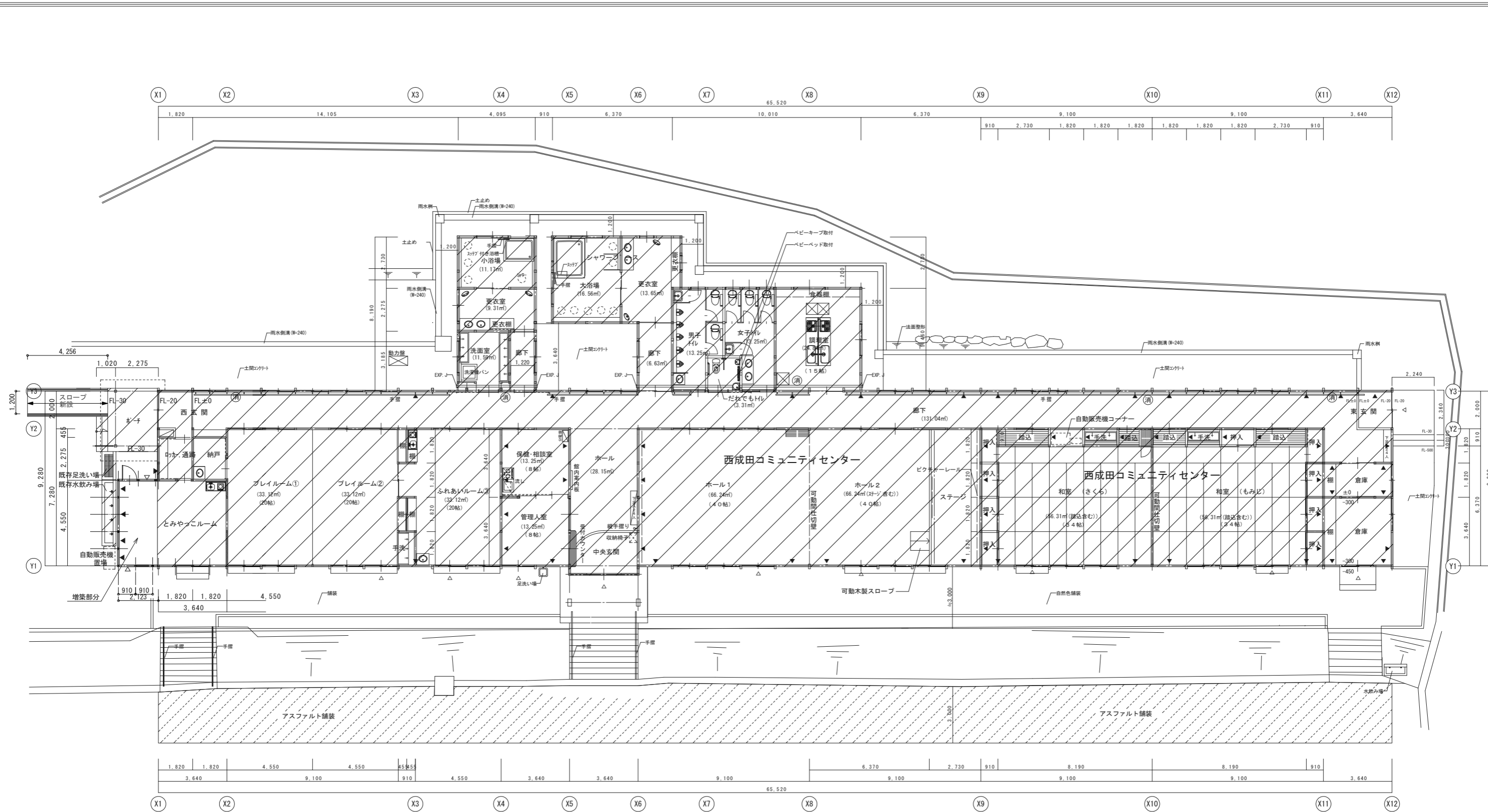
宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

日付

日付

日付

縮尺 1/75

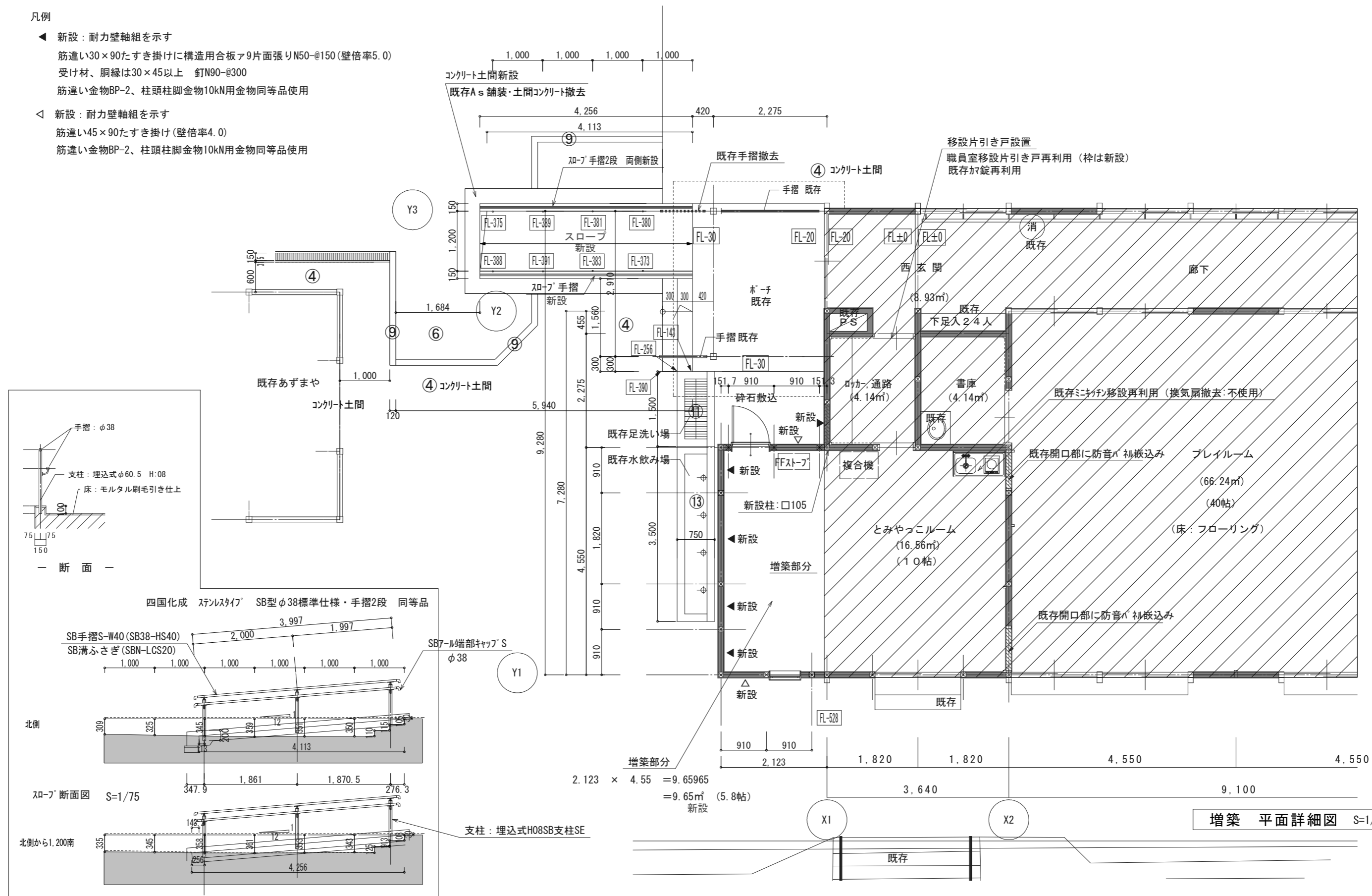


凡例
 (消) : 消火器 (ABC10型)

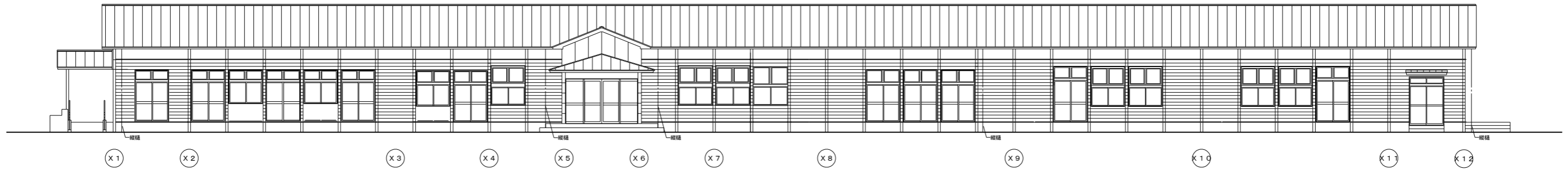
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 増築 平面図	図面 No. A-19
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/200	

凡例

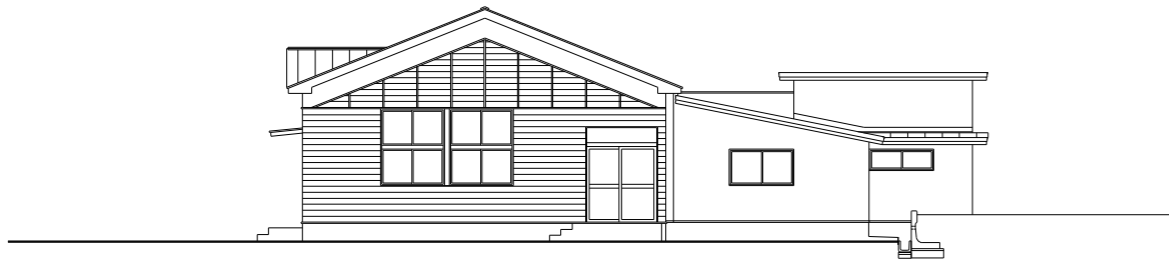
- ◀ 新設：耐力壁軸組を示す
筋違い30×90たすき掛けに構造用合板ア9片面張りN50-@150(壁倍率5.0)
受け材、胴縁は30×45以上 釘N90-@300
筋違い金物BP-2、柱頭柱脚金物10kN用金物同等品使用
- ◁ 新設：耐力壁軸組を示す
筋違い45×90たすき掛け(壁倍率4.0)
筋違い金物BP-2、柱頭柱脚金物10kN用金物同等品使用



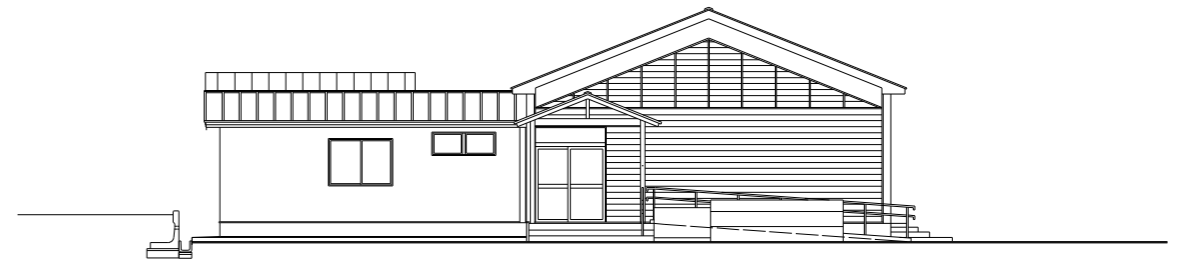
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 増築 平面詳細図	図面No. A-19-2
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/75, 1/50	



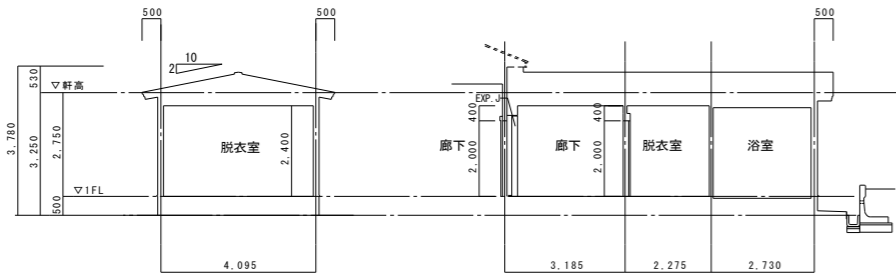
南側立面図 S=1/200



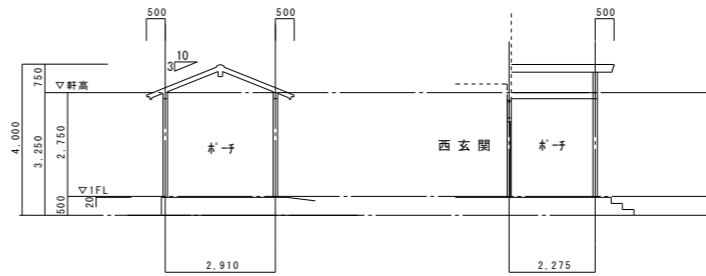
東側立面図 S=1/200



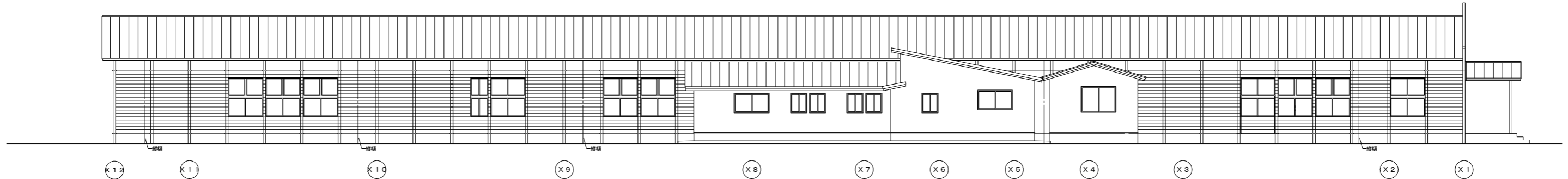
西側立面図 S=1/200



既存 断面図(1) S=1/200

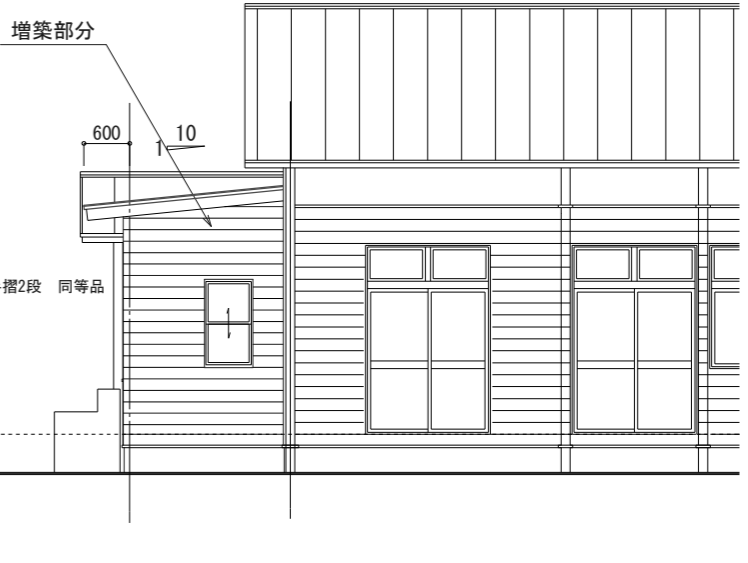
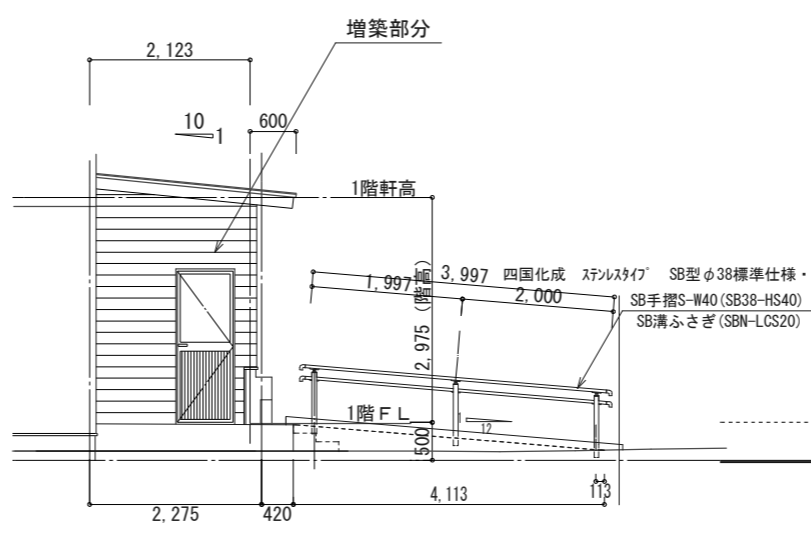
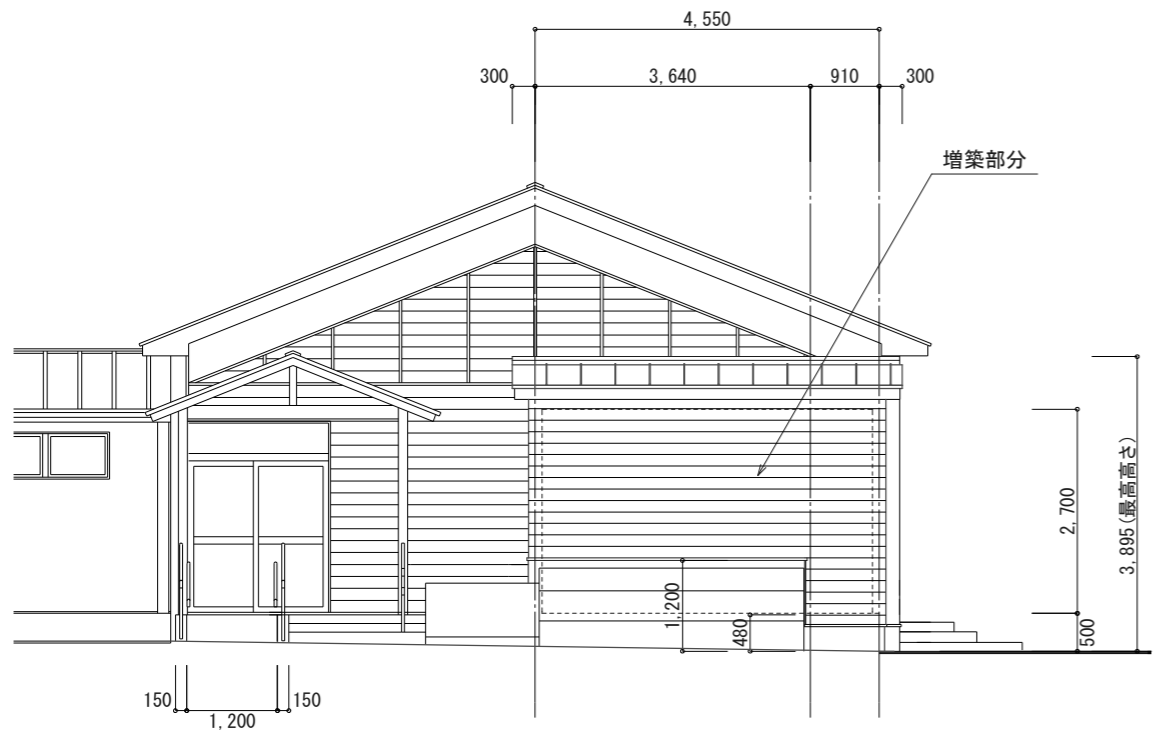
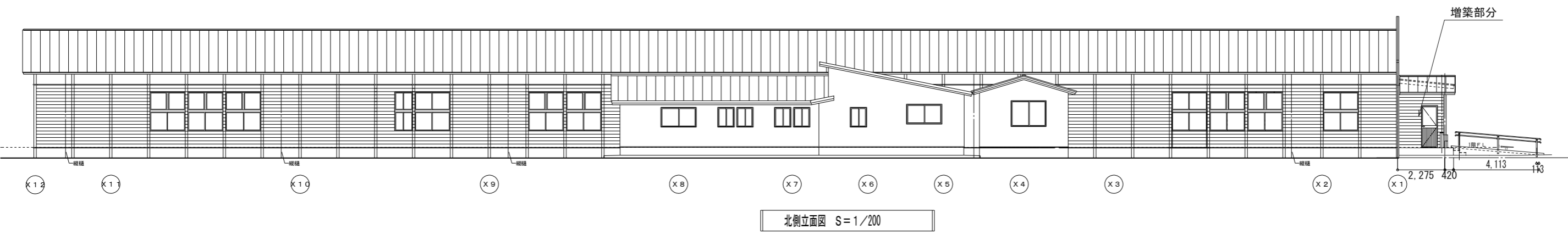
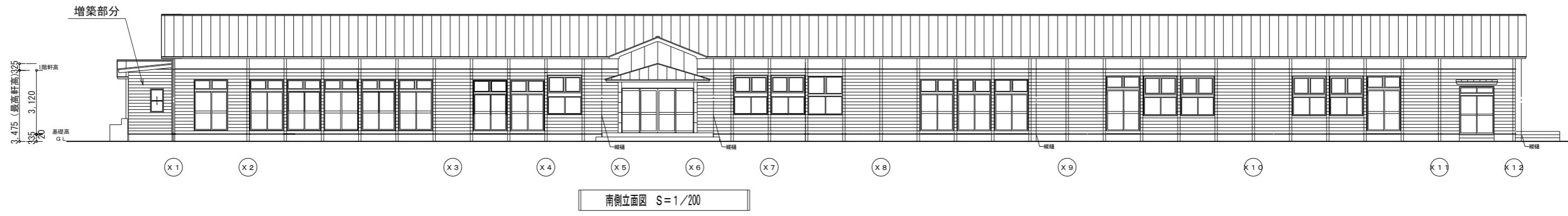


既存 断面図(2) S=1/200



北側立面図 S=1/200

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	管理者	設計者	担当者	図面名	既存 立面図 縮尺 1/200	図面No. A-20
		日付	日付	日付			

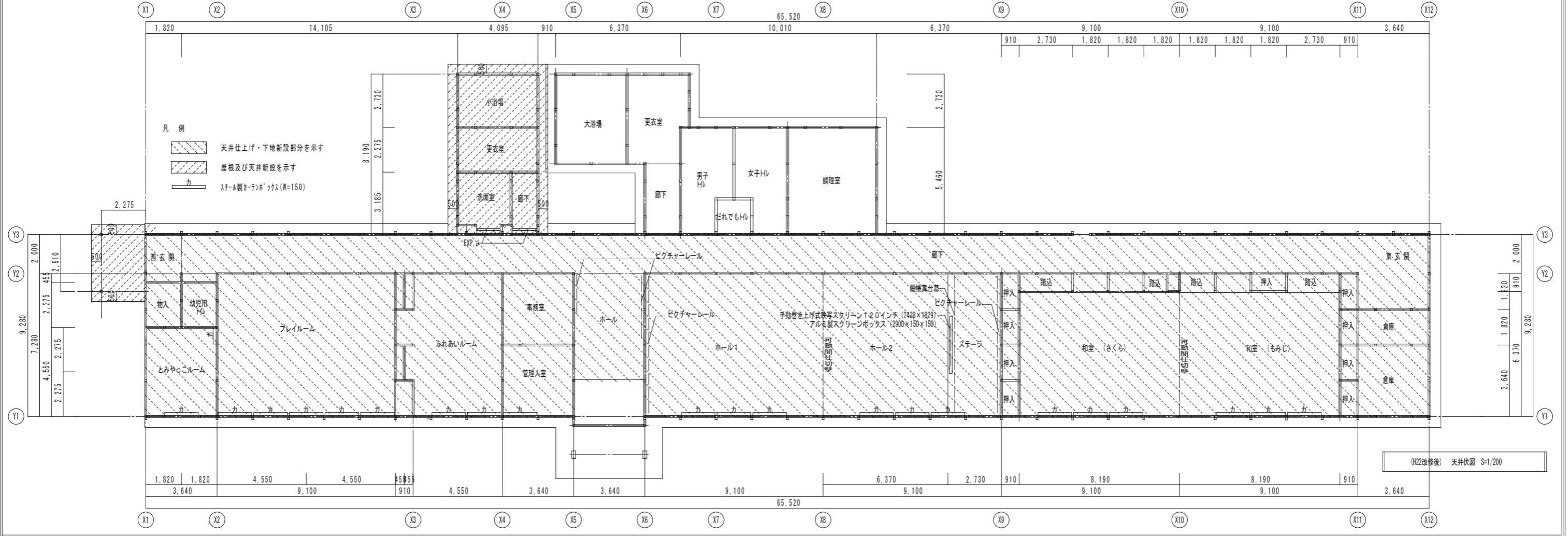
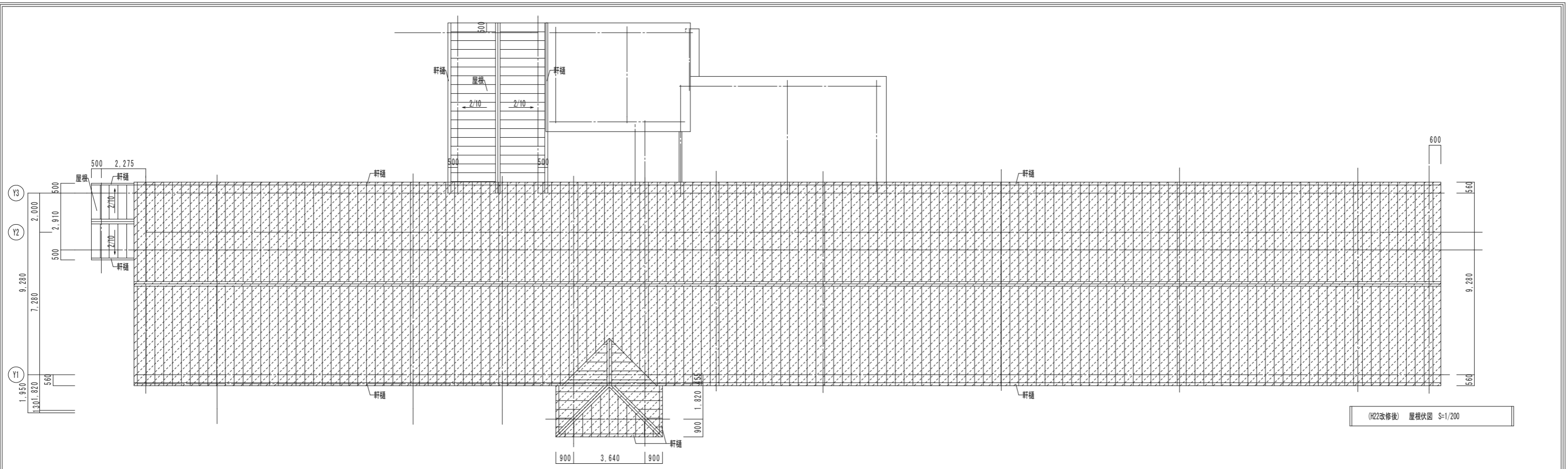


西側 立面図 S:1/100

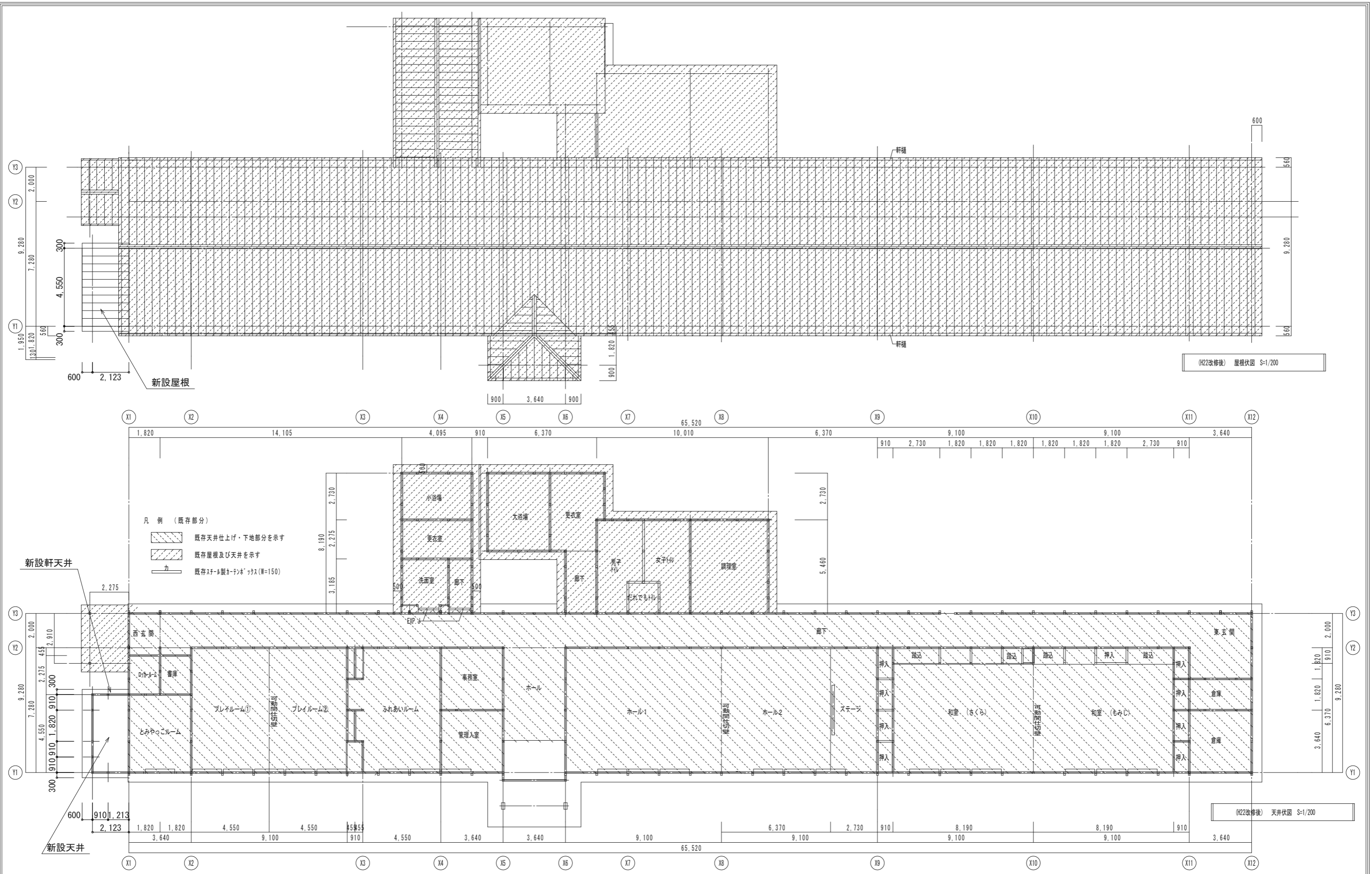
北側 立面図 S:1/100

南側 立面図 S:1/100

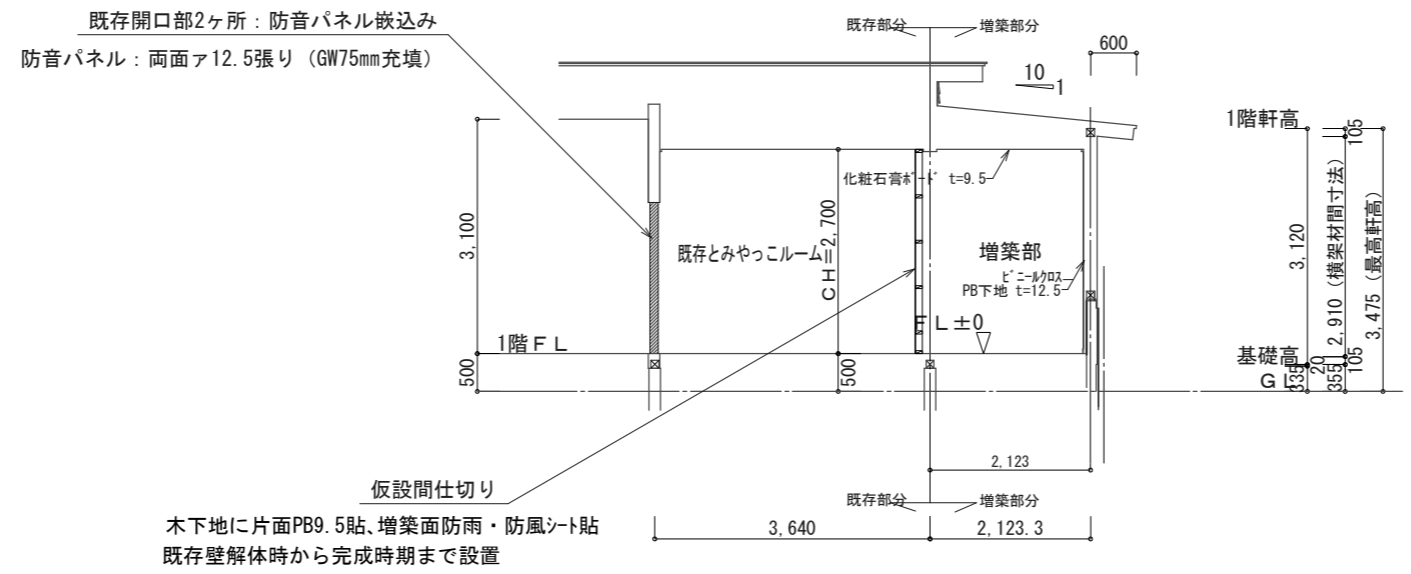
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事 備考	(株)池下建築設計 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	管理者	設計者	担当者	図面名	増築 立面図 縮尺 1/100, 1/200	図面No. A-21
		日付	日付	日付			



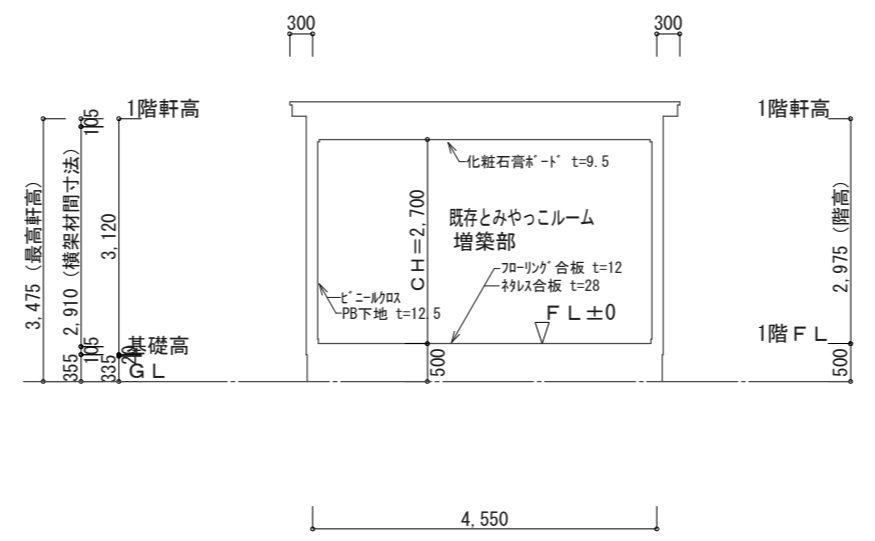
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 既存 屋根・天井伏図	図面No. A-22
		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	
備考						



工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	管理者	設計者	担当者	図面名 増築 屋根・天井伏図	図面 No. A-23
		日付	日付	日付	縮尺 1/200	

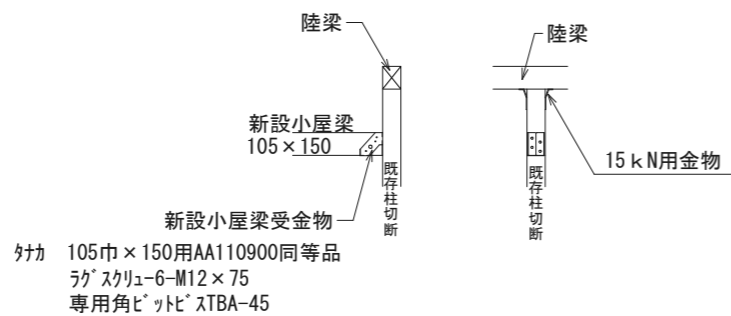


増築部 断面図(1) S=1/100



増築部 断面図(2) S=1/100

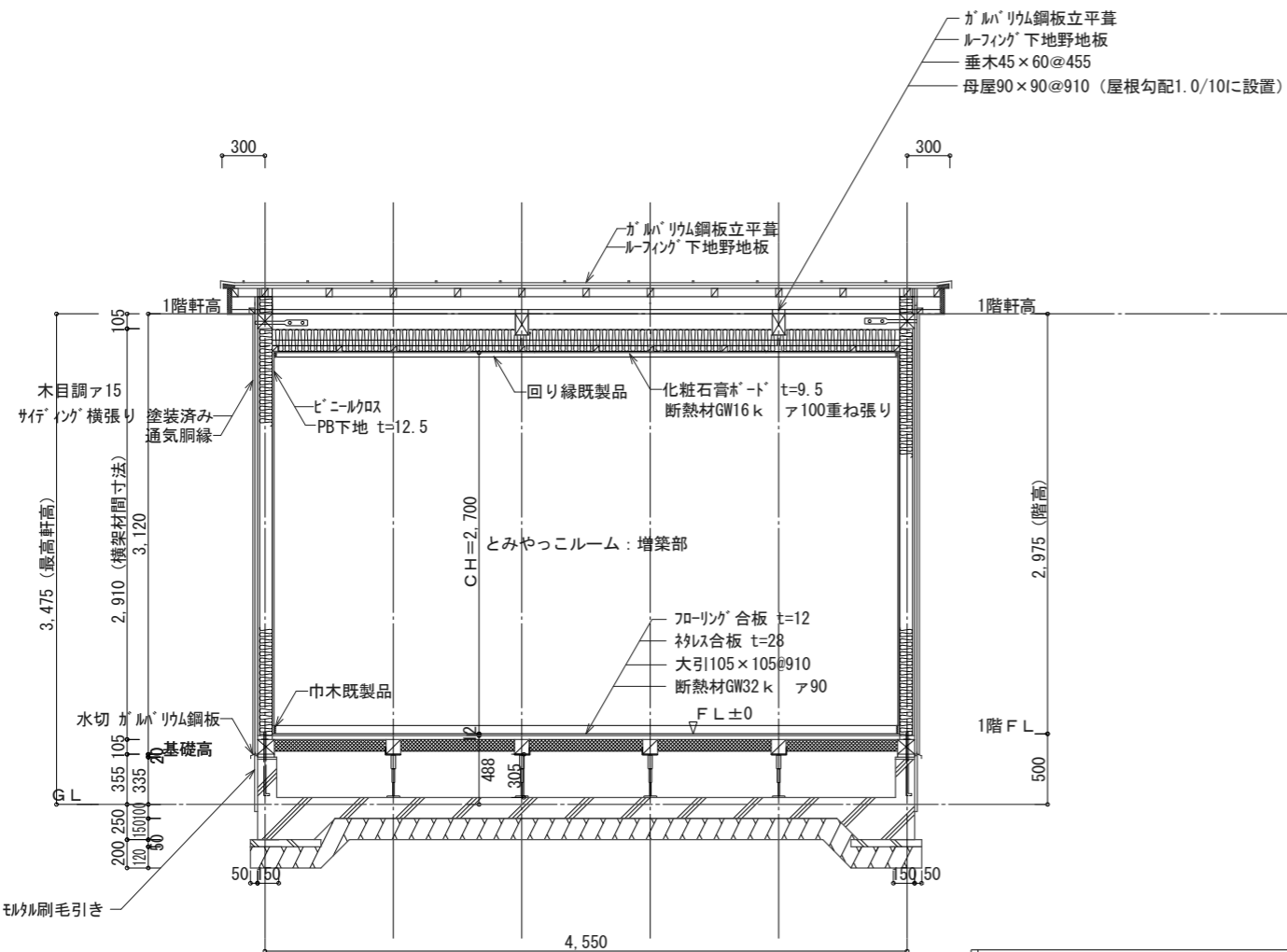
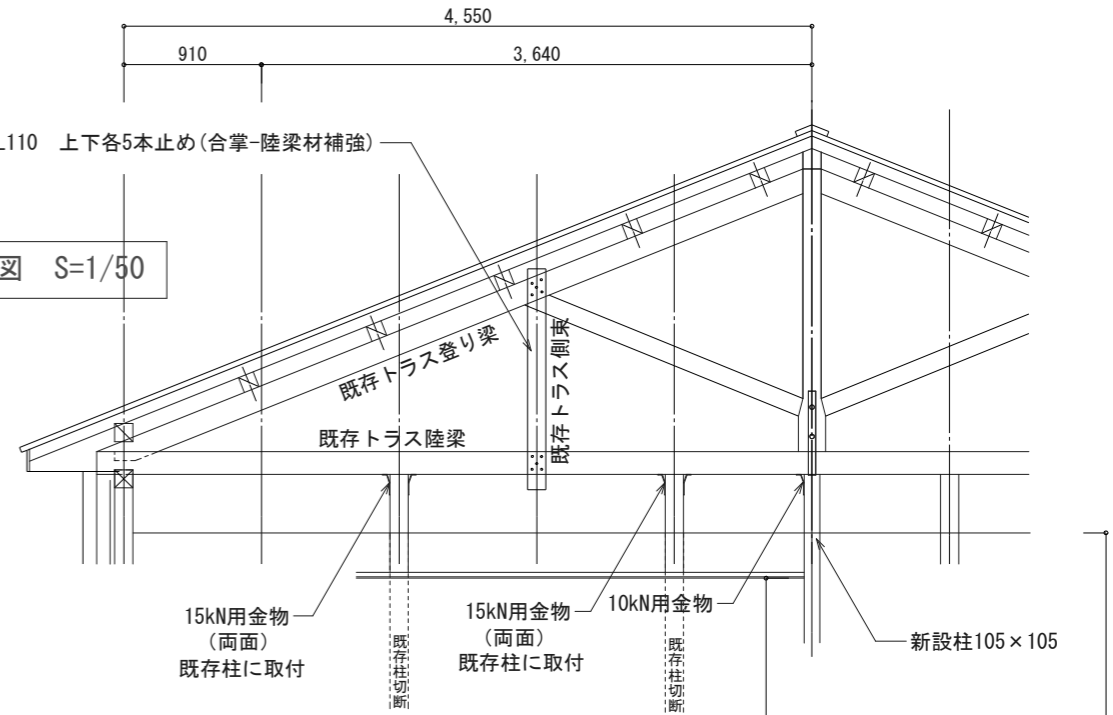
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 増築部 断面図	図面No. A-24
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100	



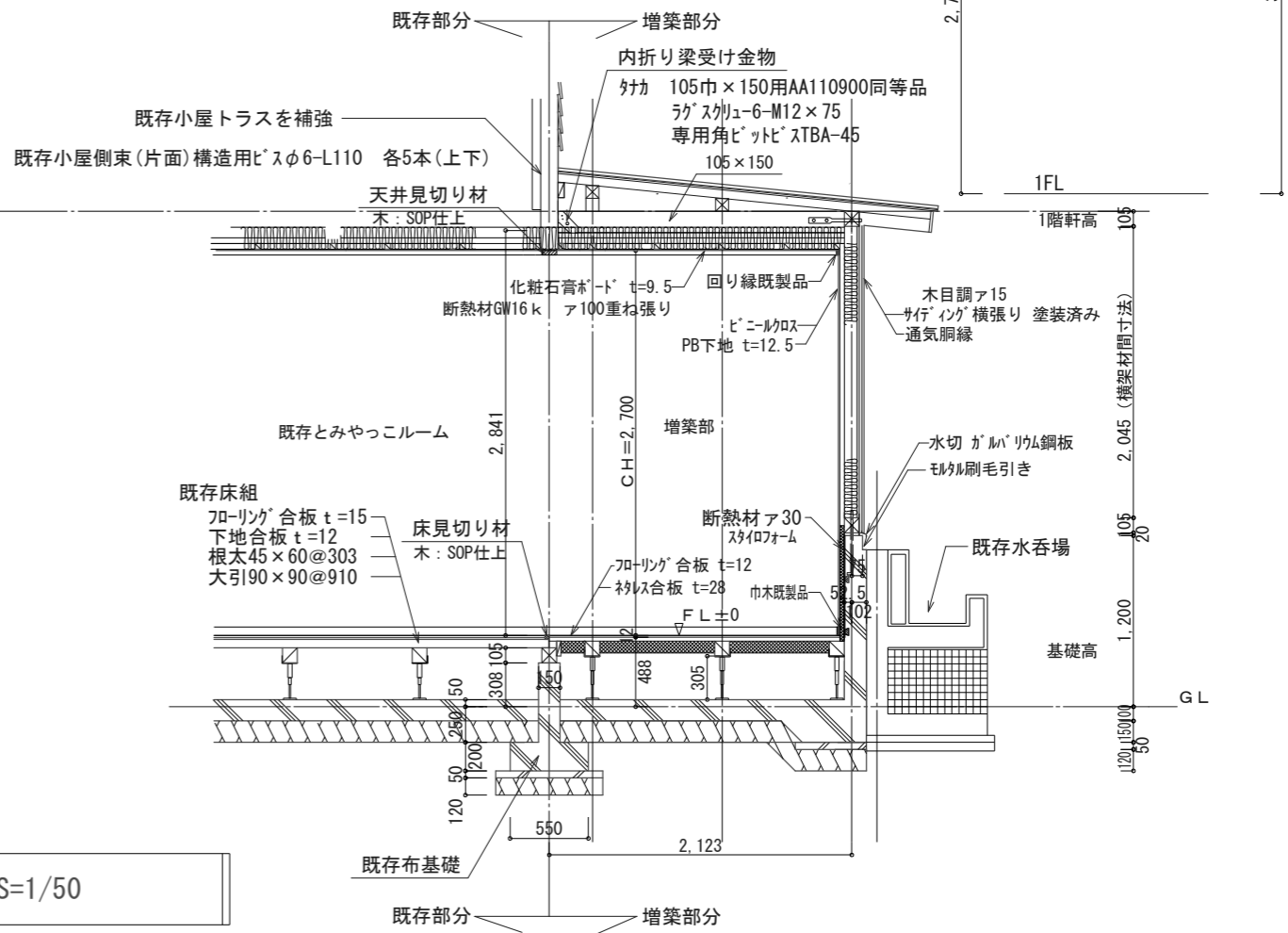
側面図 S=1/50 正面図 S=1/50

増築母屋接合部補強 詳細図 S=1/50
(既存トラス補強用柱を利用)

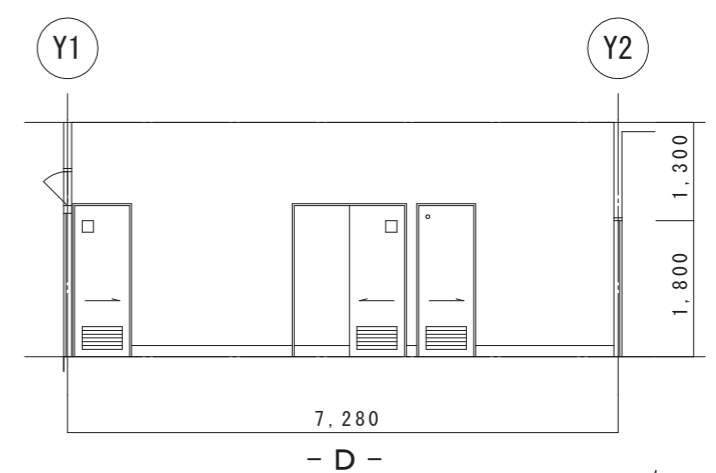
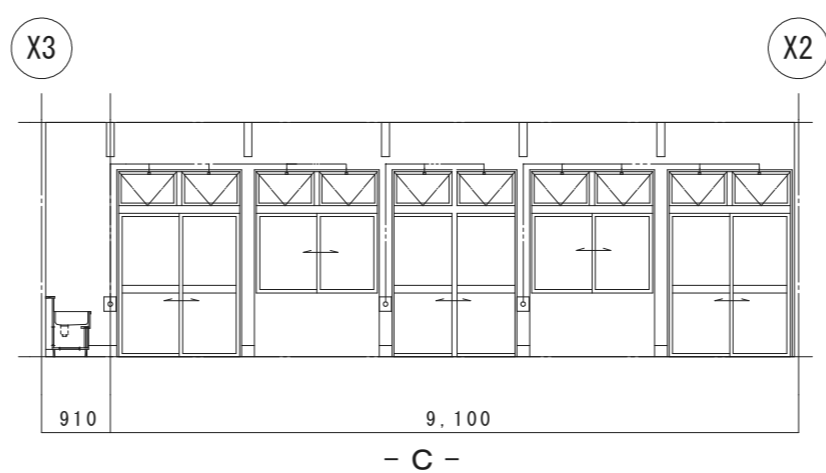
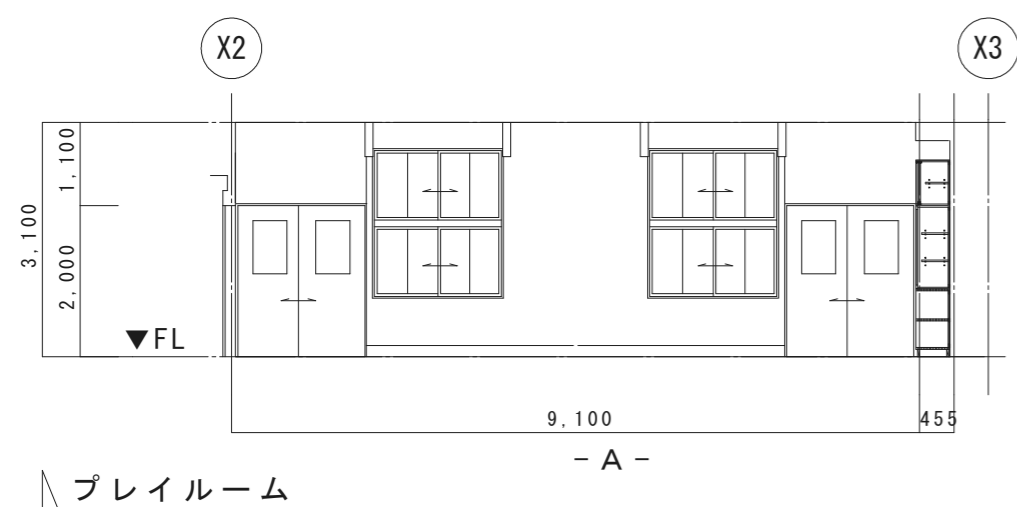
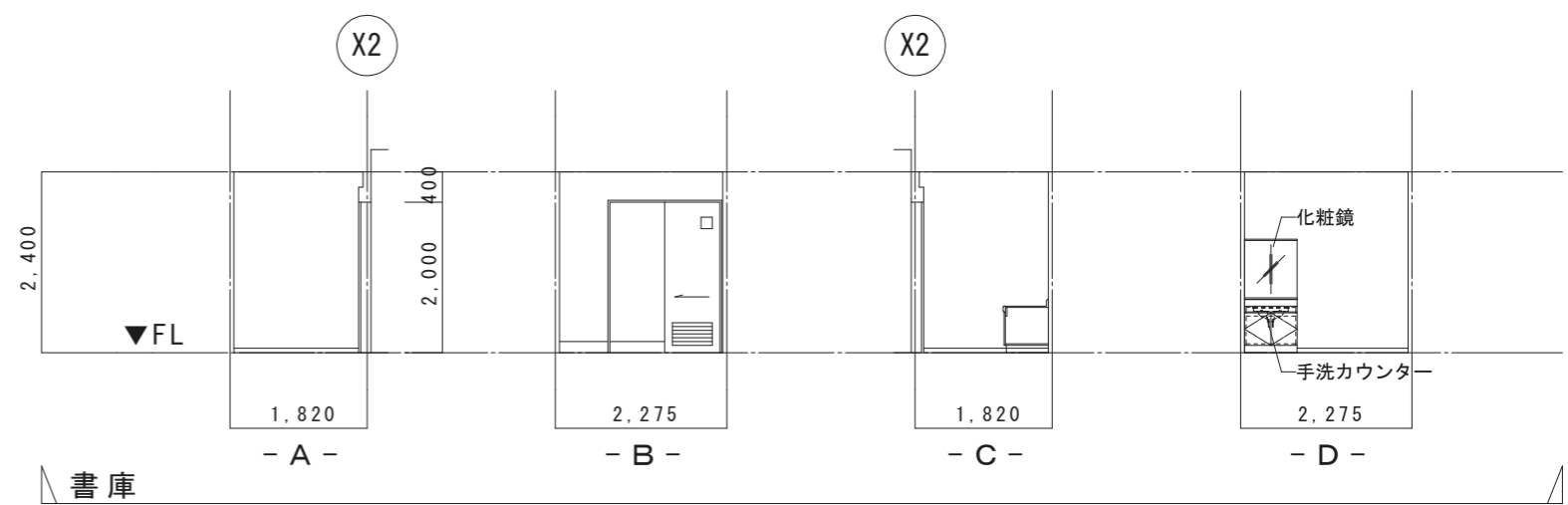
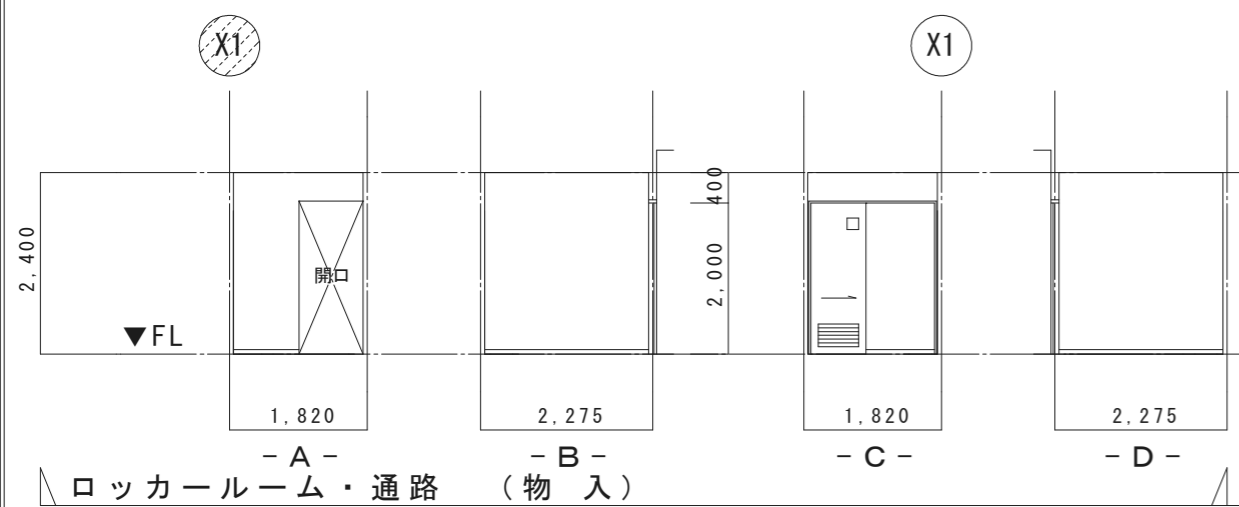
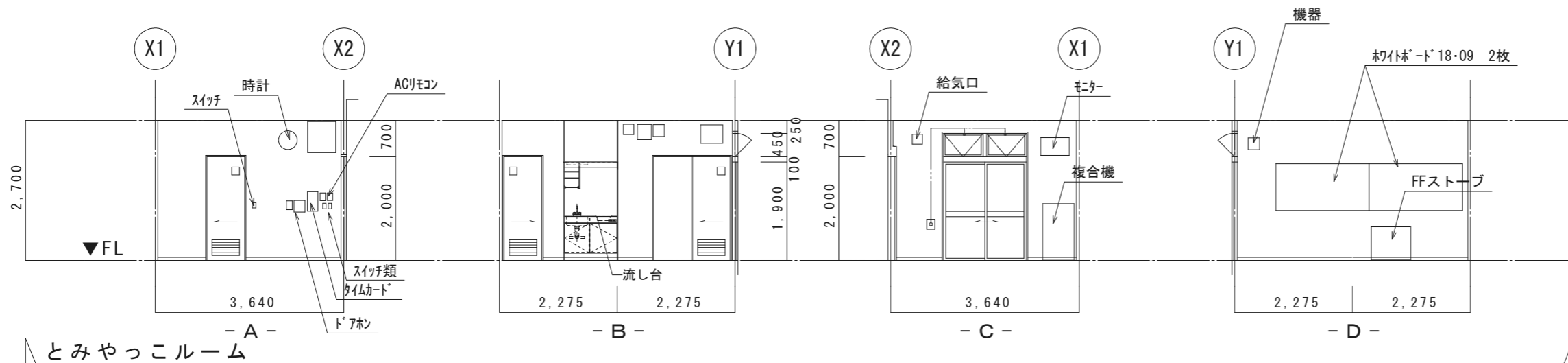
既存妻壁：小屋組トラス詳細図 S=1/50



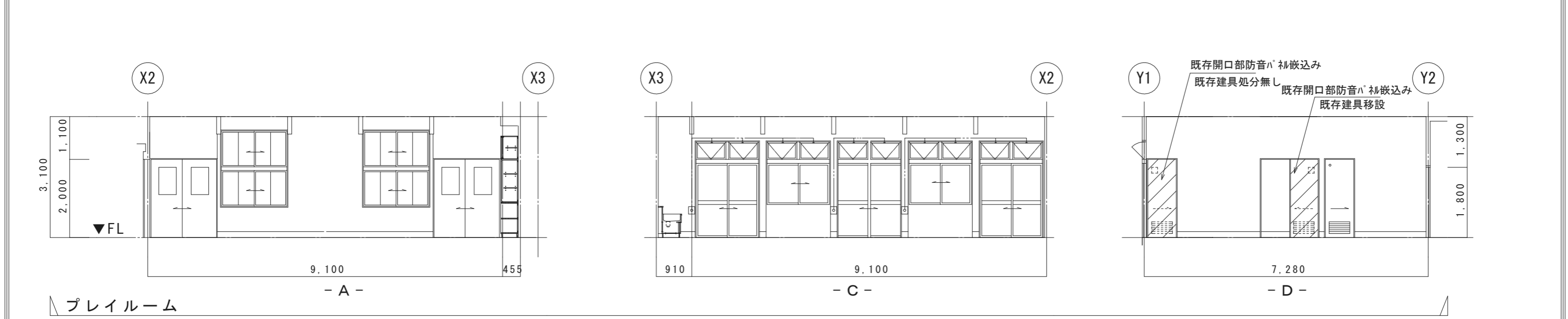
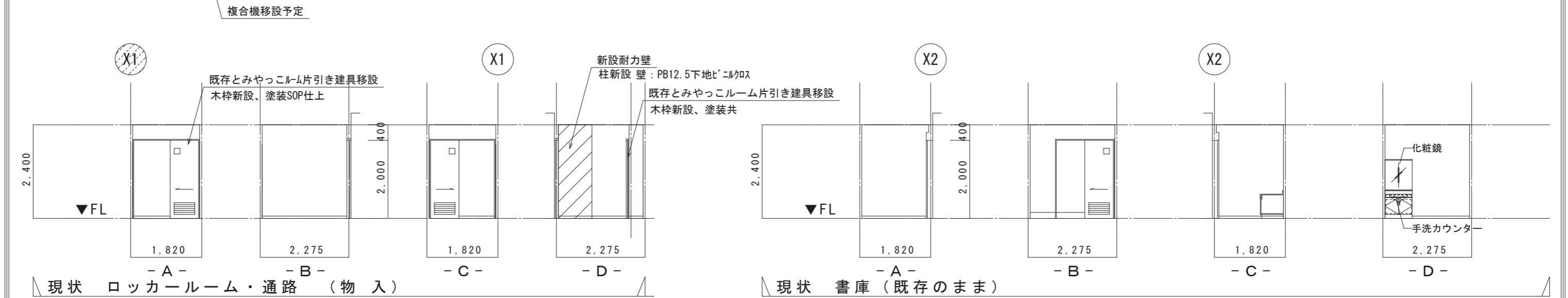
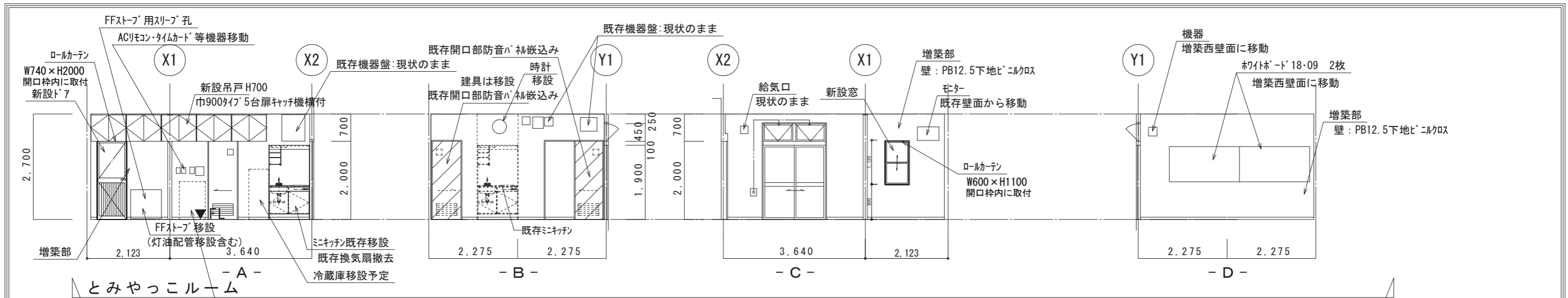
増築部 矩計図 S=1/50



工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名	増築部 矩計図	図面No. A-25
		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付		
備考							



工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名	既存 展開図	図面No. A-26
		日付	日付	日付	縮尺 1/100		
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ						



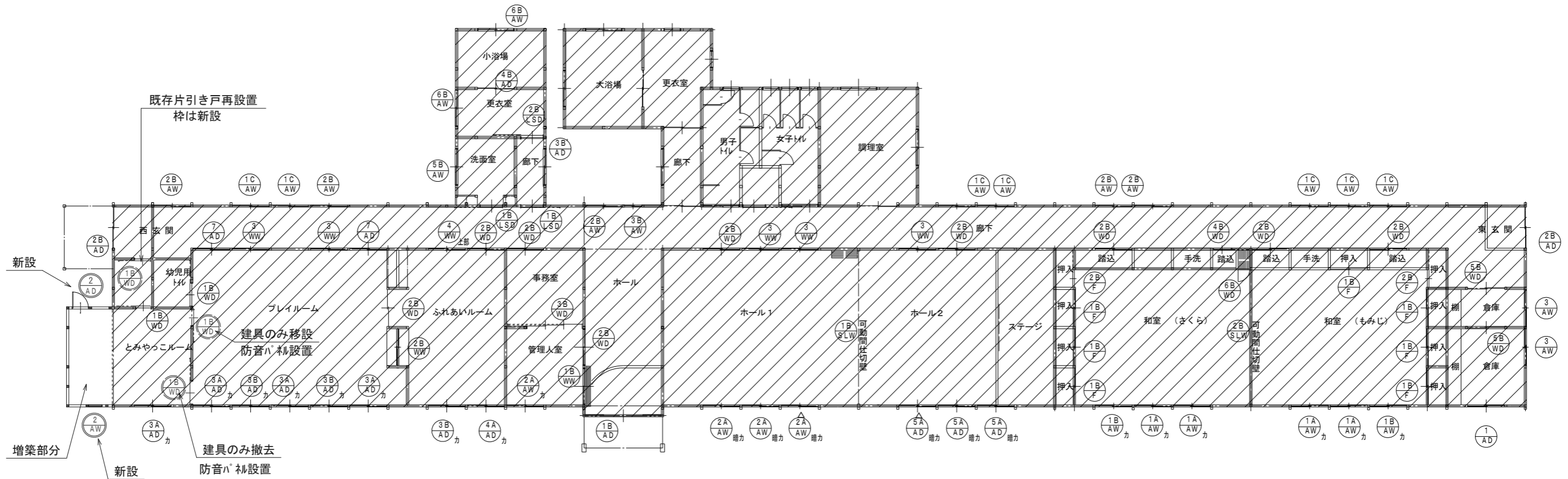
※工事期間に関して
 工事期間：当施設夏休み期間（7/20～8/21）中の工事として既存2F及び増築部壁解体、増築部仮設間仕切設置、とみやっこルームプレイルーム間壁塞ぎ、ミニキッチン移設を行い、とみやっこルームの業務に支障の無い様にする事。

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 増築部 展開図	図面No. A-27
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

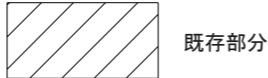
符号・名称・数量	(1A/AW) 引違い窓ランマ付き 4	(1B/AW) 引違い窓ランマ付き 2	(1C/AW) 引違い窓ランマ付き 7	(2A/AW) 引違い窓ランマ付き 4	(3A/AW) ランマ付引違い戸 4	(3B/AW) 引違い窓ランマ付き 3	(4A/AW) ランマ付引違い戸 1	(5A/AW) ランマ付引違い戸 3	(1B/AD) 引き分け戸 1	(2B/AD) 引違い戸ランマ付き 2
※図										
仕上・見込	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70
ガラス	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4
金物	附属金物一式 オペレーター	附属金物一式 オペレーター	附属金物一式 オペレーター	附属金物一式 オペレーター	附属金物一式 オペレーター	附属金物一式 オペレーター	附属金物一式 オペレーター	附属金物一式 オペレーター	附属金物一式	附属金物一式
備考										()内寸法は、東玄関を示す。
符号・名称・数量	(2B/AW) 引違い窓 5	(3B/AW) 引違い窓 1	(5B/AW) 外側し窓 1	(6B/AW) 引き違い窓 2	(3B/AD) 引き違い戸 1	(4B/AD) 引き違い戸 1		(1B/LSB) 木製既製ハンガードア 2	(2B/LSB) 木製既製ハンガードア 1	
※図										
仕上・見込	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70	アルミ製 シルバー 70		扉：塩ビシート	扉：塩ビシート	
ガラス	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	型板強化硝子 ア4	強化硝子 ア4	型板強化硝子 ア4		アクリル板 (かすみ)	アクリル板 (かすみ)	
金物	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式		半自動閉鎖装置 附属金物一式	半自動閉鎖装置 附属金物一式	
備考			手動開放装置 (FL+1500以内)	外枠位置 (FL+1500以内)	外枠位置 (FL+1500以内)					
符号・名称・数量	(1B/WD) 片引きフラッシュ戸 4	(2B/WD) 引き違いフラッシュ戸 9	(3B/WD) 3枚引き込みフラッシュ戸 1	(4B/WD) 片引きフラッシュ戸 1	(5B/WD) 引き違いフラッシュ戸 2	(6B/WD) 片開きフラッシュ戸 1	(1B/WW) 引き違い窓 1	(2B/WW) 引き違い窓 1	(1B/F) 引き違い機 7	(2B/F) 片引き機 2
※図										
仕上・見込	シナ合板 SOP 扉：40	シナ合板 SOP 扉：40	シナ合板 SOP 扉：40	シナ合板 SOP 扉：40	シナ合板 SOP 扉：40	シナ合板 ビニ-材貼り 扉：40	木製 CL 扉：40	木製 SOP 扉：40	襖紙 扉：33	襖紙 扉：33
ガラス	型板硝子ア4	アクリル板 t2		アクリル板 t2			強化硝子 ア4	強化硝子 ア4		
金物	フットレール、附属金物一式	フットレール、附属金物一式	フットレール、附属金物一式	フットレール、附属金物一式	フットレール、附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式	附属金物一式
備考										
符号・名称・数量	(1B/SLW) 可動開仕切壁 1	(2B/SLW) 可動開仕切壁 1				(1/AD) ランマ付引違い戸 1	(2/AD) 引き違いフラッシュ戸 2	(3/AD) 引違い窓 2		
※図										
仕上・見込	シナ合板の上ビニルクロス貼り 扉：62	シナ合板の上ビニルクロス貼り 扉：62				アルミ製 シルバー 70	シナ合板 SOP 扉：40	アルミ製 シルバー 70		
ガラス						型板強化硝子 ア4	アクリル板 t2	型強化硝子 ア4		
金物	ハンドル落とし込み式 附属金物一式	ハンドル落とし込み式 附属金物一式				附属金物一式	フットレール、附属金物一式	附属金物一式、オペレーター		
備考										

凡例 (GO) : 既設建具

工事名	令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名	既存 建具表	図面No.	A-28
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ		日付	日付	日付	縮尺	1/100		



キープラン



既存部分

- 凡例
- : 既設建具 (工事対象外)
 - : 既設改修建具
 - : 新設建具
 - : カーテン既設
 - : 暗幕カーテン既設
 - : 暗幕カーテン既設

増築 建具表 S=1/100

符号・名称・数量	7mm樹脂複合サッシ ^ア 新設:1	7mm樹脂複合サッシ ^ア 新設:1
姿図	片開きド7(半外) 	上げ下げ窓(半外)
仕上・見込	7mm樹脂製ホワイト 70	7mm樹脂製ホワイト 70
ガラス	FL3+A12+FL3	FL3+A12+FL3
金物	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸
備考	腰ハル	

符号・名称・数量	片引きフラッシュ戸 移設:1
姿図	あかり窓 150
仕上・見込	既存シナ合板 SOP 扉:40
ガラス	型板硝子 ^ア 4
金物	新設フットレール、附属金物一式
備考	三方枠及びレールは新設

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

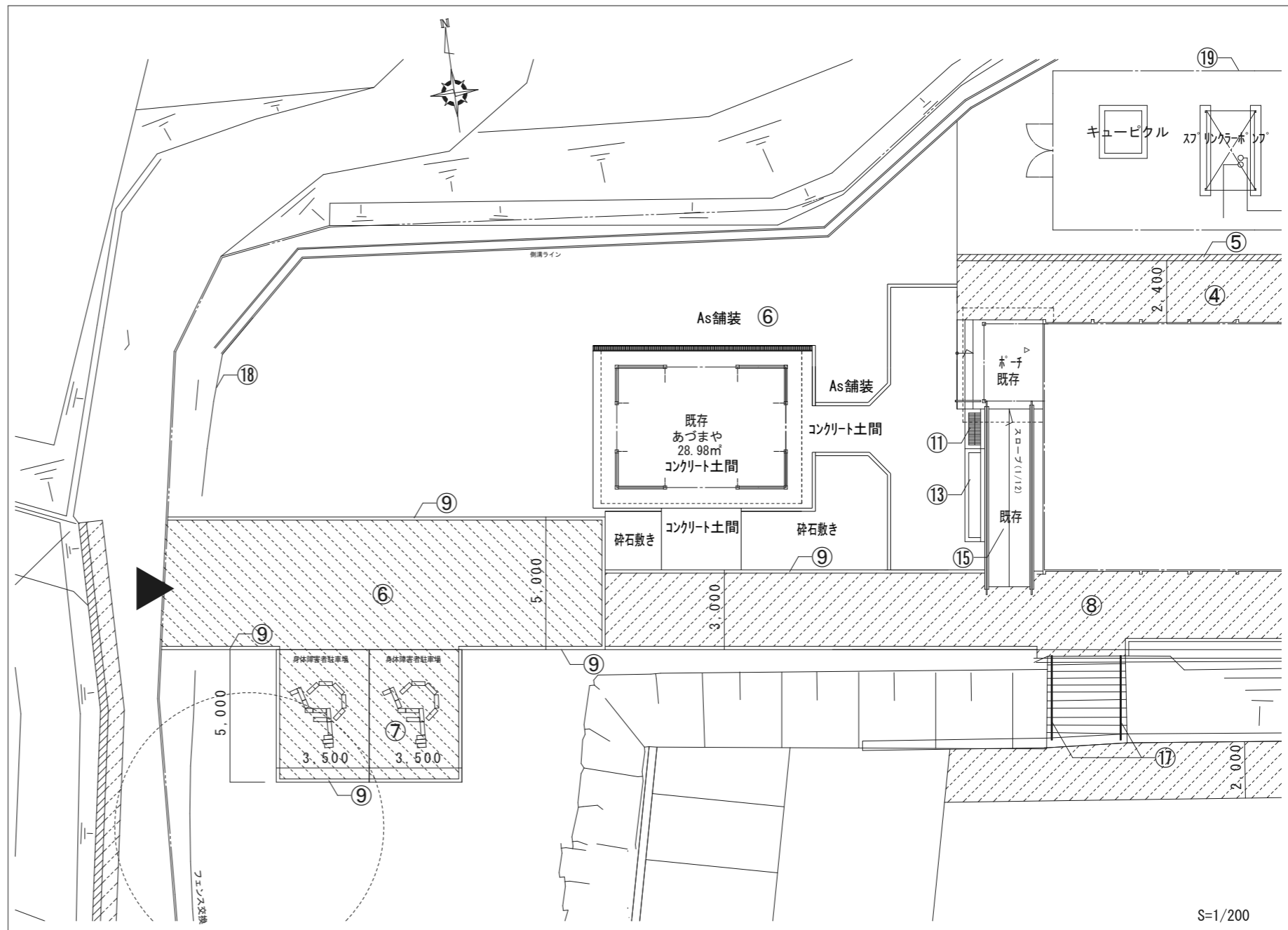
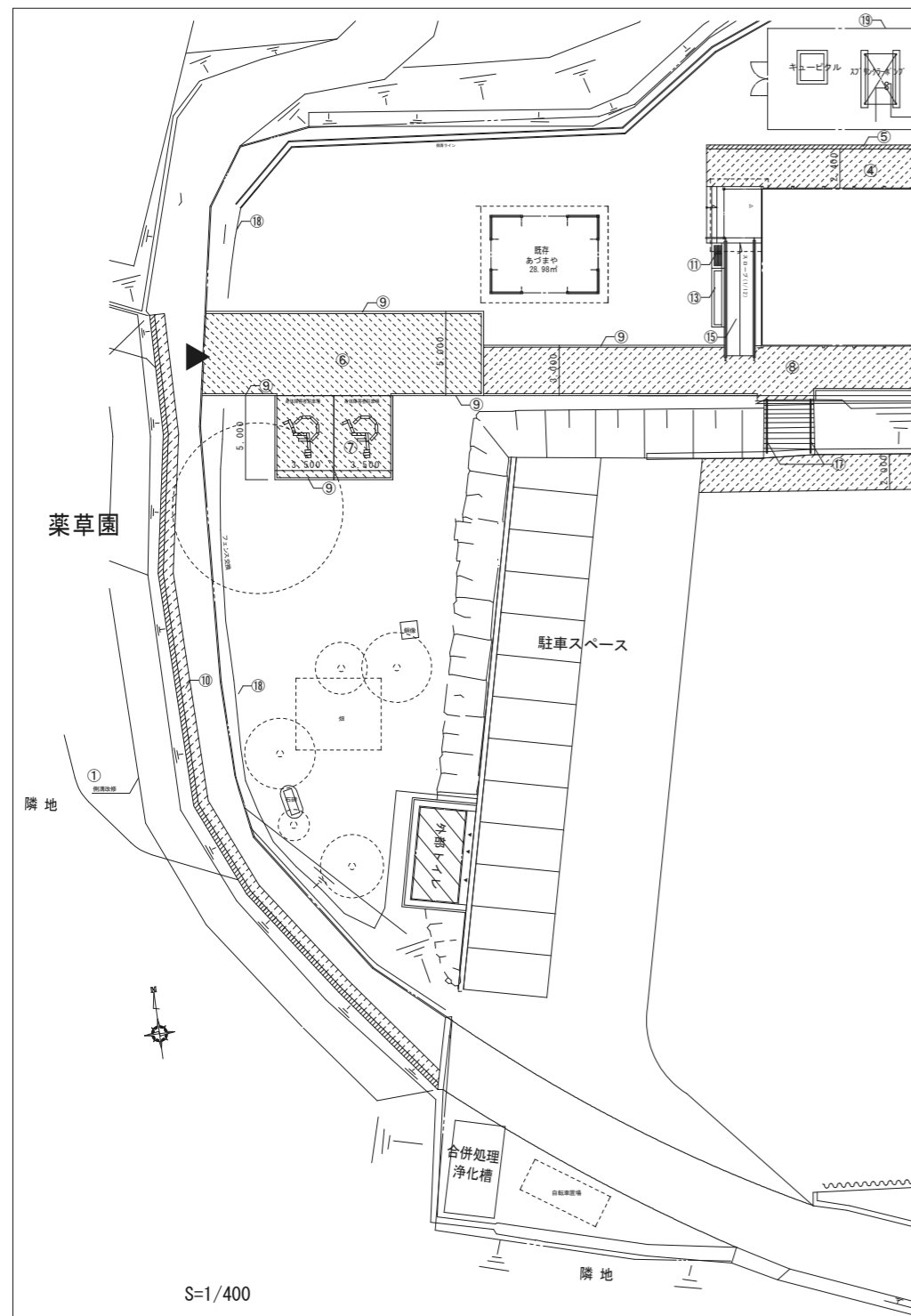
(株)池下建築設計

管理者 設計者 担当者 図面名 増築・既存 建具表、建具キープラン 図面No. A-29

備考

宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

日付 日付 日付 縮尺 1/200, 1/100



外構リスト (参考: 既存仕様を示す)

符合	整備内容	符合	整備内容
④	犬走り: コンクリート金ゴテ (7) 120	⑬	水飲み場 (W=3500)
⑤	L型擁壁	⑮	スロープ
⑥	透水性アスファルト舗装	⑰	手摺 (ステンレス製)
⑦	ライン引き (車椅子利用者用)	⑱	ネットフェンスH=1200
⑧	天然石舗装	⑲	ネットフェンスH=1800 門扉共
⑨	縁石	⑳	アスファルト舗装
⑪	足洗い場 (W=1500)		

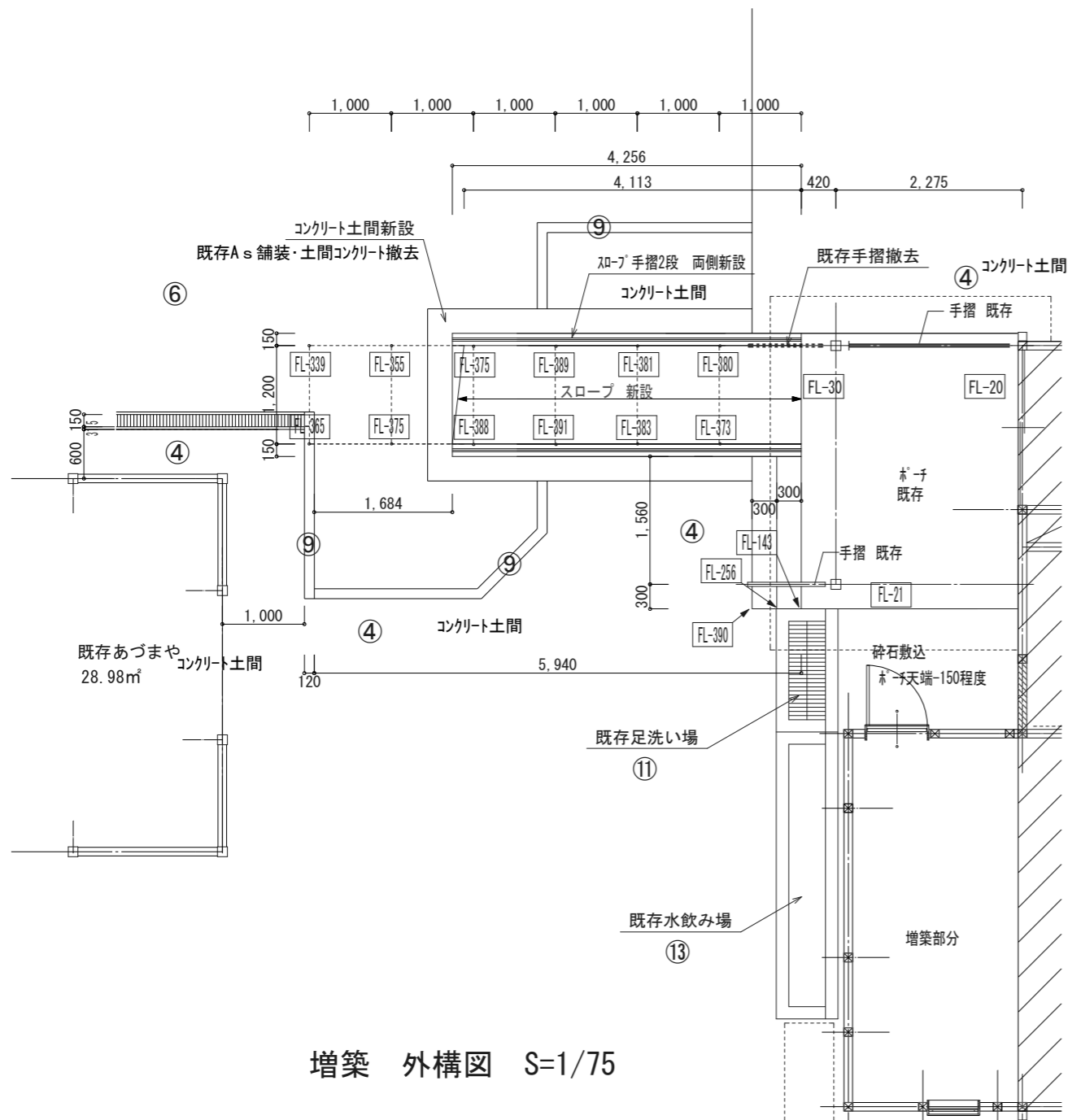
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事
 備考

(株)池下建築設計
 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

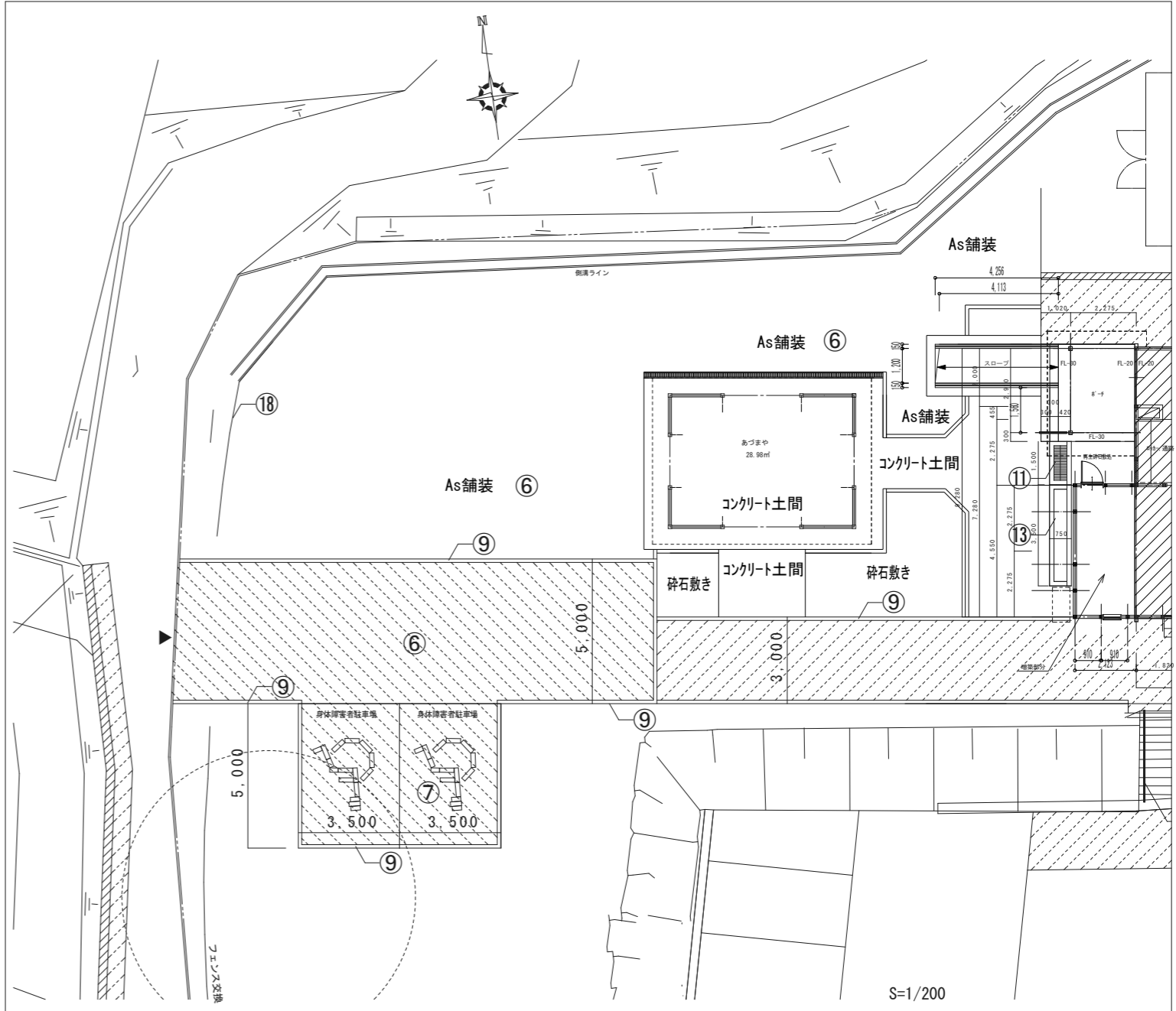
管理者 設計者 担当者
 日付 日付 日付

図面名 既存 外構配置図
 縮尺 1/400, 1/200

図面 No. A-30



増築 外構図 S=1/75



増築 外構図 S=1/200

外構リスト (参考: 既存仕様を示す)			
符合	整備内容	符合	整備内容
④	犬走り: コンクリート金ゴテ(7)120	⑬	水飲み場(W=3500)
⑤	L型擁壁	⑮	スロープ
⑥	透水性アスファルト舗装	⑰	手摺(ステンレス製)
⑦	ライン引き(車椅子利用者用)	⑱	ネットフェンスH=1200
⑧	天然石舗装	⑲	ネットフェンスH=1800 門扉共
⑨	縁石	⑳	アスファルト舗装
⑪	足洗い場(W=1500)		

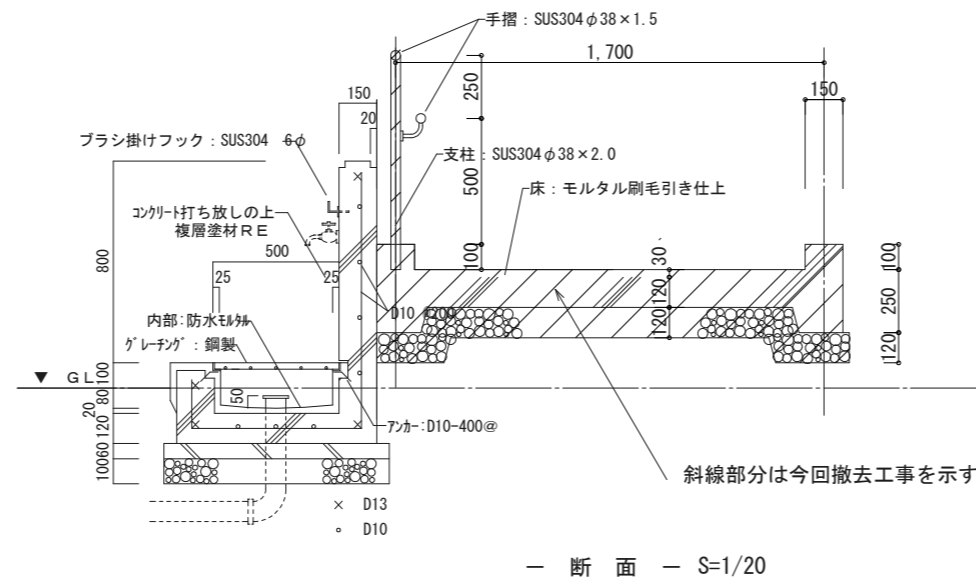
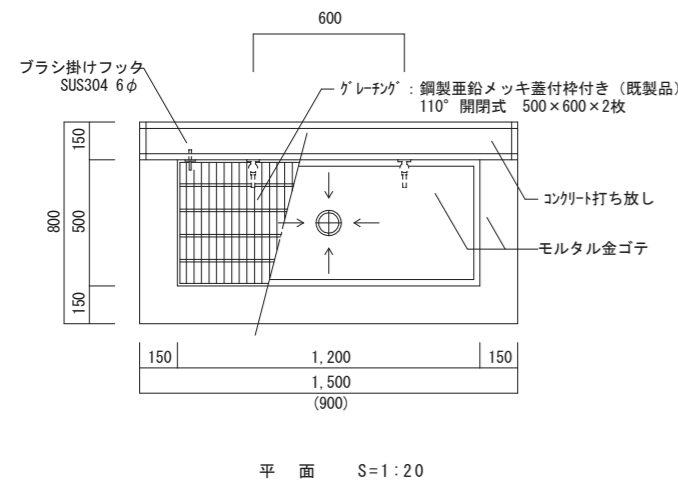
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事
 備考

(株)池下建築設計
 宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

管理者 設計者 担当者 図面名 増築 外構図 図面No. A-31
 日付 日付 日付 縮尺 1/200

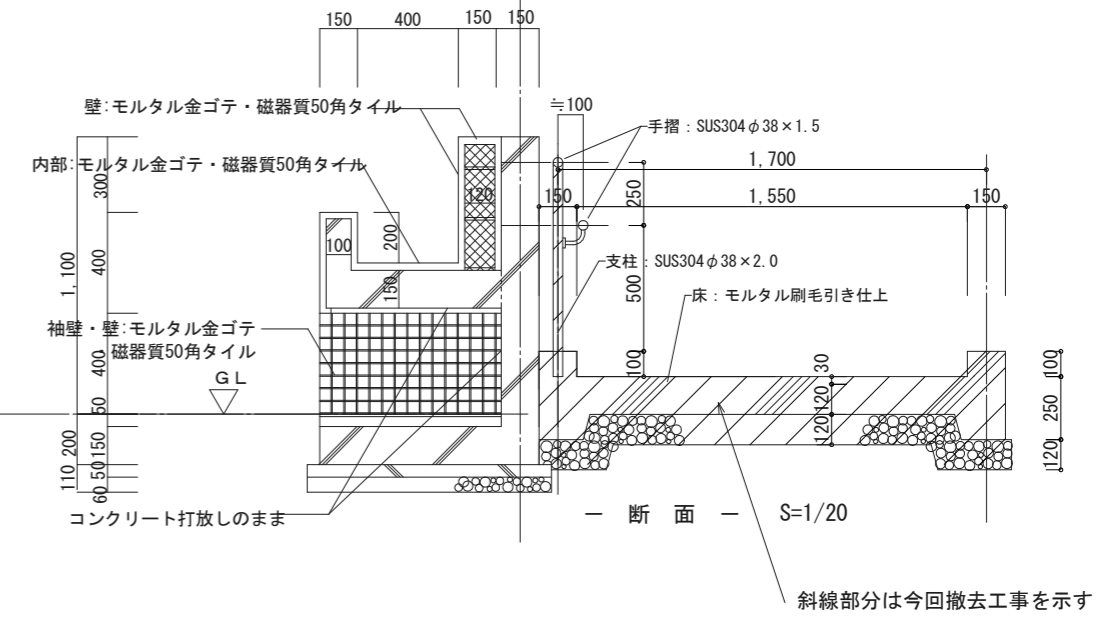
⑪ ⑫ 足洗い場詳細図

S=1/20



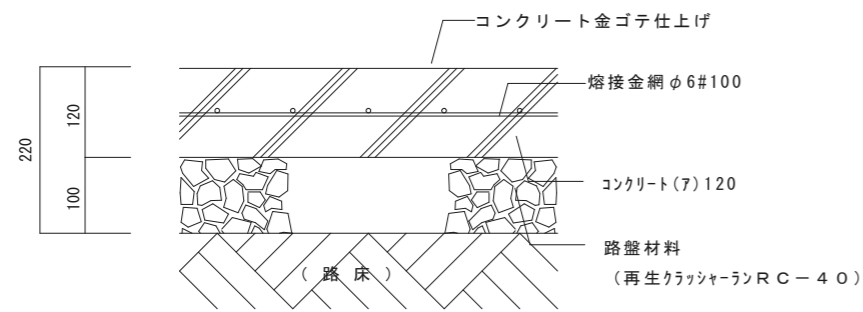
⑬ ⑭ 水飲み場詳細図

S=1/20



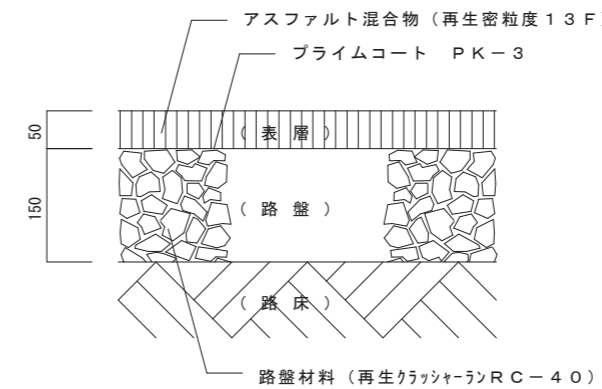
④ コンクリート舗装詳細図

S=1/10



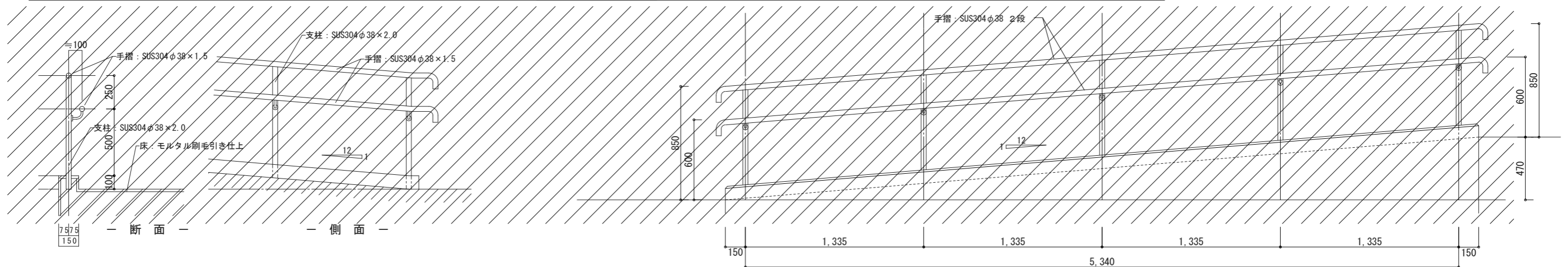
⑳ アスファルト舗装詳細図

S=1/10

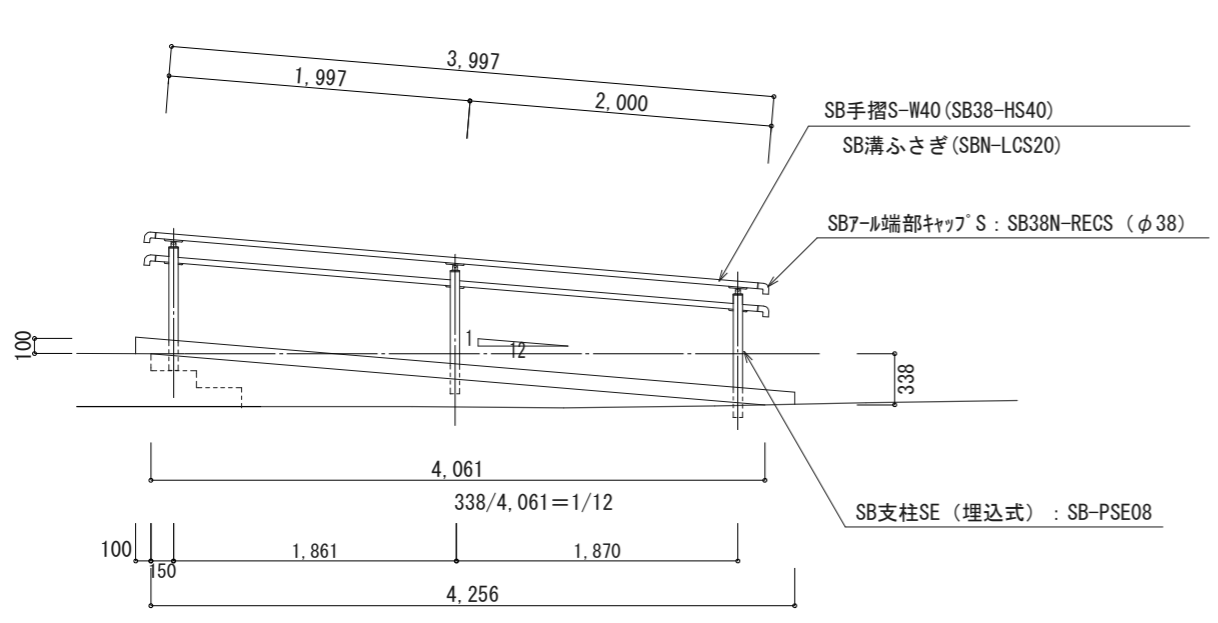


⑮ スロープ詳細図 : 斜線部分は、今回撤去工事

S=1/20

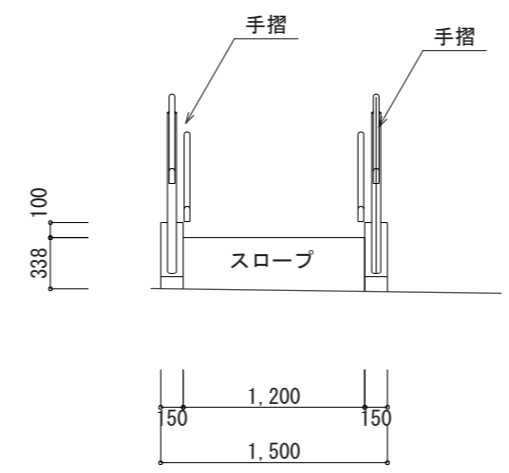


工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 既存 外構詳細図	図面No. A-32
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/30	

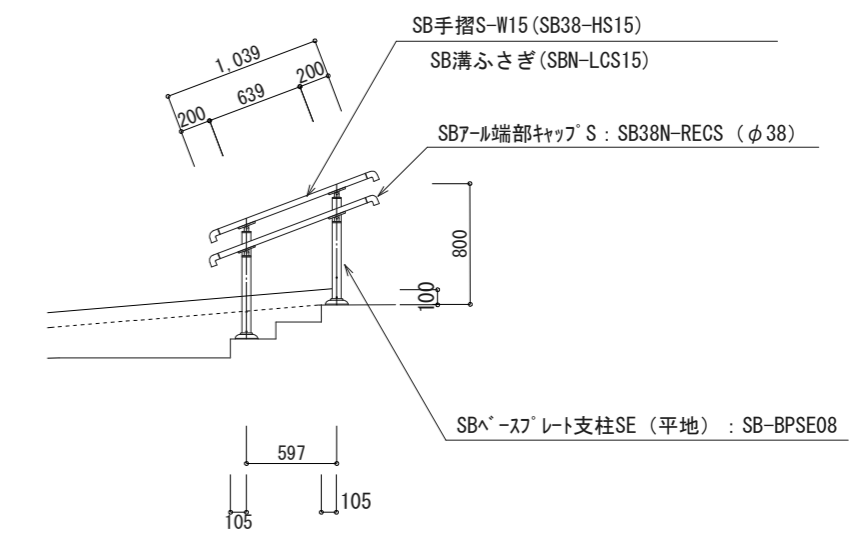


スロープ手摺 側面図 S:1/50
両側設置

四国化成 ステンレスタイプ SB型φ38標準仕様・手摺2段 同等品
手すりセイフティビーム (景観用)



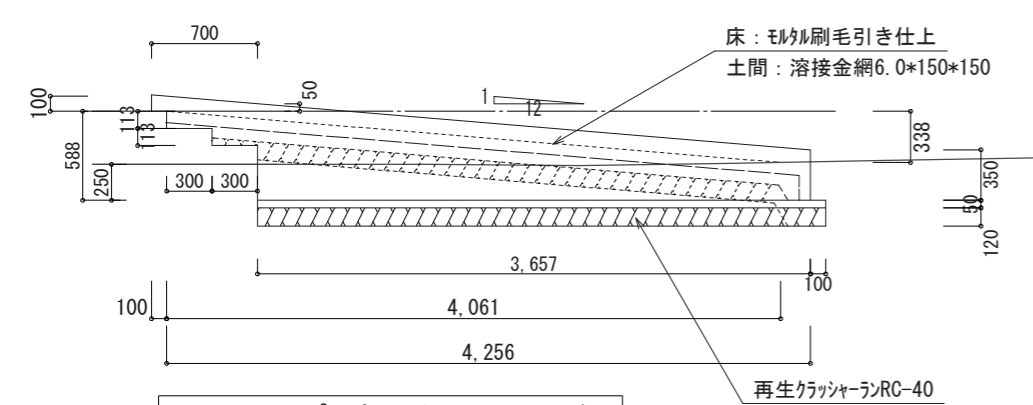
スロープ手摺 正面図 S:1/50



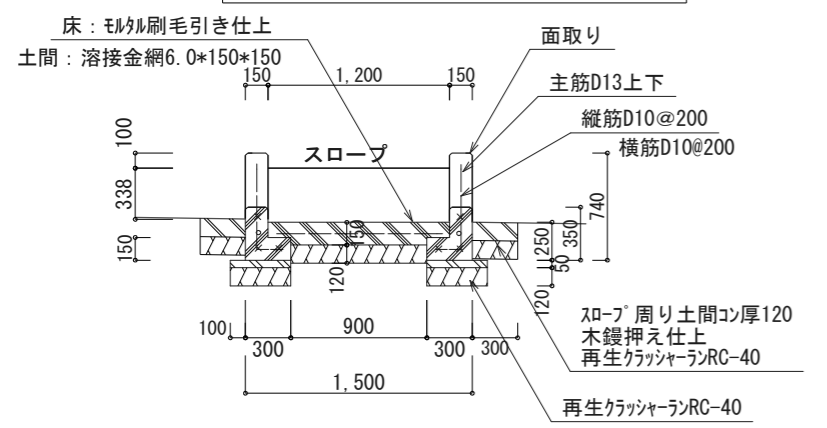
玄関ポーチ手摺 側面図 S:1/50

片側設置 (片側既存利用)

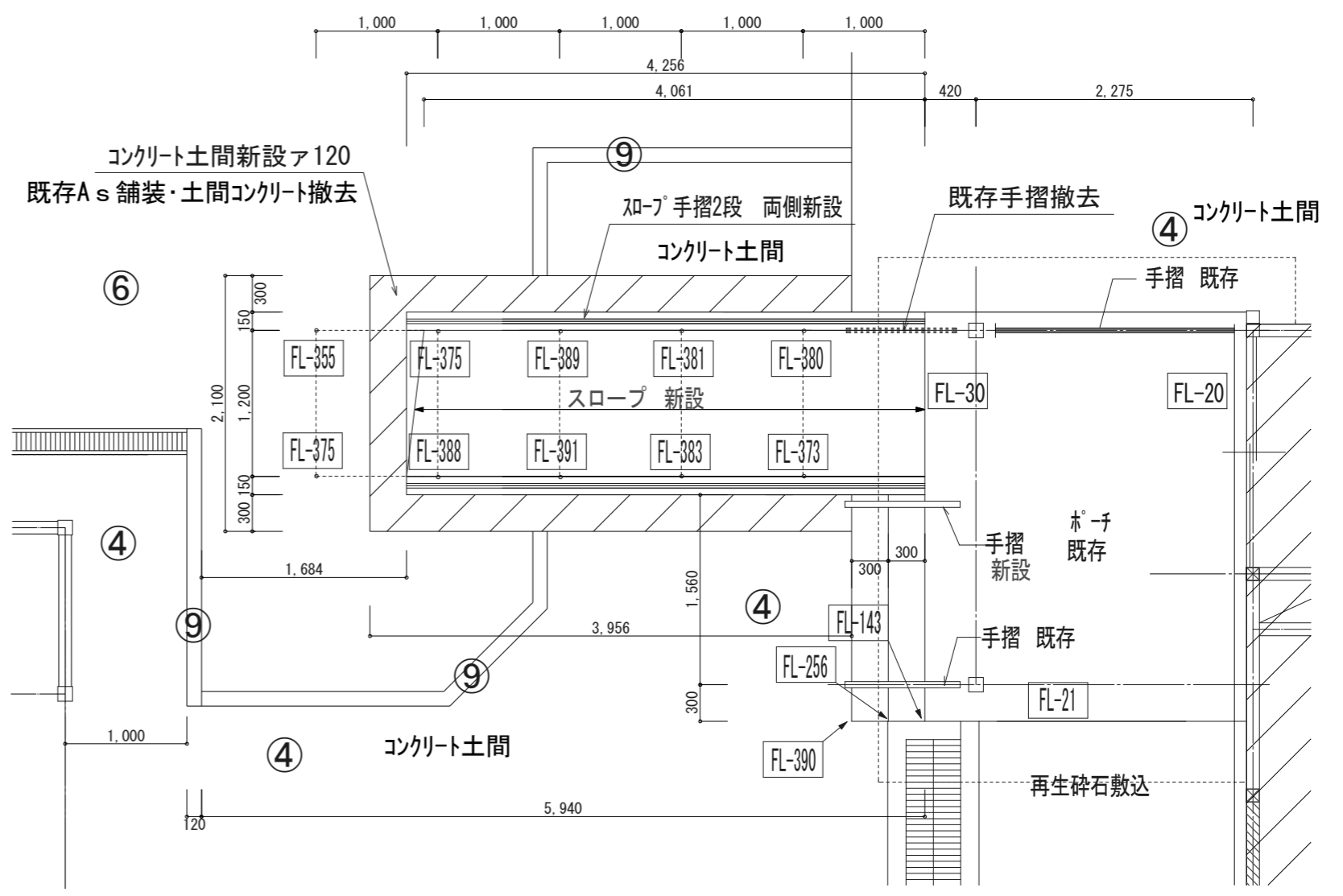
四国化成 ステンレスタイプ SB型φ38標準仕様・手摺2段 同等品
手すりセイフティビーム (景観用)



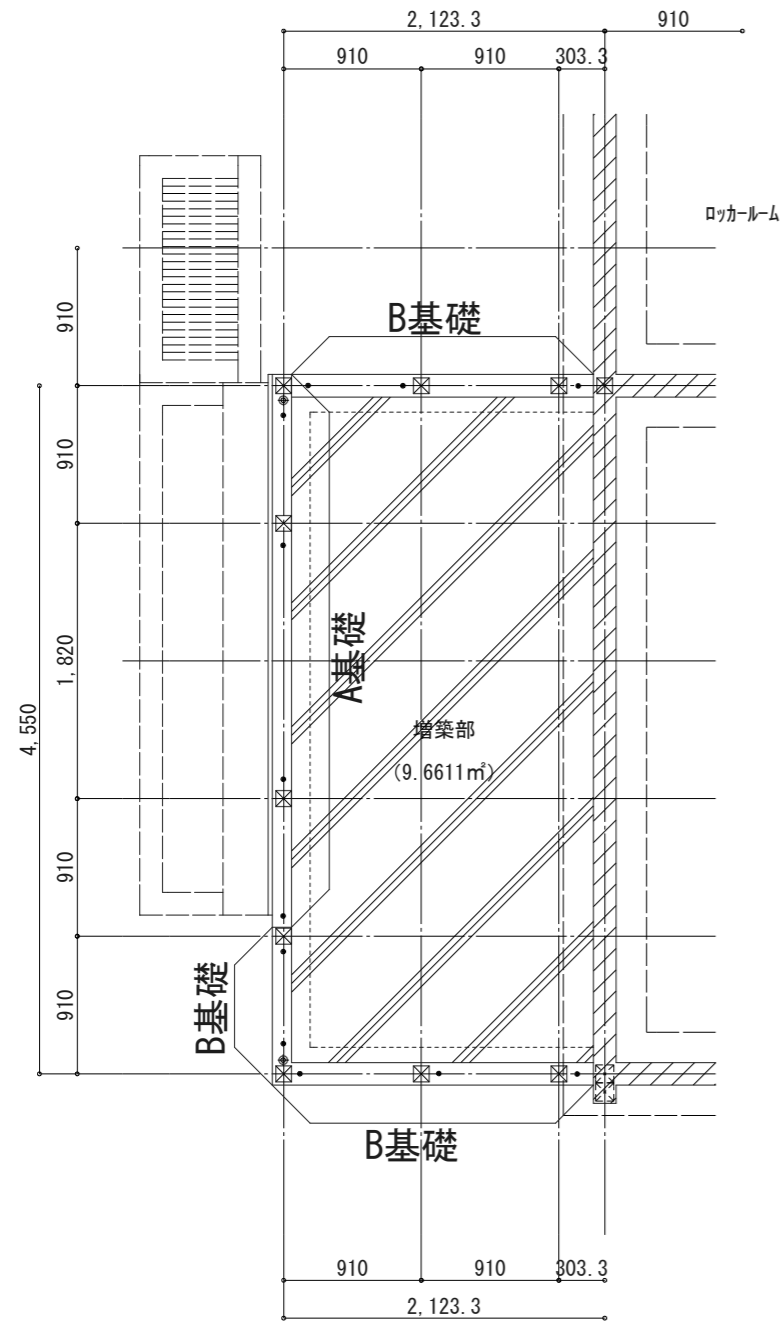
スロープ手摺 側面図 S:1/50



スロープ 詳細図 S:1/50



工事名	令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名	増築 外構詳細図	図面No.	A-33
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺	1/50		



1階 平面図 S:1/50

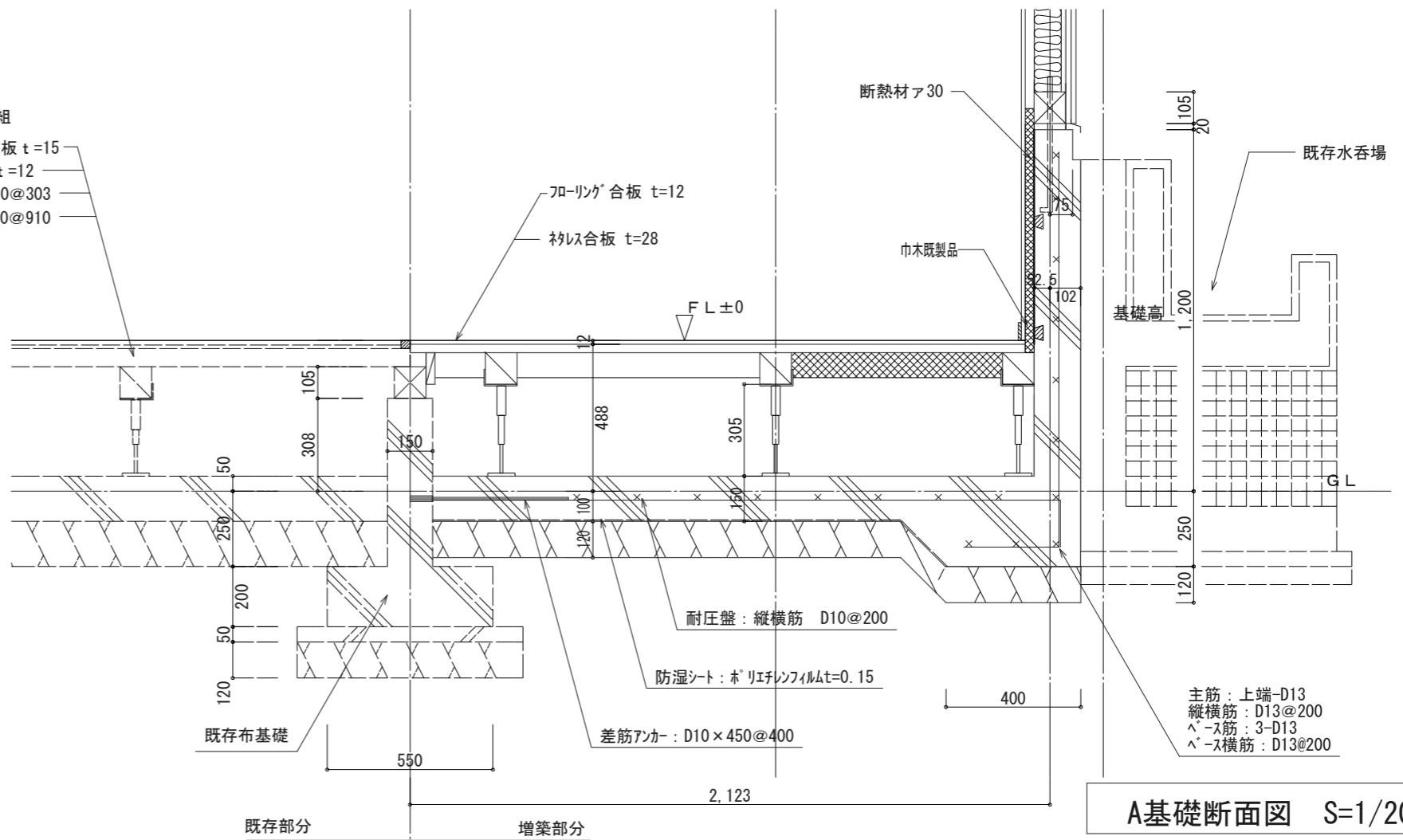
- * ホールダウン アンカー M16 L=700以上 柱面より35mm離れ、埋め込み長=360以上
- アンカーボルトM12 L=400 Zマーク 柱芯より200以内設置、埋め込み長=240以上

特記仕様

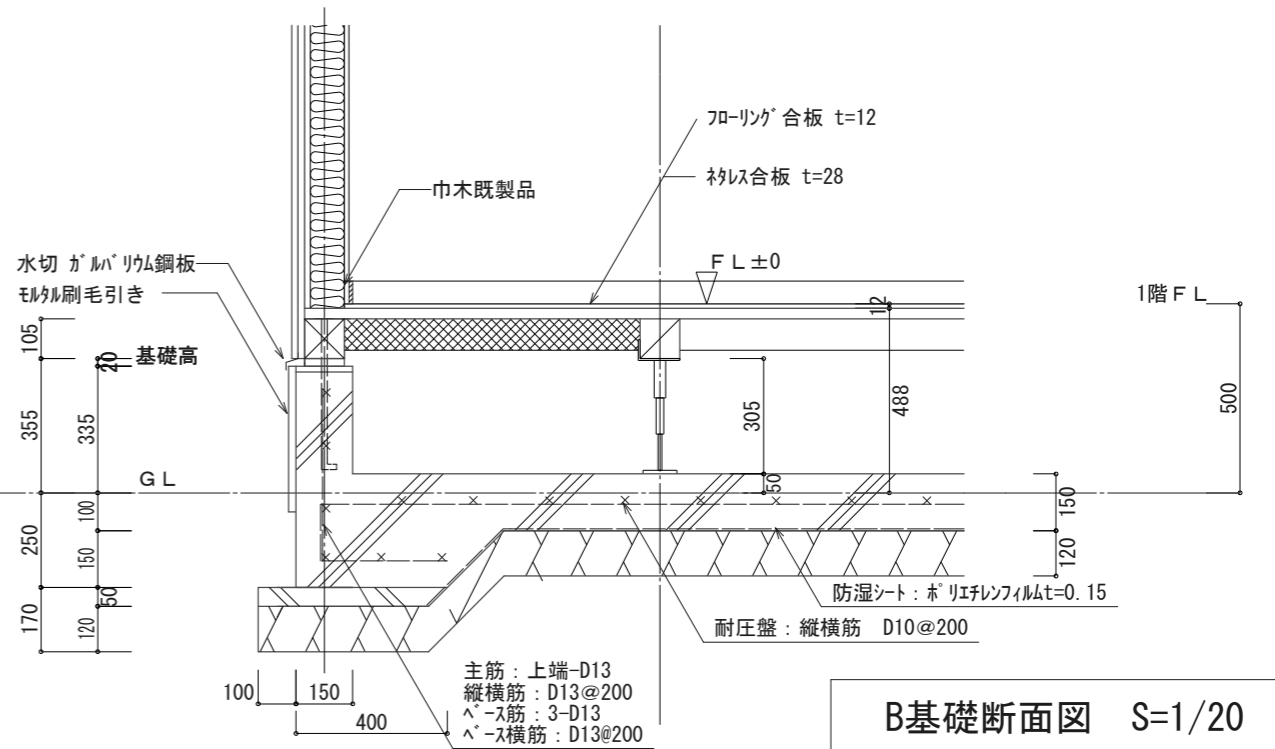
床下は、ポリシート(ア)0.1以上 重ね合せ250
 床レベルは地盤面を基準とする
 床下換気は基礎パッキン20使用
 コンクリート強度: $F_c = 21N/mm^2$
 鉄筋: SD295A

既存床組

- 70-リング 合板 t=15
- 下地合板 t=12
- 根太45×60@303
- 大引90×90@910

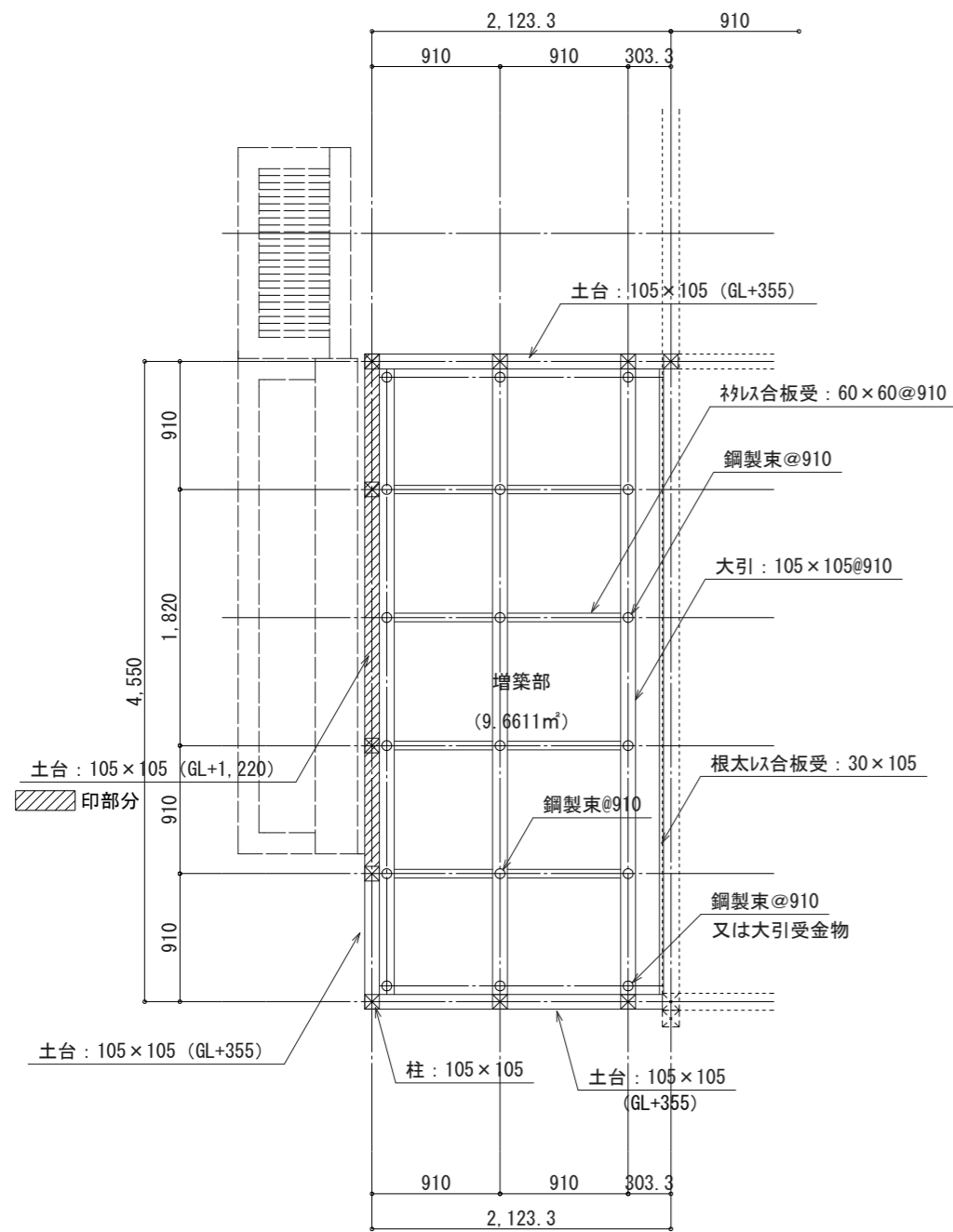


A基礎断面図 S=1/20

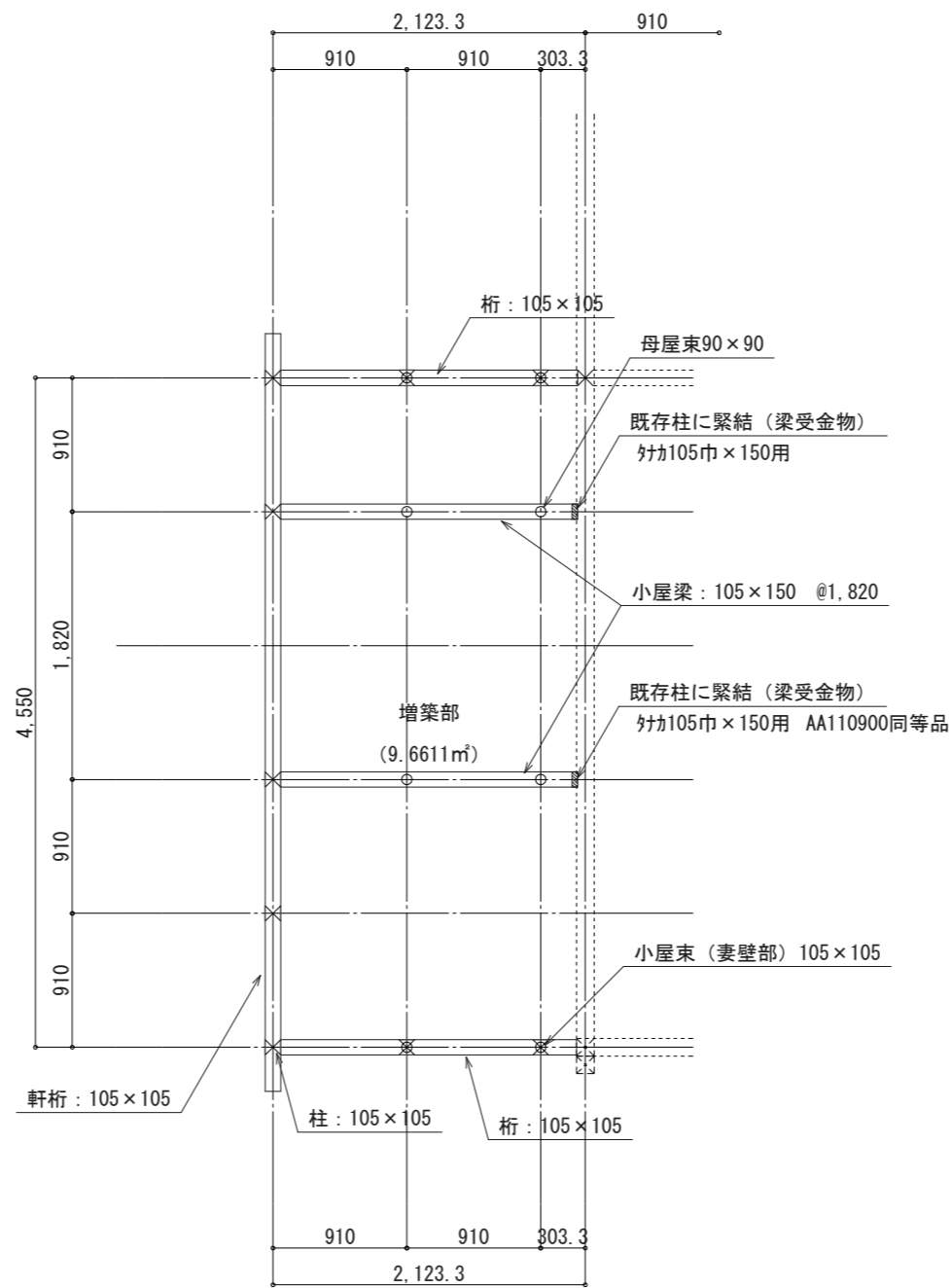


B基礎断面図 S=1/20

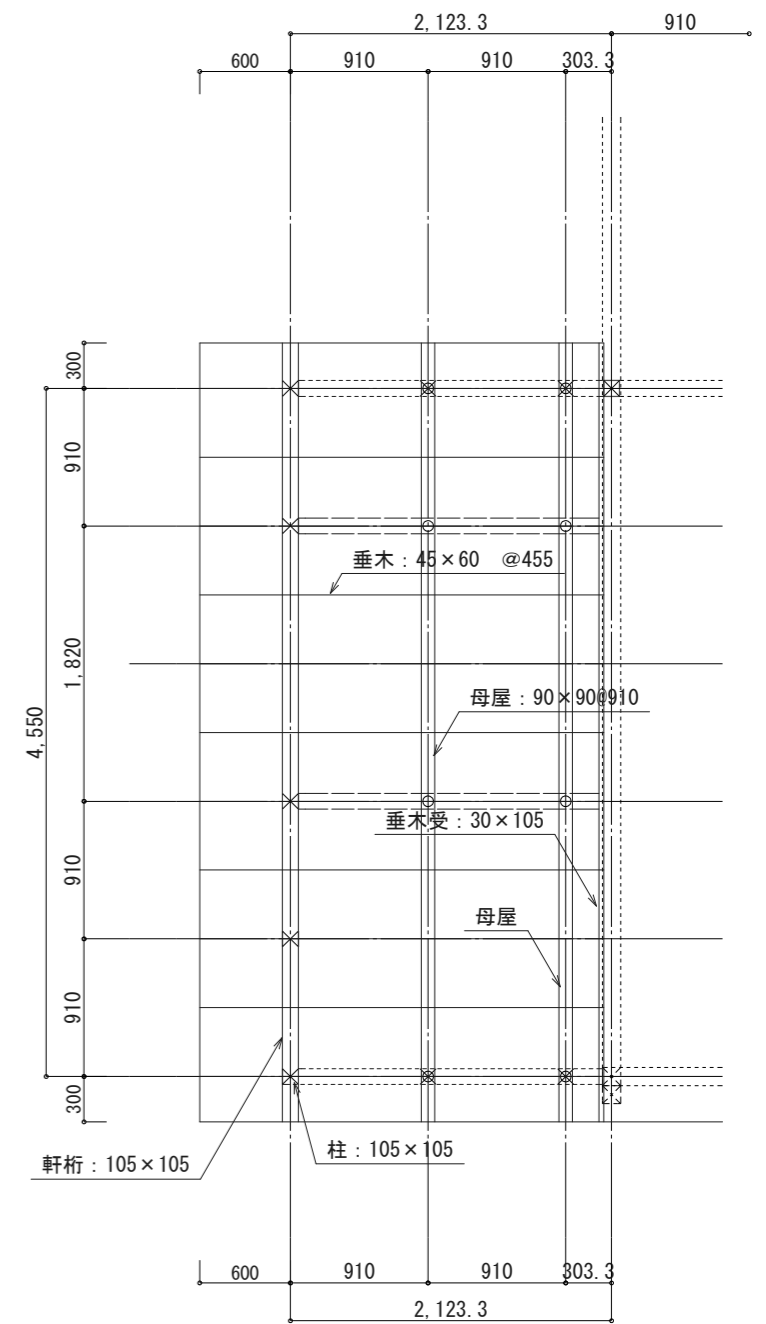
工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 増築 基礎伏せ図、基礎詳細図	図面No. A-34
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/50, 1/20	



1階 床伏図 S:1/50



1階 梁伏図 S:1/50



1階 小屋伏図 S:1/50

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

(株)池下建築設計

管理者

設計者

担当者

図面名

増築 床伏図、梁伏せ図、小屋伏図

図面No.

A-35

備考

宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3

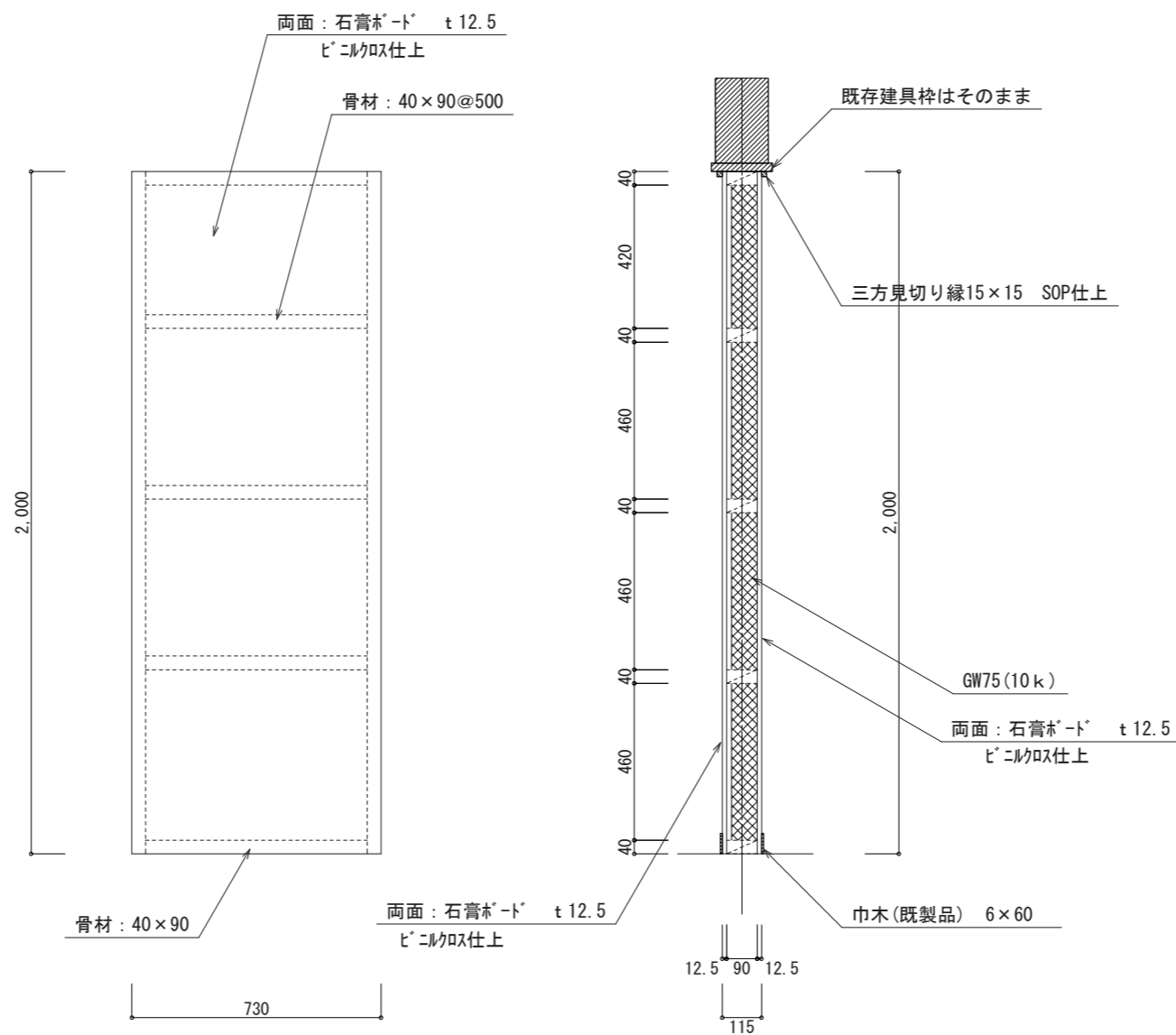
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

日付

日付

日付

縮尺 1/50



工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

(株)池下建築設計

管理者

設計者

担当者

図面名

防音パネル 詳細図

図面No.

A-36

備考

宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

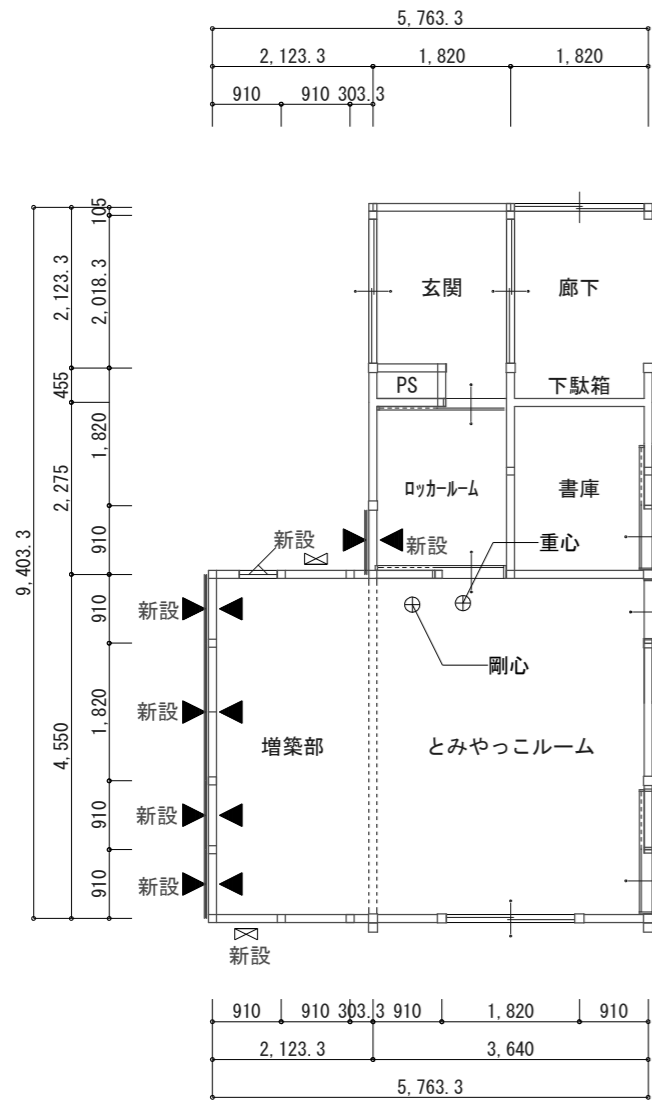
日付

日付

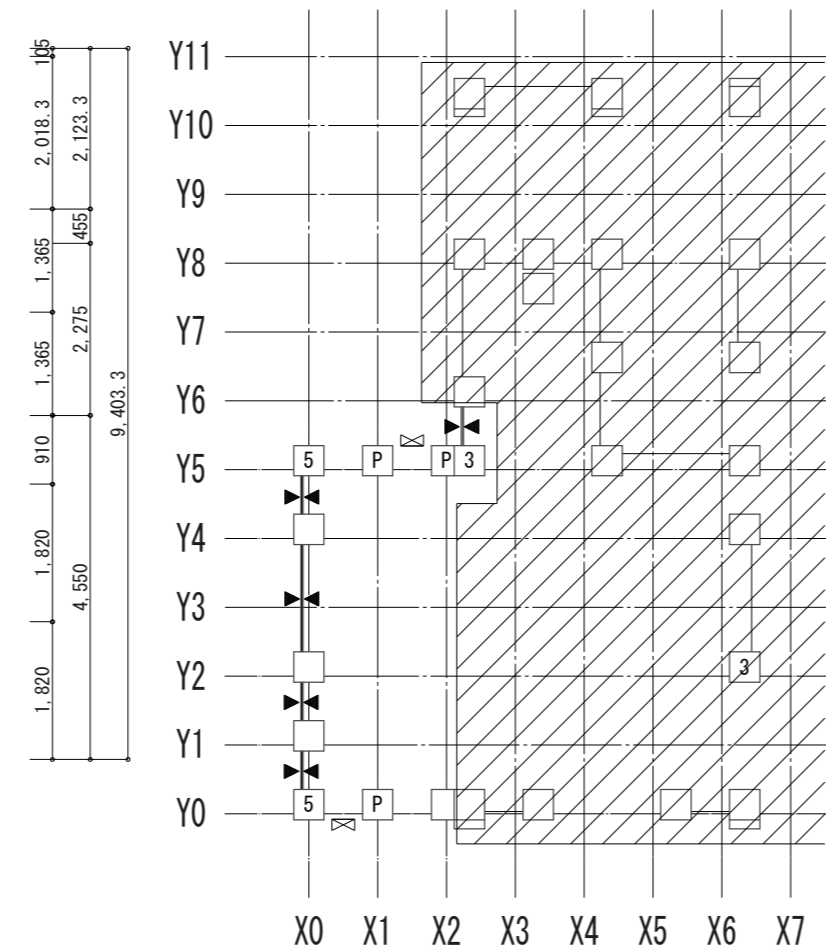
日付

縮尺

1/20



1階平面図



1階柱壁伏図

既存部分を表す
本工事に含まず

床面積(地震力)に係る条件	
■	一般区域
□	特定行政庁が指定する軟弱地盤区域(一般区域の1.5倍)
□	特定行政庁が指定するその他の区域
□	壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)
■	屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)
□	準耐火構造の耐火性能確保(1.25倍)
□	割り増し倍率考慮
見付面積(風圧力)に係る条件	
□	特定行政庁が定める強風区域
■	上記以外の区域

凡例			
記号	壁の構造(1) 壁の構造(2)	筋かいの構造	倍率
W2	☒	木材45×90たすき掛	4.00
W5	→	大壁 構造用合板 厚9	2.50
		木材 30×90以上 ダブル	3.00
			5.00

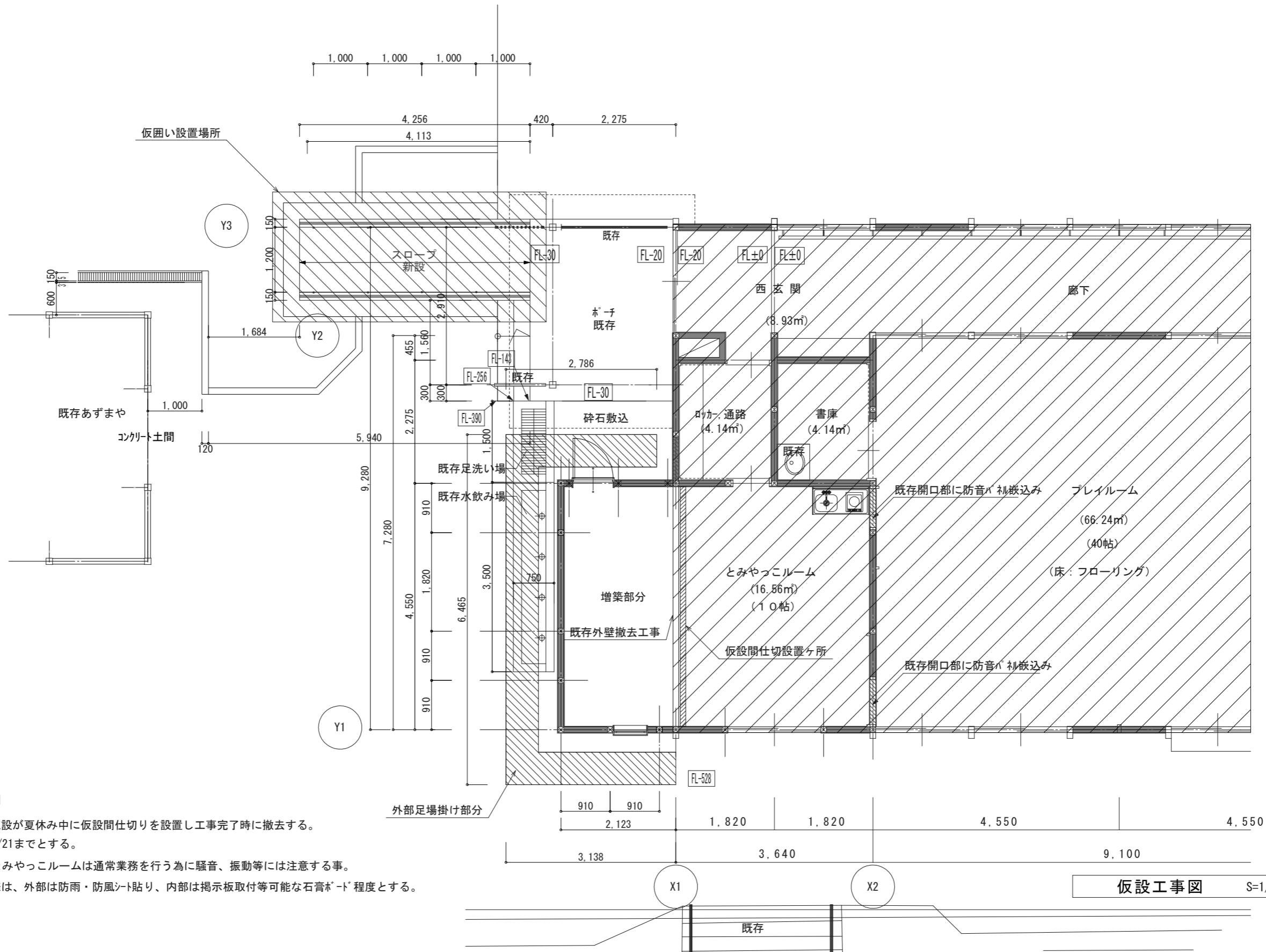
接合部凡例			
*接合部凡例はユーザ設定されたものです。			
記号	仕様	N	倍率
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち	0.00	
(ろ)	N 長ほぞ差し込み栓打ち		0.70
(ろ)	L L字型金物	0.65	0.70
(は)	V V字型金物	1.00	1.00
(は)	T T字型金物		1.00
(に)	P 羽子板ボルト	1.40	1.40
(に)	I 短冊金物		1.40
(ほ)	Ps 羽子板ボルト+スクリュー釘50	1.60	1.60
(ほ)	Is 短冊金物+スクリュー釘50		1.60
(へ)	2 10KN用引き寄せ金物	1.80	1.80
(と)	3 15KN用引き寄せ金物	2.80	2.80
(ち)	4 20KN用引き寄せ金物	3.70	3.70
(り)	5 25KN用引き寄せ金物	4.70	4.70
(ぬ)	32 15KN用引き寄せ金物×2	5.60	5.60
(る)	J1 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物		1.90
(を)	J2 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物×2		3.00

梁継手・仕口用
梁継手・仕口用

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
筋かいの種類	接合部の仕様(構造方法)	
イ 鉄筋φ9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90、8本平打ち	
ロ 筋かい:15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65、5本平打ち	
ハ 筋かい:30×90	鋼板添え板t=1.6mmを筋かいに対してボルトφ12及びCN65、3本平打ち、柱に対してCN65、3本平打ち、横架材に対してCN65、4本平打ち。筋かいプレートBP同等品	
ニ 筋かい:45×90	鋼板添え板t=2.3mmを筋かいに対してボルトφ12及びスクリュー釘φ4.5L50、7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘φ4.5L50、5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品	
ホ 筋かい:90×90	柱又は横架材にボルトφ12mmを用いて一面剪断接合	

胴差と通し柱の接合部の仕様		
胴差と通し柱の条件		仕口
T1	通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2	通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結

柱接合部判定表																
階	通し柱	柱位置		出隅柱		計算式				柱頭		柱脚		胴差と通し柱		
		X	Y	階数1又は階数2の2階	階数2の1階	X方向		Y方向		N	仕様	判定	仕様	判定	仕様	判定
1		2.3	0	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	0.00×0.8-0.4	-0.40	-0.40	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	0.1	○	—	4.00×0.8-0.4	2.80	5.50×0.8-0.4	4.00	4.00	5(り)	OK	5(り)	OK		
		1	0.1	×	—	4.00×0.5-0.6	1.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		2	0.1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		2.3	0.1	×	—	5.50×0.5-0.6	2.15	0.00×0.5-0.6	-0.60	2.15	3(と)	OK	3(と)	OK		
		0	1.1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	2.1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	4.1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		
		0	5.1	○	—	0.00×0.8-0.4	-0.40	5.50×0.8-0.4	4.00	4.00	5(り)	OK	5(り)	OK		
		1	5.1	×	—	4.00×0.5-0.6	1.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		2	5.1	×	—	4.00×0.5-0.6	1.40	0.00×0.5-0.6	-0.60	1.40	P(に)	OK	P(に)	OK		
		2.3	5.1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	5.50×0.5-0.6	2.15	2.15	3(と)	OK	3(と)	OK		
		2.3	6.1	×	—	0.00×0.5-0.6	-0.60	0.00×0.5-0.6	-0.60	-0.60	□(い)	OK	□(い)	OK		



※仮設間仕切り設置期間

本工事期間中の当施設が夏休み中に仮設間仕切りを設置し工事完了時に撤去する。

夏休みは7/20から8/21までとする。

夏休み期間後は、とみやっこルームは通常業務を行う為に騒音、振動等には注意する事。

仮設間仕切りの仕様は、外部は防雨・防風シート貼り、内部は掲示板取付等可能な石膏ボード程度とする。

仮設工事図

S=1/75

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

(株)池下建築設計

管理者

設計者

担当者

図面名

仮設工事図面

図面No.

A-38

備考

宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3

TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

日付

日付

日付

縮尺

1/75

1. 石綿含有建材の除去工事

施工調査
 ※石綿含有建材の事前調査
 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。
 調査範囲 (※施工範囲全て) ・図示)
 貸与資料 ()

・分析による石綿含有建材の調査
 分析対象
 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロンドライト、トレモライト
 分析方法

材 料 名	定性分析方法	定量分析方法
		JIS A 1481 または JIS A 1481-2
	箇所	箇所
	箇所	箇所
	箇所	箇所

サンプル数 1箇所あたり3サンプル
 採取箇所 ・図示

・石綿粉じん濃度測定 <9.1.1>
 測定点 測定時期、場所及び測定箇所数

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・計 点
・	測定2		調査対象室外部の付近	・計 点
・	測定3		処理作業室内	・計 点
	測定4	処理作業中	セキュリティゾーン入口	・計 点
	測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の位置
	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計 点
・	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・計 点
・	測定8	処理作業後シート	処理作業室内	・計 点
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・計 点

測定方法
 ・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定
・測定5	

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4	25	5	30
・測定5			
・測定	47	10	120
・測定			
・測定	47	10	240
・測定			

石綿含有建材の処理
 ・石綿含有吹き付け材の除去
 除去対象範囲 ・図示
 除去工法 ・図示 ※9.1.3(2)(7)による
 除去した石綿含有吹き付け材等の飛散防止措置
 ※湿潤化 ・固形化
 除去した石綿含有吹き付け材等の処分
 ・埋立処分 (管理型最終処分場)
 ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等の除去
 除去対象範囲 ・図示
 除去工法 ・破砕して除去 ・手ばらし
 除去した石綿含有保温材等の飛散防止
 ※湿潤化 ・固形化
 除去した石綿含有保温材等の処分
 ・埋立処分 (管理型最終処分場)
 ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板の除去
 除去対象範囲 ・図示
 除去した石綿含有成形板の処分
 ・石綿含有せっこうボード
 ※埋立処分 (管理型最終処分場)
 ・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
 ・埋立処分 (安定型最終処分場)
 ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ・図示

電気設備改修工事特記仕様書

I. 工事概要

- 1. 工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事
2. 工事場所 富谷市 西成田郷田一番 地内

3. 建物概要

Table with 7 columns: 建物名称, 構造, 階数, 延べ面積(m²), 建築面積(m²), 消防法施行令別表第一による用途区分, 備考. Rows include building details and a total summary row.

4. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

Table with 4 columns: 工事種目, 建物別及び屋外, 工事種別, 備考. Lists various electrical and construction items with checkboxes for application.

- 5. 指定部分 ※ なし ・ あり (工期: 令和 年 月 日) (対象部分:)
6. 概成工期 ※ なし ・ あり (工事工期より 日前)

II. 特記仕様書

1. 一般事項

(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、令和4年版）...

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（ / ）図、建築工事の特記仕様書は（ / ）図による。

2. 特記事項

- (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

Table with 2 columns: 章, 項目. Contains detailed specifications for construction standards, materials, quality, insurance, and employment.

一般共通事項

- ⑥ 施工計画書・施工図等
⑦ 手続き
⑧ 施工条件
⑨ 工事の一時中止
⑩ 工事実績情報の登録 (CORINS)
⑪ 事故報告
⑫ 電気保安技術者
⑬ 工사용電力, 水, 他
14. 工사용仮設物
15. 監督職員事務所
16. 足場, さん橋類
17. 工事表示板
18. 工사용通路
⑰ 発生材の処理等

⑳ 残土処理

21. 耐震施工

22. 風圧加重

工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員への承諾を受ける。

工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受注者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。

別添の施工条件明示書による。

工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調査、中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。

請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。

施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。

電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。

本工事に必要な工사용電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。

構内につくることが ※ できる ・ できない

※ 設けない ・ 設ける (号・・・建築工事)

・ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。
なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。

※ 設置する 設置枚数 1枚
営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する。

・ 設置しない

※ 指定しない ・ 指定する (図示)

- 発生材の処理
・ 引渡しを要するもの ()
・ 特別管理産業廃棄物 (・ PCB使用機器)
受入施設名・所在地 :
・ 現場において再利用を図るもの ()
・ 再資源化を図るもの

Table with 4 columns: 種類, 受入施設名, 所在地(km), 備考. Lists disposal facilities for waste materials.

- ・ その他安定型廃棄物 ()
受入施設名・所在地 :
・ その他管理型廃棄物 ()
受入施設名・所在地 :
PCBを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。

※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出

耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」((独) 建築研究所監修) による。本工事の施設分類は (・ 特定の施設 ・ 一般の施設) で地域係数は1とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、() 内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

Table with 5 columns: 設置場所, 設計用標準震度, 特定の施設, 一般の施設, 重要機器, 一般機器. Shows seismic design standards for different equipment types.

重要機器類
・ 配電盤 ・ 発電装置 ・ UPS装置 ・ 直流電源装置
・ 交換機 ・ 受信機 (自立型) ・ 中央監視装置 ・ 情報通信ラック
重量が100kg以下の軽量な機器 (標準仕様書の適用を受けるものは除く) においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

※ 風速6.0m/s ・ m/s
・ 雷保護設備受雷部 ・ 照明ポール・基礎 ・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト

Table with 3 columns: 池下建築設計一級建築士事務所, 工事名称, 図面番号. Contains project identification and drawing information.

一般共通事項	23. 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。	44. アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること アスベスト使用状況（ ）	45. 有害物質の取り扱い	PCB（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小形二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を搬出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。																																																																																			
	24. 保温、結露防止	外部に面する壁、天井でF.P板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。		① 工事範囲		・ 配管 ・ 配線 ・ 分電盤類 ・ 機器類																																																																																			
	25. 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。	② 電気方式	・ 幹線 単相3線式 100/200V 50Hz ・ 分岐 単相3線式 100/200V ・ 分岐 単相2線式 100V 幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線																																																																																					
	26. 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、P.F管（一重管）とし、温度による分類はタイプ-25とする。	③ 施工方法	分岐 電灯 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他（ ） コンセント ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ フロアダクト配線 ・ その他（ ） 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製																																																																																					
	27. 二種金属製可とう管	露出箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし いんぺい箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし	④ 照明器具	LED ・ 一体型 ・ 直管型(JEL801) ・ 直管型(JEL802) ・ ダウンライト ・ その他																																																																																					
	28. 電線本数、管路など	分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。	5. 防災用照明器具	・ 非常用照明器具（※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形） ・ 誘導灯（※ LED誘導灯 ・ 誘導標識）																																																																																					
	29. インサート	鋼鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（垂鉛めつき製品）を使用する。	6. 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難しい場合は監督職員との協議による。																																																																																					
	30. 呼び線	長さ1m以上の通線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。	7. ハイテンションアウトレット	※ 銅合金製 ・ アルミ製 ※ 飛び出し形 ・ 外部固定形																																																																																					
	31. フラッシュプレート	図面に特記なき場合、（※ 金属製（ステンレス・新金属も含む） ・ 樹脂製）とする。	8. 人感センサプレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。																																																																																					
	32. フロアプレート・ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付） ・ 銅合金製 ・ アルミ合金製	9. 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は（P.F22）を1本、5個以上の場合は（P.F22）を2本以上、天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には、1スパンにVE（36）2本を予備スリーブとして埋込む。																																																																																					
	33. ハンドホール蓋	県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。	1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 制御盤類																																																																																					
	34. 支持金物、固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また、振動をとまなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。	2. 電気方式	・ 幹線 三相3線式 200V 50Hz ・ 分岐 三相3線式 200V																																																																																					
	35. あと施工アンカー	施工方法 ・ 接着系（※ 有機系 ・ 接着剤） ・ 金属拡張系（※ 本体打込式 ・ ） 性能・施工確認 ※ 行わない ・ 行う	3. 施工方法	幹線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他 分岐 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ その他 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製																																																																																					
	36. 接地極の種類・表示等	接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、EBの長さは1,500mmとする。 ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。	4. 警報盤	※ 壁掛形（電源装置 ※ 内蔵 ・ 別置）																																																																																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極の規格、数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>雷保護設備用接地</td> <td>E LA</td> <td>Ω以下</td> <td>E P × 2</td> </tr> <tr> <td>雷保護設備用接地</td> <td>E LA</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>共同接地</td> <td>E A・E D・E LH</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>共同接地</td> <td>E A・E C・E D</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>A種</td> <td>E A</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>E B</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 2</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>E C</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>D種</td> <td>E D</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構内交換機（陽極）用</td> <td>E t</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>本配線盤の保安装置</td> <td>E A t</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>電話引込口の保安器</td> <td>E D t</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 1</td> </tr> <tr> <td>拡声増幅器</td> <td>E D a</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 1</td> </tr> <tr> <td>防犯装置用</td> <td>E S</td> <td>Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>測定用</td> <td>E o</td> <td>—</td> <td>E B (D=10又はW=30) × 1</td> </tr> <tr> <td>避雷器用（低圧用）</td> <td>E LL</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>避雷器用（高圧用）</td> <td>E LH</td> <td>10Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 3 連一組</td> </tr> <tr> <td>避雷器用（モデム用）</td> <td>E MD</td> <td>100Ω以下</td> <td>E B (D=14又はW=40) × 1</td> </tr> <tr> <td>構造体接地</td> <td></td> <td></td> <td>建築構造体利用（通信用も含む）</td> </tr> </tbody> </table>	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量	雷保護設備用接地	E LA	Ω以下	E P × 2	雷保護設備用接地	E LA	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	共同接地	E A・E D・E LH	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	共同接地	E A・E C・E D	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	A種	E A	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	B種	E B	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 2	C種	E C	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	D種	E D	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1					構内交換機（陽極）用	E t	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	本配線盤の保安装置	E A t	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	電話引込口の保安器	E D t	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1	拡声増幅器	E D a	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1	防犯装置用	E S	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組					測定用	E o	—	E B (D=10又はW=30) × 1	避雷器用（低圧用）	E LL	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	避雷器用（高圧用）	E LH	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組	避雷器用（モデム用）	E MD	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）	5. 電磁閉閉器用押釦（遠方操作用）	※ 埋込連用形配線器具	
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量																																																																																						
雷保護設備用接地	E LA	Ω以下	E P × 2																																																																																						
雷保護設備用接地	E LA	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
共同接地	E A・E D・E LH	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
共同接地	E A・E C・E D	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
A種	E A	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
B種	E B	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 2																																																																																						
C種	E C	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
D種	E D	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1																																																																																						
構内交換機（陽極）用	E t	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
本配線盤の保安装置	E A t	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
電話引込口の保安器	E D t	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1																																																																																						
拡声増幅器	E D a	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1																																																																																						
防犯装置用	E S	Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
測定用	E o	—	E B (D=10又はW=30) × 1																																																																																						
避雷器用（低圧用）	E LL	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
避雷器用（高圧用）	E LH	10Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 3 連一組																																																																																						
避雷器用（モデム用）	E MD	100Ω以下	E B (D=14又はW=40) × 1																																																																																						
構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）																																																																																						
	37. 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。 ・ 受変電設備 ・ 発電設備 ・ 照明装置 ・ 構内交換設備	6. 機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。																																																																																					
	38. 塗装工事	下記部位に使用する外面めつき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外 ※ 居室	7. 電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。																																																																																					
	39. 山留め	切り取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。	8. 進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。																																																																																					
	40. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）22章（舗装工事）及び建築工事監理指針（下巻）22章（舗装工事）による。	9. 電気自動車用充電装置	・ 機器類 ・ ・ 普通充電装置 電圧 相 V ・ 屋外型 ・ 屋内型 ・ 急速充電装置 直流電圧 V																																																																																					
	41. はつり	既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。	1. 電気方式	幹線 相 線式 V 50Hz 分岐 相 線式 V																																																																																					
	42. 再使用機器	再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付ける。	2. 施工場所及び面積	・ (m ²) ・ (m ²)																																																																																					
	43. 撤去後の補修等	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。	<table border="1"> <tr> <td>池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号</td> <td>工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事</td> <td>図面番号</td> </tr> <tr> <td>設計 池下久幸（一級建築士） 第280837号</td> <td>図面名称 電気設備改修工事特記仕様書②</td> <td>E-2</td> </tr> </table>		池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	図面番号	設計 池下久幸（一級建築士） 第280837号	図面名称 電気設備改修工事特記仕様書②	E-2																																																																															
池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	図面番号																																																																																							
設計 池下久幸（一級建築士） 第280837号	図面名称 電気設備改修工事特記仕様書②	E-2																																																																																							

雷保護設備	1. 工事範囲 2. 受雷部 3. 避雷導線 4. 接地極 5. 測定用補助接地極	<ul style="list-style-type: none"> 受雷部 引下げ導線 接地極埋設 突針 棟上導体 笠木（別途）など 引下げ導線 構造体利用 ※ 接地極埋設 構造体利用（測定時期回数） 設置 	通 信 情 報 設 備	<ul style="list-style-type: none"> 2. 構内情報通信網設備 3. 情報表示設備 4. 映像・音響設備 5. 拡声設備 ⑥ 誘導支援設備 7. テレビ共同受信設備 8. テレビ電波障害 防除設備 9. 監視カメラ設備 10. 駐車場管制設備 11. 防犯・入退室管理設備 	<table border="1"> <tr><td>・ 監視カメラ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ 駐車場管制設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ 防犯・入退室管理</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>ボックス</p> <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂製 金属製 <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> 10BASE-T 100BASE-TX 1000BASE-T 10GBASE-SR <ul style="list-style-type: none"> 親時計 回線（※ 壁掛形 自立形） 電子式チャイム組込 プログラムタイマ組込） <ul style="list-style-type: none"> 増幅器 W VTR（・ DVD BD S-VHS ） プロジェクタ（※ 前面投射式 背面投射式） 音響設備（・ CD オーディオレコーダー ） <ul style="list-style-type: none"> 一般放送用 非常放送兼用 増幅器 W（※ 卓上形 キャビネットラック形） インターホン ⊙ トイレ等呼出装置 音声誘導装置 <ul style="list-style-type: none"> テレビアンテナ（・ AU- CSBSA- CSA- ） 地上波アンテナマスト（※ 壁面取付形 自立形） BSアンテナマスト（・ 壁面取付形 自立形） 電界強度測定及び受信調査（※ 全チャンネル） <ul style="list-style-type: none"> 事前調査 機器類 <ul style="list-style-type: none"> 白黒方式 ※ カラー方式 伝送方式（・ アナログ ネットワーク） <ul style="list-style-type: none"> 管制盤 検知器（・ 光線式 ループコイル式） 信号灯・警報灯 発券機 カーゲート カードリーダー <ul style="list-style-type: none"> 接地工事（※ 本工事 別途） 	・ 監視カメラ								・ 駐車場管制設備								・ 防犯・入退室管理																																													
	・ 監視カメラ																																																																		
・ 駐車場管制設備																																																																			
・ 防犯・入退室管理																																																																			
受 変 電 設 備	1. 工事範囲 2. 電気方式 3. 引込ケーブル 4. 配電盤 5. 主遮断装置 6. 高圧機器類 7. 変圧器 8. 進相用コンデンサ 9. リアクトル 10. 自動力率制御装置 11. 測定用補助接地極	<ul style="list-style-type: none"> 機器類 高圧 三相3線式 6kV 50Hz 低圧 三相3線式 200V 低圧 単相3線式 100V/200V EM-CET38° EM-CET60° EM-CE38°-3C EM-CE60°-3C 屋内形 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） キュービクル式配電盤 高圧閉鎖配電盤 ※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（PF-S） 高圧交流遮断器（CB） 定格遮断電流 kA 油入式 モールド 手動 電動 電磁 単相変圧器 kVA 三相変圧器 kVA （油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品） ※ 低圧 高圧 油入式 モールド ガス式 6% 13% 油入式 モールド ※ メーターリレー形 静止形 設置 	火 災 報 知 設 備	<ul style="list-style-type: none"> 1. 工事範囲 2. 火災報知装置 3. 非常警報装置 4. 自動閉鎖装置 5. ガス漏れ火災警報装置 6. 消火器類 	<ul style="list-style-type: none"> 配管 配線 機器類 <ul style="list-style-type: none"> 壁掛形 自立形 受信機 型 級 回線（ アドレス） 複合盤 型 級 回線（火報 回線, 自動閉鎖 回線, ガス漏れ 回線） 副受信機 型 級 回線 機器収容箱 専用形（・ 埋込形 露出形） 屋内消火栓箱に組込み 感知器類 型用 総数 個（・ 自動試験機能付） <ul style="list-style-type: none"> 非常ベル（自動式サイレンを含む） 非常放送装置 <ul style="list-style-type: none"> 連動制御器 自動閉鎖装置（・ 防火戸用 防煙ダンパ用 防火シャッター用） 感知器 <ul style="list-style-type: none"> 受信機 回線（・ 都市ガス用 液化石油ガス用） 単独（・ 壁掛形 自立形） 火災受信機などとの複合盤 検知器 併設 連動 定格電圧（・ AC100V DC24V） ガス検知出力信号（・ 有電圧出力方式 無電圧接点方式） <ul style="list-style-type: none"> 消火器 種別 数量 本 消火器収納箱 仕様 材質 数量 面 																																																														
電力貯蔵設備	1. 直流電源装置 2. 交流無停電電源装置	<ul style="list-style-type: none"> ※ 非常用照明器具電源, 受変電設備制御電源供用 受変電設備制御専用 非常用照明器具専用 蓄電池 鉛蓄電池（・ HS CS MSE 長寿命形MSE ） アルカリ蓄電池（・ AH AMH ） リチウムイオン電池 用途（ 容量 kVA 蓄電池 鉛蓄電池（・ HS CS MSE 長寿命形MSE ） アルカリ蓄電池（・ AH AMH ） リチウムイオン蓄電池 		構 内 交 換 設 備	<ul style="list-style-type: none"> 1. 工事範囲 2. 監視制御対象設備 3. 表示操作盤 4. 監視制御装置 	<ul style="list-style-type: none"> 配管 配線 機器類 <ul style="list-style-type: none"> 動力設備 受変電設備 発電設備 火災報知設備 <ul style="list-style-type: none"> 壁掛形 自立形 組込み機器 <p>構成機器</p> <ul style="list-style-type: none"> グラフィックパネル 内照式液晶ディスプレイ 操作卓 監視操作装置 信号処理装置 伝送装置 分散処理装置 中央処理装置 補助記憶装置 記録装置 電源装置 帳票用印字装置（・ インクジェット式 写真式） 																																																													
発 電 設 備	1. 工事範囲 2. 形式 3. 発電機 4. 原動機 5. 燃料 6. 太陽光発電装置 7. 系統連系	<ul style="list-style-type: none"> 機器類 簡易形 キュービクル式 オープン形 屋内形 屋外形 電気方式 相 線式 50Hz 電圧 V 定格出力 kVA 運転時間 時間 種類 ディーゼル ガスタービン 定格出力 kW以上（ PS以上） 始動方式 ※ 電気式 空気式 冷却方式 ラジエータ式 水冷循環式 種類 軽油 灯油 A重油 燃料小出槽 L 主貯油槽 なし あり（・ 別途 本工事： ） 太陽電池アレイ公称出力 kW パワーコンディショナ 相 線式 定格電圧 V 定格出力 kW 自立運転 有 無 蓄電池 有（定格容量 kWh） 無 有 無 	池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号		工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	図面番号																																																													
構内交換設備	1. 工事範囲 2. 電話交換機 3. 電話機への配線 4. ローテンションアウトレット（亀甲形） 5. 保安器用接地	<ul style="list-style-type: none"> 交換機 電話機 配線（・ 全部 端子盤以降） 形式 ボタン電話装置 デジタルPBX IP-PBX V.o.I.Pサーバ 回線数 局線 / 回線 内線 / 回線 電話機1台につき, 下記のものを見込む。 EM-TIEFO. 65-2C（・ 20m ） EM-EBTO. 4-2P（・ 20m ） ワイヤープロテクタ（樹脂製 外形寸法約20×8）1. 5m ※ 一般電話用 個（・ 納入する 取り付ける） ※ 銅合金製 アルミ製 ※ 本工事 別途工事 		<ul style="list-style-type: none"> 池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号 設計 池下久幸（一級建築士） 第280837号 			<ul style="list-style-type: none"> 図面名称 電気設備改修工事特記仕様書③ 	<ul style="list-style-type: none"> 図面番号 E-3 																																																											
1. 工事範囲及び施工方法	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">工 事 範 囲</th> <th colspan="3">施 工 方 法</th> </tr> <tr> <th>配 管</th> <th>配 線</th> <th>機器類</th> <th>合成樹脂管配線</th> <th>金属管配線</th> <th>ケーブル配線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・ 構内情報通信網</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ 情報表示</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ 映像・音響</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ 拡声</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ 誘導支援</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ テレビ共同受信</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>・ テレビ電波障害防除設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	項目	工 事 範 囲			施 工 方 法			配 管	配 線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線	・ 構内情報通信網							・ 情報表示							・ 映像・音響							・ 拡声							・ 誘導支援							・ テレビ共同受信							・ テレビ電波障害防除設備										
項目	工 事 範 囲			施 工 方 法																																																															
	配 管	配 線	機器類	合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線																																																													
・ 構内情報通信網																																																																			
・ 情報表示																																																																			
・ 映像・音響																																																																			
・ 拡声																																																																			
・ 誘導支援																																																																			
・ テレビ共同受信																																																																			
・ テレビ電波障害防除設備																																																																			

構内配電線路	1. 工事範囲	・ 管路 ・ 配線 ・ 機器類
	2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低圧 単相3線式 100/200V ・ 低圧 単相2線式 100V
	3. 布設方法	※ 地中埋設式 (・ FEP ・ GLT ・ 厚鋼電線管) ・ 架空線式
	4. 柱上機器	・ 高圧負荷開閉器 ※ 一般用 ・ 耐塩塩じん用 ※ 地絡継電器付き (※ 方向性 ・ 無方向性) ・ 避雷器 ※ 一般用 ・ 耐塩用 ・ 高圧カットアウト、がいしなど ※ 一般用 ・ 耐塩用
	5. 高圧ケーブルの端末処理	屋外側 ※ 一般用 ・ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付 (屋内外共、線名、作業日、氏名を表示)
	6. その他	東北電力(株)外線工事基準(架空線編)に準ずる。
	7. 外灯設備	・ 定格電圧 V W
	8. 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。()
	9. 標識シート	・ 高圧ケーブル ・ 低圧ケーブル
	10. 予備配管	屋外キュービクルから第1ハンドホールまでの予備配管 (FEP100:1本) を設ける。 分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管 (FEP80:2本) を設ける。

構内通信線路	1. 工事範囲	・ 管路 ・ 配線
	2. 用途	・ 電話用 ・ 時計、拡声用 ・ 火災報知用
	3. 施工方法	※ 地中埋設式 (・ FEP ・ GLT ・ 厚鋼電線管) ・ 架空線式
	4. 標識シート	※ 弱電用

解体工事	1. 特記事項 ※建物一式のとりこわし工事に適用とし、機器等の改修工事は適用外	①施工計画書には産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体施工前に事前調査を行い、その結果を「指定様式2-1 建設副産物処理表(施工前調査表)」としてあらかじめ監督職員に提出すること ②撤去品の一切については、有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い、その結果を「指定様式2-2 建設副産物処理表(撤去品調査後)」として監督職員に提出すること ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある撤去品を確認した場合には、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計画の変更を行い、監督職員の確認を得たうえで処理・処分すること ④撤去品の取扱については、関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに、その結果を「指定様式2-3 建設副産物処理表(最終)」として監督職員に提出すること
------	--	---

表2「機器取付高さ」 図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備			通信設備		
名称	測点	取付高(mm)	名称	測点	取付高(mm)
電力共通	取引用計器	地上~窓中心	電	引込線留め高	地上~引込点
	引込開閉器	床上~中心	電	集合保安器箱	天井下~上端
	分電盤	床上~中心	電	端子盤(廊下、室内)	床上~下端
電	スイッチ(一般)	床上~中心	話	”(EPSなど)	床上~中心
	”(和室)	”	話	壁付アウトレット(一般)	床上~中心
	コンセント(一般)	”	話	”(和室)	150~200
	”(和室)	”	時	壁掛形親時計	床上~中心
	”(台上)	台上~中心	計	子時計	”
	”(ファン用)	床上~下端	計	壁掛形スピーカ	”
	”(厨房)	床上~中心	計	壁付アツテネータ	”
	”(車庫)	”	計	壁付インターホン(一般)	床上~中心
	”(機械室)	”	計	”(身体障害者)	”
	”(土間)	”	計	壁付アウトレット(一般)	”
	ブラケット(一般)	床上~中心	計	”(和室)	150~200
	”(踊場)	”	計	機器収容箱	天井下~上端
	”(鏡上)	鏡上端~中心	計	直列ユニット(一般)	床上~中心
	避難口誘導灯	床上~下端	計	”(和室)	200
	廊下通路誘導灯	床上~上端	計	警	表示盤
動力	壁掛形制御盤	床上~中心	報	壁付発信機	”
	開閉器箱	”	報	ベル、ブザー、チャイム	”
	電磁開閉器用ボタン	”	報	壁付押しボタン(一般)	床上~中心
			知	”(身体障害者玄関)	”
				受信機	床上~中心
				副受信機	”
				機器収容箱	”

身障者用	非常ボタン(便所用)	床上~中心	400、900	火災報知器	発信機	”	800~1,500
	壁付インターホン(親機)	”	1,300		表示灯	床上~中心	2,100
	”(玄関子機)	”	1,100		ベル	”	2,300
	廊下表示灯(復旧ボタン付)	”	1,300		液化石油ガス用検知器	床上~上端	250
	身障表示ランプ	”	1,500		都市ガス用検知器(軽質)	天井~上端	150
スイッチ	”	1,100	”(重質)	床上~上端	250		

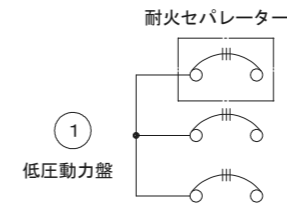
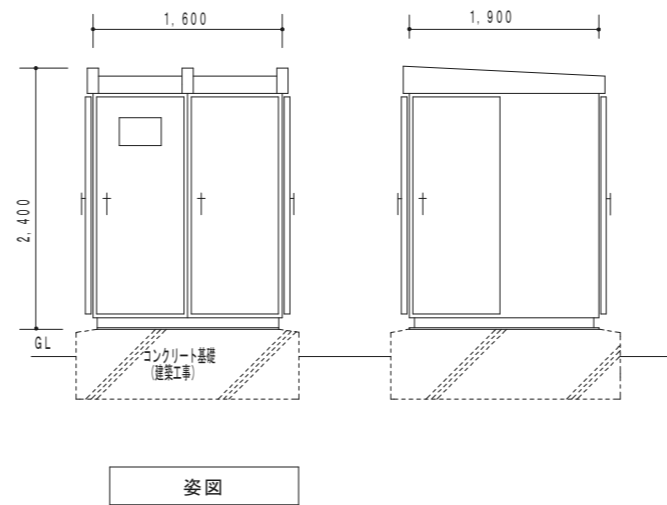
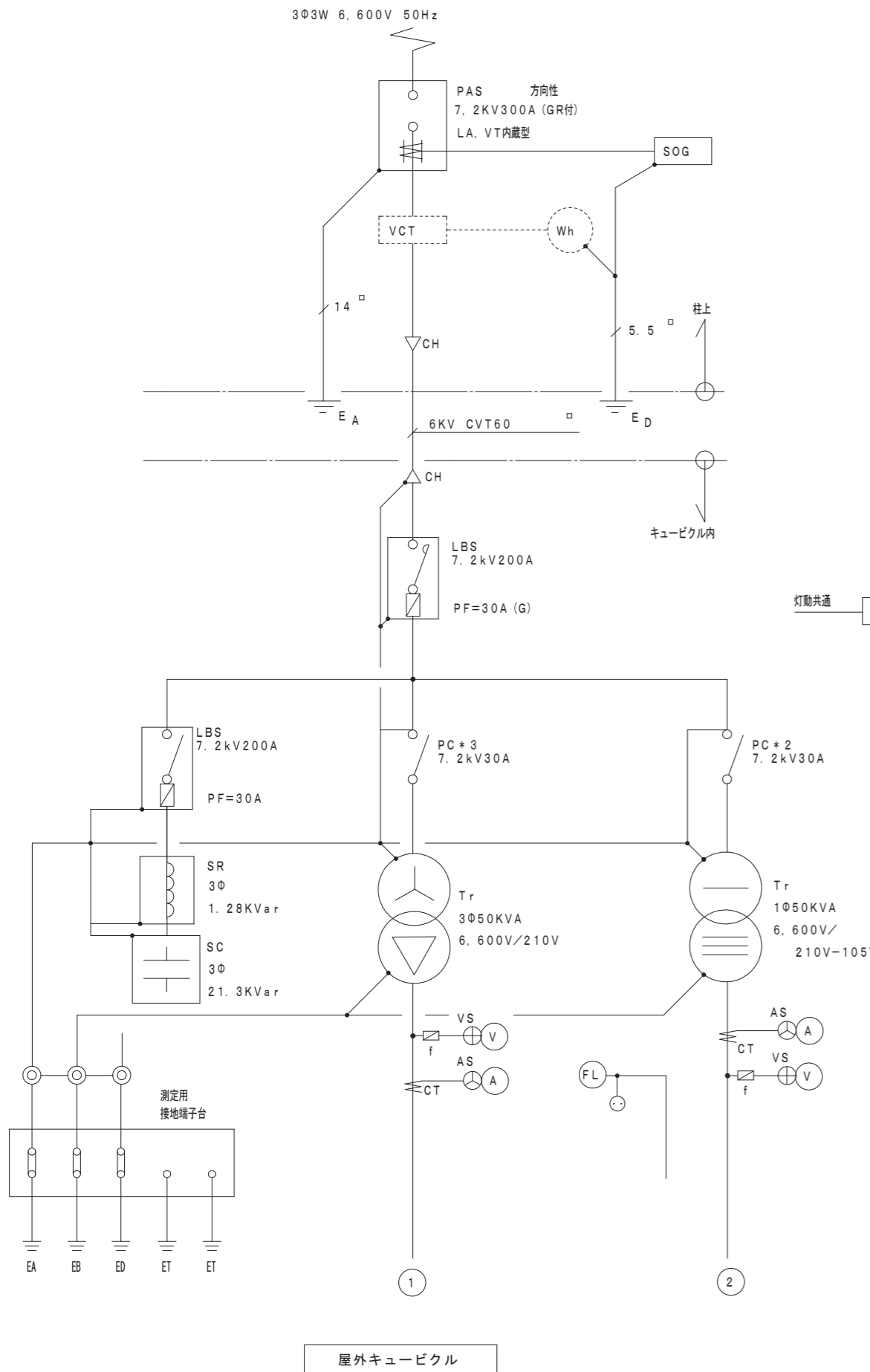
表1「完成書類」 引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調査書	営繕工事完成引渡要領(令和3年4月1日版)	1部	6 取扱説明書	A4版:黒表紙金文字製本(2 完成図書と合本可)	1部
2 完成図書	A4版:黒表紙金文字製本(機器完成図、取扱説明書と合本可。ただし、厚さが80mmを越える場合は分冊とする。)	1部	①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書		
3 完成図(縮小)	白焼縮小製本 A3版二つ折り うち1部は設備課保管	2部	7 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	A4版:チューブ式ファイル	1部
4 完成図・施工図(電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	CD 2枚	8 工事写真 ①施工写真	A4版:チューブ式ファイル(着手前、施工状況、完成の各写真)	1部
5 機器完成図	A4版:黒表紙金文字製本(2 完成図書と合本可)	1部	②完成写真	A4版:ペーパーファイル 完成届に添付	1部
			9 工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	A4版:チューブ式ファイル	1部

注記: 機器参考図について

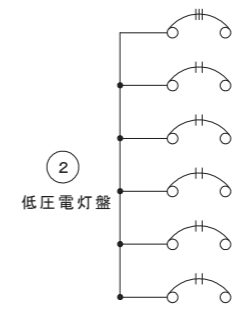
本図面中で、機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	工事名称	令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	図面番号
設計 池下久幸(一級建築士) 第280837号	図面名称	電気設備改修工事特記仕様書④	E-4

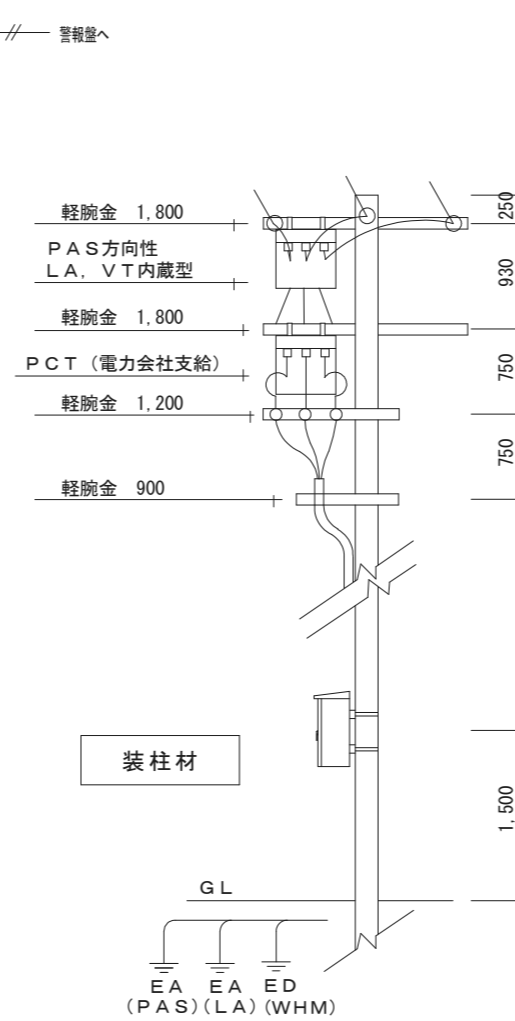


MCB3P225/125	11KW	FP14-3C [□]	SPU
ELB3P50/30	1.8KW	EM-CE3.5-3C [□]	浄化槽
MCB3P225/125	18.34KW	EM-CET38 [□]	P-1

三相負荷合計 31.14KW*1.25=38.925KVA



MCCB3P225/225	43.9KVA	EM-CET100 [□]	L-1
ELB2P50/20			予備
ELB2P50/20	1.0KVA	EM-CE3.5-3C [□]	SPU凍結防止ヒーター +電灯(200V)
ELB2P50/20	1.0KVA	EM-CE3.5-3C [□]	凍結防止ヒーター
MCCB2P50/20			所内電源
MCCB3P100スペース			予備



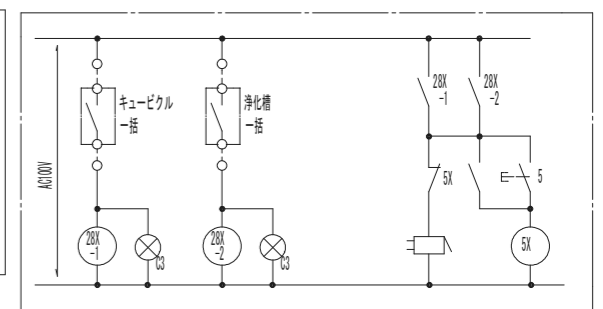
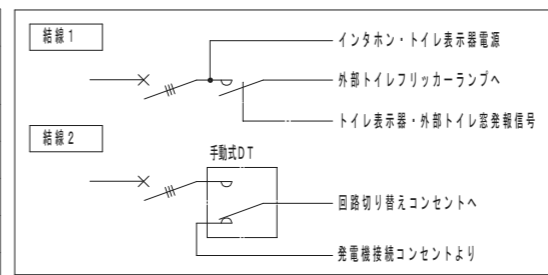
凡例

記号	名称	仕様及び摘要
	分電盤	結線図参照
	動力盤	結線図参照
	照明器具	姿図参照
	照明器具	姿図参照
	埋込スイッチ	片切り ネーム・ランプ付
	埋込コンセント	2P15A 2:2ヶ口 E:接地極又は端子付き
	防雨コンセント	2P15A 2:2ヶ口 E:接地極又は端子付き
	換気扇	結線のみ

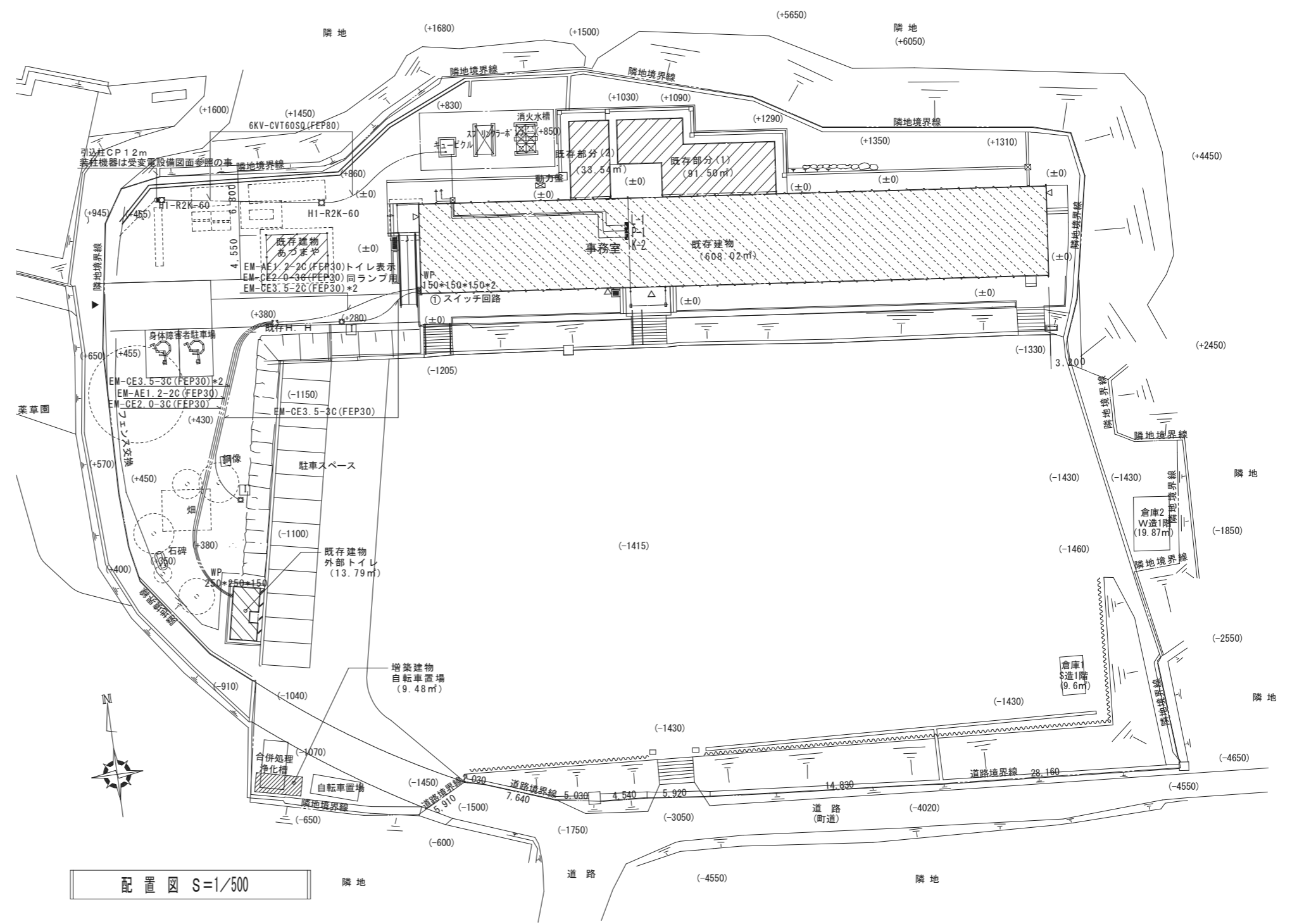
工事名	令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名	既存 受変電設備図・凡例	図面No.	E-5
備考		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺	1/100		

盤名称 (盤形式) 詳細番号 詳細サイズ	電気方式 主幹 合計容量	回路 番号	電圧 V	分岐 AF/AT	負荷名称	負荷容量 (VA)	備考
L-1	合計 43.9kVA	(A)	100	MCCB 2P 50/20	誘導灯	100	
		(B)	100	MCCB 2P 50/20	火警受信機	200	
		(C)	100	MCCB 2P 50/20	補助散水栓表示灯	10	
		(D)	100	MCCB 2P 50/20	トイレ表示・インタホン	100	盤1
		(E)	100	MCCB 3P 50/30	厨房分電盤	5000	
		(F)	100	MCCB 2P 50/20	電灯 発電機回路切替	1390	盤2
		(G)	100	MCCB 2P 50/20	電灯 発電機回路切替	1330	盤2
		(1)	100	MCCB 2P 50/20	電灯	800	
		(2)	100	MCCB 2P 50/20	電灯	1230	
		(3)	100	MCCB 2P 50/20	電灯	870	
		(4)	100	MCCB 2P 50/20	電灯	1140	
		(5)	100	MCCB 2P 50/20	電灯	920	
		(6)	200	ELCB 2P 50/20	電灯	1800	
		(7)	100	ELCB 2P 50/20	電灯	951	
		(8)	100	MCCB 2P 50/20	ロスナイ	710	
		(9)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	200	
		(10)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	1000	
		(11)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	1000	
		(12)	100	MCCB 2P 50/20	警報盤	200	
		(13)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	100	
		(14)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	1000	
		(15)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	200	
		(16)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	600	
		(17)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	500	
		(18)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	500	
		(19)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	
		(20)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	1000	
		(21)	100	ELCB 2P 50/20	EPH	1500	
		(22)	100	ELCB 2P 50/20	コンセント	1000	
		(23)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	500	
		(24)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	500	
		(25)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	300	
		(26)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	
		(27)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	
		(28)	100	ELCB 2P 50/20	給湯器	500	
		(29)	200	ELCB 2P 50/20	IHヒーター	1000	
		(30)	200	ELCB 2P 50/20	AC	1700	
		(31)	100	ELCB 2P 50/20	AC	750	
		(32)	100	ELCB 2P 50/20	AC	800	
		(33)	200	ELCB 2P 50/20	EPH	1500	
		(34)	100	MCCB 2P 50/20	FF	750	
		(35)	100	MCCB 2P 50/20	FF	900	
		(36)	100	ELCB 2P 50/20	屋外トイレ	940	
		(37)	100	ELCB 2P 50/20	屋外トイレ	880	
		(38)	100	ELCB 2P 50/20	自動販売機	1000	
		(39)	100	ELCB 2P 50/20	電気温水器	1350	
		(40)	100	ELCB 2P 50/20	自動販売機	1000	
		(41)	200	ELCB 2P 50/20	IHヒーター	1000	
		(42)	200	ELCB 2P 50/20	エアコン	1690	
		(43)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	
		(44)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	
		(45)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	
		(46)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	
		(47)	100	MCCB 2P 50/20	外灯	1000	
		(48)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	
		(49)	200	ELCB 2P 50/20	EPH		
		(50)	200	ELCB 2P 50/20	外灯	1000	
		(51)	200	ELCB 2P 50/20	IHヒーター	1000	
		(52)	200	ELCB 2P 50/20	外灯	1000	
		(53)	100	MCCB 2P 50/20	電気温水器	1350	
		(54)	100	MCCB 2P 50/20	コンセント	400	

盤名称 (盤形式) 詳細番号 詳細サイズ	電気方式 主幹 合計容量	負荷名称	負荷容量 (kW)	結線記号	運轉又は インター ロック	操作	表示	計測	備考
P-1	合計 18.34kW	照明機	3.08kW	ELCB3P50/30					
		照明機	3.08kW	ELCB3P50/30					
		照明機	2.60kW	ELCB3P50/30					
		照明機	2.58kW	ELCB3P50/30					
		照明機	2.40kW	ELCB3P50/30					
		照明機	2.30kW	ELCB3P50/30					
		照明機	2.30kW	ELCB3P50/30					



盤リスト

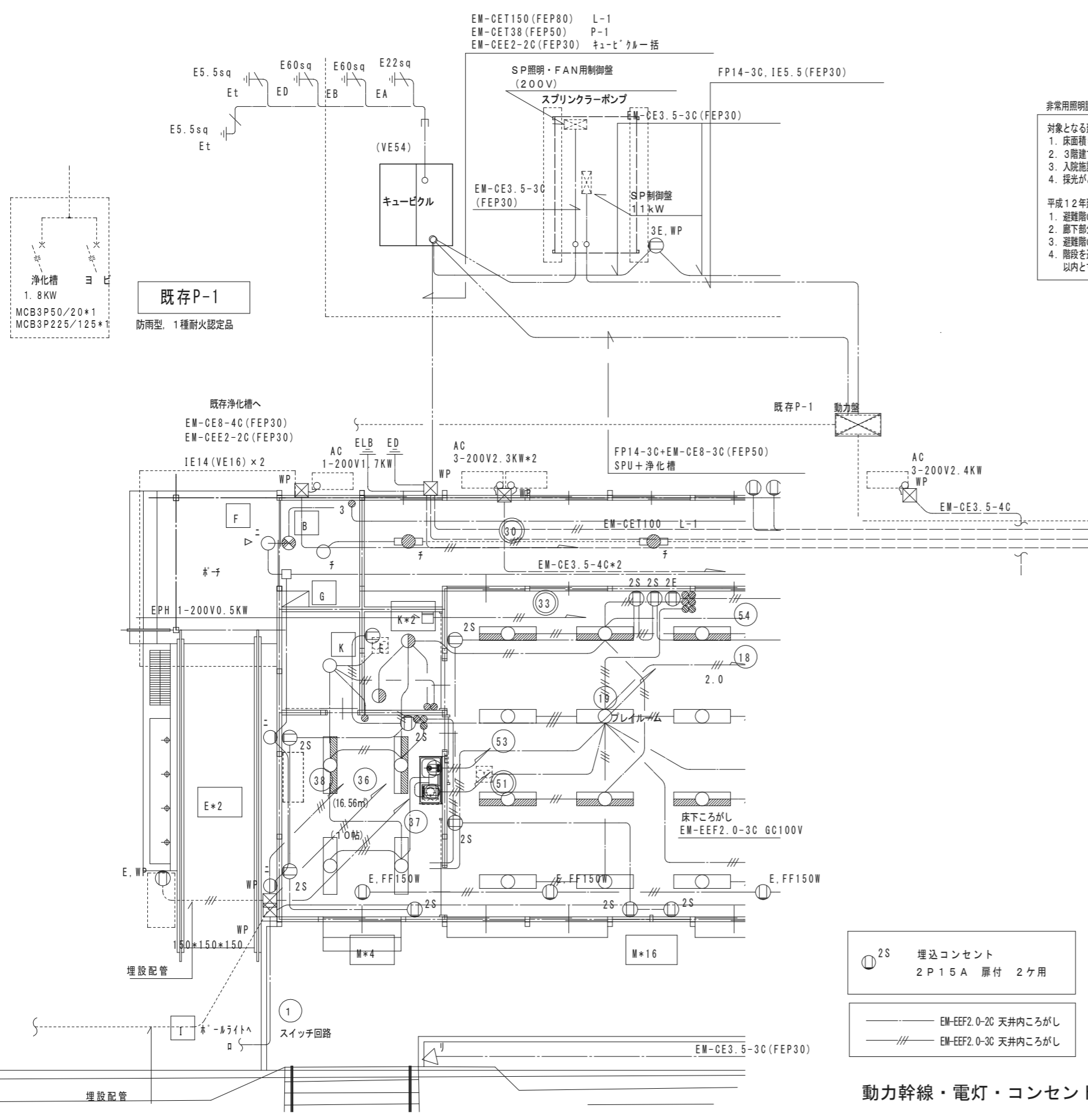


工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事
備考

(株)池下建築設計
宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

管理者 設計者 担当者
日付 日付 日付

図面名 既存 全体電気設備図
縮尺 1/500
図面No. E-6

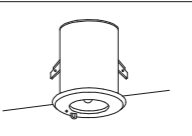
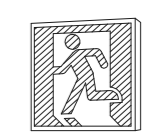

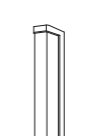
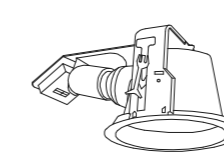
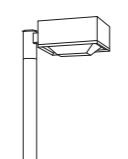
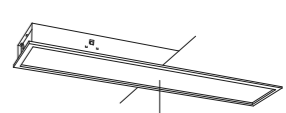


非常用照明設置基準

対象となる建物
1. 床面積500m²以上
2. 3階建て以上
3. 入院施設を伴うもの
4. 採光がとれない居室

平成12年建設省告示第1411号による適用除外の居室等より
1. 避難階の小部屋で避難口まで歩行距離30M以内は除外される
2. 廊下部分は避難経路となるので設置を必要とする
3. 避難階の直上階・直下階は30Mが20M以内となる
4. 階段を通過して避難階に出る時は、階段を起点として20M以内とする

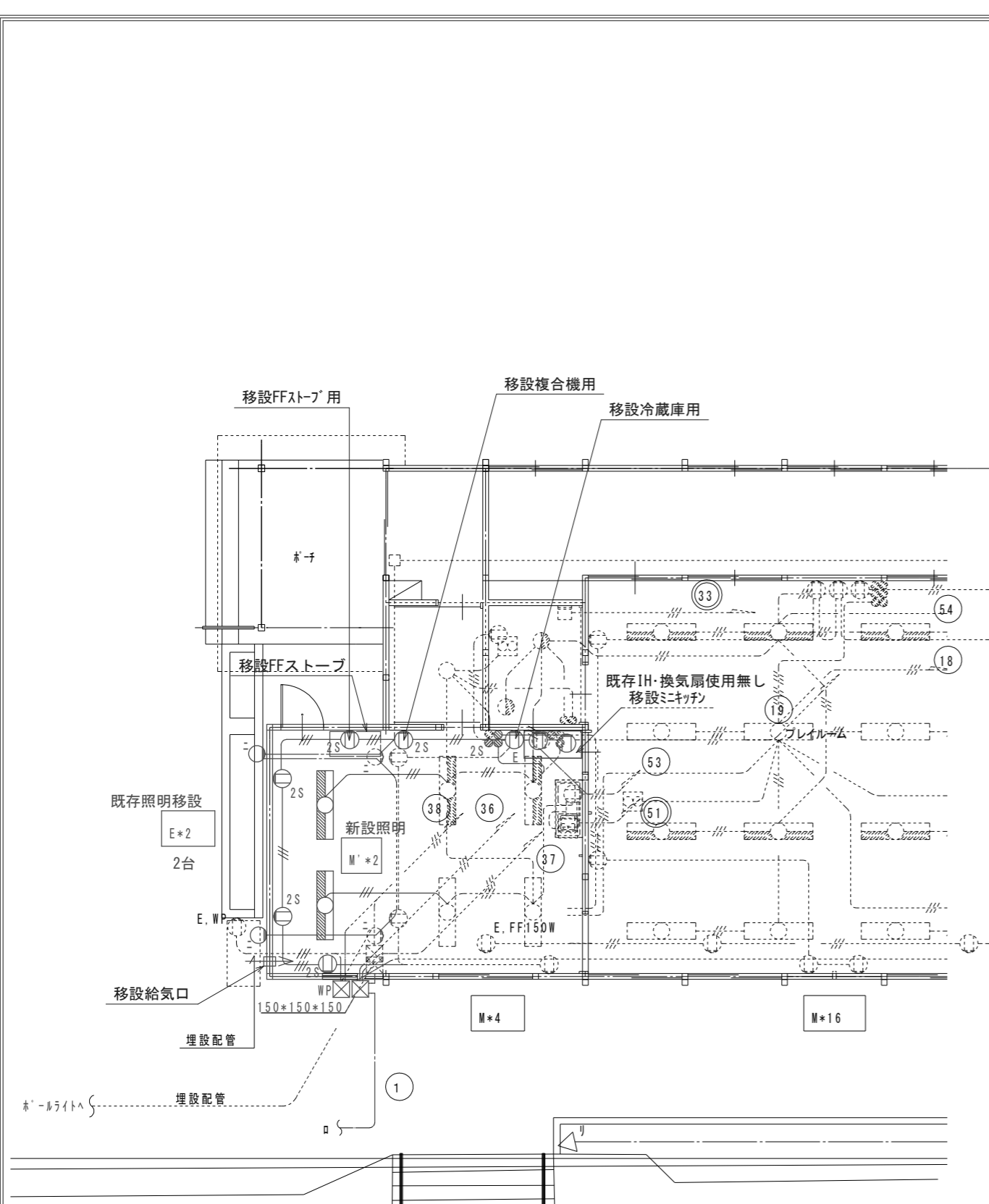
※非常用照明の円は床面照度1ルクスを満たすために必要な器具取付けピッチの上限であり、カバーエリアでは無い。従って、四隅が円に入っていないなくても器具ピッチ側で円が重なっていれば照度は確保されている。(松下電工資料による)

A	K1-IRS4-JE13	非常照明バッテリー内蔵	B	SH1-FBF20-C																																				
<p>参考型番 松下電工LB91630 (13W) ハロゲン13W*1</p>  <p>JE13W*1</p> <table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.1m</td> <td>2.4m</td> <td>2.6m</td> <td>3.0m</td> <td>4.0m</td> <td>5.0m</td> <td>6.0m</td> <td>7.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配置 A1</td> <td>4.0m</td> <td>4.6m</td> <td>4.6m</td> <td>4.7m</td> <td>0.2m</td> <td>0.1m</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>直線配置 A2</td> <td>8.6m</td> <td>9.6m</td> <td>10.2m</td> <td>11.2m</td> <td>7.3m</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>四角配置 A4</td> <td>6.9m</td> <td>7.6m</td> <td>8.0m</td> <td>8.9m</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>図中シンボル</p> <p>誘導灯, BT内蔵</p> <p>パネルは所轄消防と協議のこと</p>		器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m	単体配置 A1	4.0m	4.6m	4.6m	4.7m	0.2m	0.1m	-	-	直線配置 A2	8.6m	9.6m	10.2m	11.2m	7.3m	-	-	-	四角配置 A4	6.9m	7.6m	8.0m	8.9m	-	-	-	-	 <p>誘導灯, BT内蔵</p> <p>パネルは所轄消防と協議のこと</p>		
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	7.0m																																
単体配置 A1	4.0m	4.6m	4.6m	4.7m	0.2m	0.1m	-	-																																
直線配置 A2	8.6m	9.6m	10.2m	11.2m	7.3m	-	-	-																																
四角配置 A4	6.9m	7.6m	8.0m	8.9m	-	-	-	-																																
C	ST1-FSF21-BL		E	FBF7MP-321-PN9																																				
D	ST1-FBF22-BL																																							
<p>C: 冷陰極蛍光灯B級 通路両面吊下 D: 冷陰極蛍光灯B級 通路片面吊下</p>  <p>パネルは所轄消防と協議のこと</p>		<p>誘導灯, BT内蔵</p>  <p>防雨型 Wフリータイプ 反射板: プラスチック (高反射ホワイト) 枠: ステンレス (クールホワイトつや消し仕上) パネル: 熱処理ガラス (透明) 埋込穴φ150 埋込高H=108</p>																																						
G	FRS21A-H321		I	HSA8-150CM 200V																																				
K	FRS21-H241		M	FRS15F1-322-PH																																				
		 <p>本体: アルミダイカスト (ミディアムグレーメタリック) 下面パネル: 複層ガラス (乳白)</p>  <p>高効率乳白パネル・フラット型</p>																																						

照明設備姿図

動力幹線・電灯・コンセント設備平面図 S=1/200

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 既存 電気設備詳細図	図面No. E-7
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/200	



動力幹線・電灯・コンセント設備平面図 S=1/100

① 2S 埋込コンセント
2P15A 2ヶ用

既設配線
 ——— EM-EEF2.0-2C 天井内ころがし
 ——— EM-EEF2.0-3C 天井内ころがし
 新設配線
 ——— EM-EEF2.0-3C 天井・床下内ころがし

E	FBF7MP-321-PN9	M	FRS15F1-322-PH	M'	iDシリーズ直付型40形 スリムベース 新設 2台 公共施設型番：LSS6-4-37
既存照明器具 移設工事 2台		既存		パナソニック 直付XLX440SENPLE9 幅250長さ1250高53	
		高効率乳白パネル・フラット型		一般タイプ、4000lmタイプ 消費電力25W、定格出力型、電圧100~242V 約10~100%連続調光型 本体：亜鉛鋼板、反射板：銅板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命4000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83、電源装置はライトバー側に内蔵	

照明設備姿図

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 E-8 増築 電気設備詳細図	図面No. E-8
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100	

機 械 設 備 改 修 工 事 特 記 仕 様 書

I. 工事概要

1. 工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

2. 工事場所 富谷市 西成田郷田一番 地内

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(m ²)	建築面積(m ²)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
西成田コミュニティセンター本体 既存	木造平屋建て	1階	734.726m ²	746.806m ²	(1) -口	
西成田コミュニティセンター本体 増築	木造平屋建て	1階	9.65m ²	9.65m ²	(1) -口	
西成田コミュニティセンター 倉庫、屋外トイレ、四角、自転車置き場	木造平屋建て	1階	81.732m ²	82.842m ²	(1) -口	
計			826.108m ²	839.298m ²		

4. 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

建設別及び工事種目	工 事 種 別						
	屋内	屋外					屋 外
・空気調和設備							
・換気設備	○						
・排煙設備							
・自動制御設備							
・衛生器具設備	○						
・給水設備	○						
・排水設備	○	○(雨水)					
・給湯設備							
・消火設備							
・厨房機器設備							
・ガス設備							
・さく井設備							
・浄化槽設備							
・昇降機設備							
・その他工事(白灯油)	○						

5. 指定部分 ※ なし ・ あり (工 期: 令和 年 月 日) (対象部分:)

6. 概成工期 ※ なし ・ あり (工事工期より 日前)

7. 設備概要 (○印のついたものは、主要方式を示す)

方 式	設 備 概 要	
空気調和方式等	・ 空気調和	・ 全空気方式 ・ ファンコイルユニット、ダクト併用方式 ・ パッケージ方式
	・ 温風暖房	・ 全空気方式 ・ ファンコンベクター、ダクト併用方式
	・ 直接暖房	・ 温水暖房 ・
自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 空気式 ・ 中央監視制御	
給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ タンクレスブースター方式 ・	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水 (・ 分流式 ○ 合流式) 建物外の汚水及び雑排水 (・ 分流式 ・ 合流式) 放流先 汚 水 (・ 下水道直放流 ・ 浄化槽) 雑排水 (・ 下水道直放流 ・ 浄化槽 ・ 側溝 ○ 別途樹)	
給湯方式	○ 局所式 ・ 中央式	
消火設備方式	・ 屋内消火栓 (・ 湿式 ・ 乾式) ・ 連結送水管 ・ 屋外消火栓 ○ スプリンクラー (○ 湿式 ・ 乾式) ・ 不活性ガス消火 ・ 泡消化 ・ 粉末消火 ・ 連結散水 ・ フード等用簡易自動消火 ・ 消火器	
ガス設備方式	・ 都市ガス 種別 () kJ/m ³ (N) (供給圧力 Pa) ・ 液化石油ガス	

II. 特記仕様書

1. 一般事項 (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編、令和4年版)」、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編、令和4年版) (以下「標準仕様書」という。)、同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編、令和4年版) (以下「標準図」という。)による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事仕様書は (/) 図、建築工事の工事仕様書は (/) 図による。

2. 特記事項 (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。

章	項 目	特 記 事 項
	①. 適用基準等	○ 営繕工事写真撮影要領 (国土交通省大臣官房庁営繕部監修 令和3年度版) ○ 建設工事執行規則 (昭和39年3月宮城県規則第9号) ○ 宮城県建設工事元請・下請適正化要綱 (最新版) ・ 宮城県建築工事写真撮影要領 (宮城県土木部制定 平成12年版) 及び工事写真撮影ガイドブック<機械設備工事編> (国土交通省大臣官房庁営繕部監修 令和3年版)

②. 機 材 等

③. 機材の品質・性能証明

4. 保 険

5. 雇 用

⑥. 施工計画書および施工図等

⑦. 工事実績情報の登録 (CORINS)

⑧. 手続

⑨. 事故報告

⑩. 電気保安技術者

⑪. 技能士の適用

12. 足場等

13. 監督職員事務所

⑭. 工事用電力、水、その他

⑮. 工事用仮設物

⑯. 残土処理

⑰. 発生材の処理

※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。本工事着手前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。

本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。

本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。

また、県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては、環境配慮計画 (実施) 書を作成し、監督職員に提出する。

請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。
受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。

工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。

なお、当該手続きに係わる費用は、受注者の負担とする。

施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

※ 配置する ・ 配置しない

本工事に下記の当該職種別技能士 (・ 1級 ・ 2級) を適用させる。(資格証の写しを提出する)

・ 配管 (配管工事) ・ 建築板金 (ダクト製作及び取付け) ・ 熱絶縁施工 (保温工事)

・ 冷凍空気調和機器施工 (チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び調整)

・ 別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン (厚生労働省平成21年4月改訂)」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。

※ 設けない ・ 設ける (号・・・建築工事仕様書)

本工事に必要な工事用電力、水、及び諸手続等の費用はすべて引渡まで受注者の負担とする。

構内に作ることが ※ できる ・ できない

・ 構外搬出 ※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積
建設発生土を構外へ搬出する場合 1建設発生土現場管理者 (複数可) を選任し、施工計画書に記載し、提出する。
2ダンプトラック等管理表を、工事着手前に監督員に提出する。 3建設発生土搬出等管理表を、搬出を行う日毎に作成し、1週間毎の集計表を監督職員に提出する。 4建設発生土は受入地において、搬出先土量を伝票により管理するとともに、搬出先の土量を確認する。

(1) 建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ・ なし ・ あり ()

(2) 冷媒回収費用は (・ 本工事 ・ 別途工事)

冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律 (フロン回収破壊法)」に従って行い、監督職員に第一種フロン類回収業者登録通知書の写し、フロン類回収証明書を提出する。ただし、家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」の対象となっているものは、法に従ってリサイクル (フロン類の回収を含む) を行い、監督職員に、特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写しを提出する。

(3) 引渡しを要するもの ※ なし ・ あり ()

(4) 廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、構外搬出の上、適切に処分する。

(ア) 特別管理産業廃棄物
※ なし ・ あり ()
(イ) 特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設
・ コンクリート ()
・ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ()
・ 木 材 ()
・ アスファルトコンクリート ()
(ウ) その他発生材の処分を行う施設
・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物 ()
・ 木くず等の管理型の産業廃棄物 ()

※アスベストについては、労働安全衛生法 (石綿障害予防規則) ・ 廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること

建設リサイクル法

・ 対象工事

落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第1号別表1~3のうち当該工事に該当する別表及び

工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。

・ 対象外工事

池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	池下久幸 (一級建築士) 第280837号	工 事 名 称 <u>令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事</u>	図面 No M-1
		図 面 名 称 <u>機械設備改修工事特記仕様書①</u>	

<p>18. 総合試運転調整等</p> <p>19. 容量等の表示</p> <p>20. 耐震措置</p>	<p>※ 本工事において下記の項目の総合試運転調整等を行い、報告書を提出する。 ・ 別途</p> <p>総合試運転調整等の項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 風量調整 室内気流及びじんあいの測定 末端水栓の水質測定 機器の絶縁抵抗の測定 水量調整 騒音の測定 浄化槽放流水質の測定 水圧調整 室内外空気の温湿度測定 初期運転状態の記録 <p>測定箇所は、監督職員の指示による。</p> <p>(1) 機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。</p> <p>(2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。</p> <p>機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。</p> <p>耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修2014年版）による。</p> <table border="1" data-bbox="460 399 1469 630"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="4">設計用標準水平震度（K_s）</th> </tr> <tr> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">一般の施設</th> </tr> <tr> <td></td> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.5 (2.0)</td> <td>1.0 (1.5)</td> </tr> <tr> <td>中層階</td> <td>1.5 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>1.0 (1.5)</td> <td>0.6 (1.0)</td> </tr> <tr> <td>一階及び地下層</td> <td>1.0 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.6 (1.0)</td> <td>0.4 (0.6)</td> </tr> <tr> <td></td> <th>重要水槽(飲料用)</th> <th>一般水槽</th> <th>重要水槽(飲料用)</th> <th>一般水槽</th> </tr> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>一階及び地下層、中層階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>注(1) 設置場所の区分は標準仕様書による。 注(2) ()内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。</p> <p>(3) 本工事の施設は(・ 一般の施設 ・ 特定の施設)とする。</p> <p>(4) 地域係数は1.0とする。</p> <p>(5) 100kg以下の軽質な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。</p> <p>(6) 昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平鉛直方向の地震力に対して、つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。</p> <p>特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。</p> <p>本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。なお、電気設備工事編標準仕様書第6編通信・情報設備工事による。</p>	設置場所	設計用標準水平震度（K _s ）				特定の施設		一般の施設			重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)	中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)	一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)		重要水槽(飲料用)	一般水槽	重要水槽(飲料用)	一般水槽	上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0	一階及び地下層、中層階	1.5	1.0	1.0	0.6	<p>32. 山留め</p> <p>33. 舗装工事</p> <p>34. 他工事との取り合い</p> <p>35. 再使用品の清掃</p> <p>36. 火気の使用</p> <p>37. 室内空気中の化学物質の濃度測定</p> <p>38. 施工調査</p> <p>39. アスベスト</p> <p>40. あと施工アンカー</p> <p>41. 既設インサート及びアンカーボルト</p> <p>42. 宮城県リサイクル製品利用促進について</p> <p>43. 施工条件</p> <p>44. 三相誘導電動機</p>	<p>切り取面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。</p> <p>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書2.2章（舗装工事）による。</p> <p>図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。</p> <p>再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。</p> <p>建物内での火気の使用は原則として行わない。</p> <p>室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を測定し、監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。</p> <p>測定対象室（ ）、測定箇所数（ ）</p> <p>・ 下記によるほか、改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。</p> <p>・ 施工計画調査 ・ 事前調査</p> <p>調査項目（ ・ ） 調査範囲（ ・ ） 調査方法（ ・ ）</p> <p>アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。</p> <p>アスベスト使用状況（ ）</p> <p>(1) あと施工アンカー ※接着系アンカー（接着剤は有機系とする） ※金属拡張系アンカー（※本体打込み式）</p> <p>(2) 試験等 性能確認試験 ※行わない ・ 行う</p> <p>施工確認 ※行う ・ 行わない</p> <p>既設インサート及びアンカーボルトを ※使用しない ・ 使用する</p> <p>・ 認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。 （使用製品名： 使用場所： ）</p> <p>※ 認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。</p> <p>別添の施工条件明示書による。</p> <p>省エネ法の特定機器の対象となる機器はJIS C 4034-30:2011のIE3（プレミアム効率）に相当する機器を導入すること。</p>																																										
設置場所	設計用標準水平震度（K _s ）																																																																																								
	特定の施設		一般の施設																																																																																						
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																					
上層階、屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)																																																																																					
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)																																																																																					
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)																																																																																					
	重要水槽(飲料用)	一般水槽	重要水槽(飲料用)	一般水槽																																																																																					
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																					
一階及び地下層、中層階	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																					
<p>21. 弁等のサイズ</p> <p>22. 電線類</p>	<p>対象配管系統 ・ 冷温水 ・ 冷却水 ・ 消火（水用） ・ 油 ・ ガス</p> <p>検査の種類 ・ 浸透探傷検査（PT）又は磁粉探傷検査（MT） ・ 放射線浸透検査（RT）</p> <p>既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>(1) 標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第3編2.1.13（b）に準ずる。</p> <p>(2) 横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。</p> <p>(1) ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。</p> <p>(2) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。</p> <p>(3) 冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。</p> <p>図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類 <p>地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。</p> <p>(1) 給水管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>(2) ガス管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>(3) 油管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>(4) 消火管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p>	<p>仮設工事</p> <p>2. 養生</p>	<p>本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。</p> <p>既設コンセントの使用 ※ 不可 ・ 可</p> <p>既設給水栓の使用 ※ 不可 ・ 可</p> <p>養生範囲（ ）</p> <p>養生方法（ ）</p>																																																																																						
<p>23. 溶接部の非破壊検査</p> <p>24. はつり</p> <p>25. 支持及び固定</p> <p>26. 支持金物・固定金具</p> <p>27. 埋戻し土・盛土</p> <p>28. 地中埋設標及び埋設表示用テープ</p> <p>29. 保温</p> <p>30. 塗装</p> <p>31. 防食処理</p>	<p>(1) 標準仕様書以外の天吊り機器の支持は、標準仕様書第3編2.1.13（b）に準ずる。</p> <p>(2) 横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。</p> <p>(1) ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。</p> <p>(2) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。</p> <p>(3) 冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。</p> <p>図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類 <p>地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示によるほか、屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。</p> <p>(1) 給水管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>(2) ガス管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>(3) 油管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>(4) 消火管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ</p> <p>・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。</p> <p>主機械室：</p> <ul style="list-style-type: none"> ダクトの保温の外装は下記による。内装は（ ・ ロックウール ・ グラスウール） <table border="1" data-bbox="460 1449 1469 1627"> <tr> <td rowspan="4">屋内露出</td> <td>倉庫・書庫</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>各階機械室</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>主機械室</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>居室・廊下など</td> <td>・ カラー垂鉛鉄板</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td colspan="2">屋内隠べい、PS内</td> <td colspan="2">・ アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td colspan="2">屋外露出、多湿箇所（ ）</td> <td colspan="2">・ ステンレス鋼板</td> </tr> </table> <p>・ 配管の保温の外装は下記による。内装は（ ・ ロックウール ・ グラスウール ・ ポリスチレンフォーム）</p> <table border="1" data-bbox="460 1648 1469 1827"> <tr> <td rowspan="4">屋内露出</td> <td>倉庫・書庫</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>各階機械室</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>主機械室</td> <td>・ アルミガラスクロス</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>居室・廊下など</td> <td>・ 合成樹脂製カバー</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td colspan="2">屋内隠べい、PS内</td> <td colspan="2">・ アルミガラスクロス</td> </tr> <tr> <td colspan="2">屋外露出、多湿箇所（ ）</td> <td colspan="2">・ ステンレス鋼板 ・ 着色アスファルトプライマー</td> </tr> </table> <p>(1) 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。</p> <p>※ 屋外露出 ※ 居室</p> <p>(2) 保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。</p> <p>土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）</p>	屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・	各階機械室	・ アルミガラスクロス	・	主機械室	・ アルミガラスクロス	・	居室・廊下など	・ カラー垂鉛鉄板	・	屋内隠べい、PS内		・ アルミガラスクロス		屋外露出、多湿箇所（ ）		・ ステンレス鋼板		屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・	各階機械室	・ アルミガラスクロス	・	主機械室	・ アルミガラスクロス	・	居室・廊下など	・ 合成樹脂製カバー	・	屋内隠べい、PS内		・ アルミガラスクロス		屋外露出、多湿箇所（ ）		・ ステンレス鋼板 ・ 着色アスファルトプライマー		<p>空気調和設備</p> <p>1. 設計温湿度</p> <table border="1" data-bbox="1513 1092 2864 1291"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="6">屋内（調整目標値）</th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th colspan="2">一般系統</th> <th colspan="2">コンピュータ一室系統</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <th></th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夏期</td> <td>30.6°C(9時) 32.4°C(12時) 32.6°C(14時) 31.8°C(16時)</td> <td>65.5%(9時) 60.2%(12時) 57.8%(14時) 61.0%(16時)</td> <td>26°C</td> <td>45%</td> <td>°C</td> <td>%</td> <td>24°C</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>-2.0°C</td> <td>69.2%</td> <td>22°C</td> <td>40%</td> <td>°C</td> <td>%</td> <td>24°C</td> <td>45%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 煙突</p> <p>2. ばい煙濃度計</p> <p>4. 煙道</p> <p>5. ダクトの区分</p> <p>6. 長方形ダクトの工法</p> <p>7. 風量測定口</p> <p>8. チャンバ</p> <p>9. 防煙ダンパ</p> <p>10. 配管材料</p>		外 気		屋内（調整目標値）						温度(DB)	湿度(RH)	一般系統		コンピュータ一室系統					温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	夏期	30.6°C(9時) 32.4°C(12時) 32.6°C(14時) 31.8°C(16時)	65.5%(9時) 60.2%(12時) 57.8%(14時) 61.0%(16時)	26°C	45%	°C	%	24°C	45%	冬季	-2.0°C	69.2%	22°C	40%	°C	%	24°C	45%	<p>取付箇所は図示による。</p> <p>※ 別途 ・ 本工事（鋼板厚 mm、高さ m以上）</p> <p>※ 煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。 ・ 図示による。（煙道径が400mmを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付ける。）</p> <p>低圧とする（高圧1及び高圧2の部位は図示による。）</p> <p>・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法（ ・ 共板 ・ スライド）</p> <p>取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。</p> <p>(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。</p> <p>(2) 空気調和機に取付けるサブライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。</p> <p>(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。</p> <p>(1) 復帰方式 ※ 遠隔式（電気式（定格入力DC24V、0.7A以下）</p> <p>(2) 復帰動作 ※ 順送り</p> <p>(1) 冷温水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p> <p>(2) 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・</p> <p>(3) 蒸気管（給気管） ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・</p> <p>（還水管） ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）</p> <p>(4) 油管、油用通気管（一般） ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・</p>
屋内露出	倉庫・書庫		・ アルミガラスクロス	・																																																																																					
	各階機械室		・ アルミガラスクロス	・																																																																																					
	主機械室		・ アルミガラスクロス	・																																																																																					
	居室・廊下など	・ カラー垂鉛鉄板	・																																																																																						
屋内隠べい、PS内		・ アルミガラスクロス																																																																																							
屋外露出、多湿箇所（ ）		・ ステンレス鋼板																																																																																							
屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・																																																																																						
	各階機械室	・ アルミガラスクロス	・																																																																																						
	主機械室	・ アルミガラスクロス	・																																																																																						
	居室・廊下など	・ 合成樹脂製カバー	・																																																																																						
屋内隠べい、PS内		・ アルミガラスクロス																																																																																							
屋外露出、多湿箇所（ ）		・ ステンレス鋼板 ・ 着色アスファルトプライマー																																																																																							
	外 気		屋内（調整目標値）																																																																																						
	温度(DB)	湿度(RH)	一般系統		コンピュータ一室系統																																																																																				
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																																																																																	
夏期	30.6°C(9時) 32.4°C(12時) 32.6°C(14時) 31.8°C(16時)	65.5%(9時) 60.2%(12時) 57.8%(14時) 61.0%(16時)	26°C	45%	°C	%	24°C	45%																																																																																	
冬季	-2.0°C	69.2%	22°C	40%	°C	%	24°C	45%																																																																																	
		<p>池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号</p>	<p>池下久幸 （一級建築士） 第280837号</p> <p>工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事</p> <p>図面名称 機械設備改修工事特記仕様書②</p> <p>図面 No M-2</p>																																																																																						

空気調和設備	11. 弁類	(5) 膨張管, 空気抜き管, 膨張タンクよりボイラ等への給水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・	衛生器具設備	①. 大便器洗浄弁	・ 洗浄タンク方式 ・ 洗浄弁方式(不凍結節水弁付)	
	12. 鋼管用伸縮管継手	(6) 空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・		②. 便器洗浄用タンク	※ 手洗なし ・ 手洗付	
換気設備	13. 温度計	(7) 冷媒管 ※ 断熱材被覆鋼管 ・ 鋼管 ※ JIS又はJV5K ・ JIS又はJV10K ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。	給水設備	③. 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。(・ 小便器一体型 ・ 小便器分離型)	
	14. 瞬間流量計	※ 着脱可能形(※ 全数 ・ 図示による) 着脱可能形の場合、その指示部(・ 40A用 個 ・ 100A用 個 ・ 250A用 個)を付属する。 ・ 固定形(止水コック付) ・ 測定用タッピング(32mmピト-管流量計用)		④. 器具付属水栓	固定こま式(節水こま式)とする。	
	15. オイルタンク	(1) オイルタンク本体は図示による。 (2) 遠隔油用指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない (3) 計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。		5. 自動水栓	※ 電源供給方式(※ AC100V) ・ 乾電池 ・ 自己給電	
	16. 積算油量計	図示の箇所に取付ける(熱源機器等)。		6. 温水洗浄便座加熱方式	・ 瞬間式 ・ 貯湯式	
	17. 注油口及び指示ボックス	標準図(機材 6)による。 ・ 単独形 ・ 共用形(・ ローリーアース付)		7. 大便器耐火カバー	設ける(ピット内を除く)	
	18. 消音内貼り	(1) 施工箇所は図示による。 (2) 内貼りチャンパー類の寸法表示は、外形寸法とする。 (3) 吹出口に接続するチャンパーの消音内貼りは別図による。		排水設備	1. 量水器	(1)親メーター ※ 措用 ・ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無) (2)子メーター ※ 買取り (隔測メーター ・ 有 ・ 無)
	19. 保温	(1)建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし(空気抜き弁も含む)、仕様は冷温水管の項による。 (2)屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。 (3)外気取り入れダクト及びチャンパーボックスの保温 ※ 要(全熱交換器の給気ダクトを含む) ・ 不要 (4)排気ダクトの外壁開放部より1m程度保温する。(チャンパーボックスを含む) (5)冷媒管(断熱材被覆鋼管)の保温外装 屋内露出部 ・ 保温化粧ケース(樹脂製) ・ 外装なし ・ 屋外 ・ 保温化粧ケース(樹脂製) ・			2. 量水器樹	(1)親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図(機材57) (2)子メーター用 ※ 標準図(機材57) ・ 水道事業者の指定品
	20. 電気工事の範囲	(1)地震感知器の配管配線 ※ 別途 ・ 本工事 (2)防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※ 別途 ・ 本工事			③. 配管材料	(1)一般用 (3)屋外土中用 ・ ステンレス鋼管(SUS304) ・ ステンレス鋼管(SUS316) ⓪ 塩ブライニング鋼管(・VA ・VB) ・ 塩ブライニング鋼管(VD) ⓫ ポリ粉体鋼管(・PA ・PB) ・ ポリ粉体鋼管(PD) ⓬ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ " (HIVP) ・ " (HIVP) (2)土間配管用(厨房、浴室等のシンダー内含む) ・ ポリエチレン管 ・ ステンレス鋼管(SUS316) ・ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 ⓭ 塩ブライニング鋼管(VD) ⓮ ポリ粉体ライニング鋼管(PD)
	21. 塗装	(1)屋内露出裸ダクトの塗装(居室を除く)は ※ 行わない ・ 行う (2)屋内露出冷却水配管の塗装(居室を除く)は ※ 行わない ・ 行う			4. 不凍水栓柱	化粧ケーシング(・ アルミ合金製 ・ 合成樹脂製)
	自動制御設備	1. 中央監視制御 2. 計装工事の配線			中央監視制御装置の構成機能は別紙による。 (1) 屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 (2) 天井内隠べいの配線は、図示に特記がなければケーブル配線とする。	⑤. 弁類
⑥. 給水栓			(1)屋内(※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓) (2)屋外(※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓) 湯沸室, 台所, 厨房用水栓は泡沫式とする。 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。			
換気設備	①. 準拠事項	[空気調和 ・ 冷房 ・ 暖房設備]の当該事項に準ずる。 ・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 9 ・ 18 ・ 19 ・ 21	7. 埋設深さ		(1)一般敷地内(m以上) (2)敷地内車両道路(m以上) (3)公道部分(※ 水道事業者及び道路管理者規定による)	
	2. 開放形湯沸器排気フード	※ 別途 ・ 本工事 ・ 既設	⑧. 保温		(1)量水器樹内の保温を行う。 (2)屋外露出配管(弁フランジを含む)は、標準仕様書第2編(表2.3.6 e2・(ハ))とし厚さは呼び径25mm以下は50mm, 呼び径32mm以上は40mmとする。	
排煙設備	3. 厨房用排気ダクト	※ 亜鉛鉄板 ・ ステンレス鋼板(SUS304)(板厚は高圧ダクトによる)	9. 埋設弁開閉用ハンドル		本工事に ※ 含む(水道事業者管理用以外の弁操作用) ・ 含まない	
	4. 厨房用排気ダクト工法	※ アンクルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法(共板フランジ又はスライドオンフランジ)	10. 水道加入金等		水道加入金 ・ 要(・ 本工事 ・ 別途) ・ 不要 ・ その他()	
自動制御設備	5. 厨房用排気フード	(1)フード周囲の天幕(フード面から天井面まで) ※ 取り付ける ・ 取り付けない (2)フードコック ※ 取り付ける ・ 取り付けない (3)材質(天幕とも) ※ ステンレス鋼板(SUS430又はSUS304)	11. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径60SU以下 SAS322(一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準)を満足した継手による接合 (2)呼び径75SU以上 ・ 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合		
	⑥. 多湿箇所の排気が外	次の系統のダクトのシールは、標準図(施工45, 46)のNシール+Aシール+Bシールとし、水抜き管を設ける。 ()	12. その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。		
自動制御設備	1. ダクト	・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(1.6mm以上)	給水設備	①. 配管材料	(1)屋内汚水管 (2)屋内雑排水管 (3)屋外土中汚水, 雑排水管 ・ 排水用塩ブライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP) ・ 鉛管 ・ 排水用塩ブライニング鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VU) ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管(REP-VU)	
	2. 排煙口の形式	・ 可動羽根(スリット共) ・ 可動パネル		(4)土間配管用 (5)通気管 (6)ポンプアップ排水管 ・ 排水用塩ブライニング鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ ポリ粉体鋼管(PD) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)		
自動制御設備	3. 排煙口開放装置	・ ワイヤー式 ・ 電気式(遠隔操作機能 ・ 要 ・ 不要)	給水設備	給水栓	台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。	
	4. 排煙風量測定方式	建築設協定期検査業務指導書((財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方式に準ずる。				
自動制御設備	1. 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。	給水設備	給水栓	台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。	
	2. 計装工事の配線	(1) 屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 (2) 天井内隠べいの配線は、図示に特記がなければケーブル配線とする。				
		池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	池下久幸 (一級建築士) 第280837号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事 図面名称 機械設備改修工事特記仕様書③	図面 No. M-3	

排水設備	2. 排水樹	<ul style="list-style-type: none"> ・ 樹リストは図面番号 () (1)材料 ・ RC ・ 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ SC (2)ふた ・ 鋳鉄製 (・ MHA ・ MHB ・ T8A) ・ 樹脂製 ※ 県マーク、流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付 (3)規格 ・ 日本下水道協会 (JSWAS) ・ プラスチック・マスマンホール協会 (PMMS) ・ 市町村別基準 (・ 有 ・ 無) 	6. その他	配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名 ()
	3. グリース阻集器	・ FRP製 (L) ・ SUS製 (L) 詳細は図示。	1. 方式 用途	方式 (・ ロープ式 ・ 油圧式) 用途 (・ 一般乗用 ・ 車いす用 ・ 荷物用)
	4. 満水試験継手	図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。	2. 積載量 (kg) 定員 (人)	積載量 (kg) 定員 (人)
5. 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後、煙試験を行う。 	3. 速度 (m/分) 停止箇所	速度 (m/分) 停止箇所 (箇所停止)	
6. 放流負担金等	・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)	4. 管制運転	・ 地震 ・ 火災 ・ 停電 ・ 冠水 ・ 自家発	
7. 基礎材	※ 再生クラッシャーラン	5. 工場検査予定	※ あり ・ なし	
		6. 無償保守期間	・ あり (ヶ月) ※ なし	
		① 特記事項	①施工計画書には、産業廃棄物処理計画を記載するとともに、解体施工前に事前調査を行い、その結果を「指定様式2-1建設副産物処理表(施工前調査表)」としてあらかじめ監督職員に提出すること	
		※建物一式のとりこわし工事に適用とし、機器等の改修工事は適用外	②撤去品の一切については、有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い、その結果を「指定様式2-2建設副産物処理表(撤去品調査後)」として監督職員に提出すること	
			③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある撤去品を確認した場合には、速やかに監督職員と協議するとともに、産業廃棄物処理計画の変更を行い、監督職員の確認を得た上で処理・処分すること	
			④撤去品の取扱いについては、関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに、その結果を「指定様式2-3建設副産物処理表(最終)」として監督職員に提出すること	

給湯設備	1. 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステンレス鋼管 (SUS304) ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 銅管 ・ 被覆鋼管 ・ 保温付被覆鋼管 <p><膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。></p>
	2. 弁類	給水設備の当該事項による。
	3. 湯沸器の排気筒	厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。
	4. 保温	湯沸器の給排気筒(二重管)のいんぺい部保温を行う。標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5の(h・(i)・X)
	5. ステンレス管の接合方法	<ul style="list-style-type: none"> (1)呼び径60SU以下 SAS322(一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準)を満足した継手による接合 (2)呼び径75SU以上 ・ 溶接接合 ・ ハウジング形管継手による接合 ・ フランジ接合

消火設備	1. 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> (1)一般 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) (2)地中埋設部 <ul style="list-style-type: none"> ・ 外面被覆鋼管 (SGP-VS) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (SGP-PS) ・ 外面被覆鋼管 (STPG-370VS) ・ ポリエチレン被覆鋼管 (STPG-370PS) (3)二酸化炭素用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管(継目無管) (Sch80)
	2. 屋内消火栓種別	・ 易操作性1号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 広範囲型2号消火栓
	3. 消火栓開閉弁	・ JIS10K ・ JIS20K
	4. 保温	<ul style="list-style-type: none"> (1)屋外露出管については給水管に準ずる。 (2)充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する (3)消火配管の保温 <ul style="list-style-type: none"> 屋内消火栓 ・ 施工しない ・ 施工する スプリンクラー ・ 施工しない ・ 施工する
	5. 消火器類	<ul style="list-style-type: none"> (1)消火器 種別 ・ 数量 () (2)消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量 ()

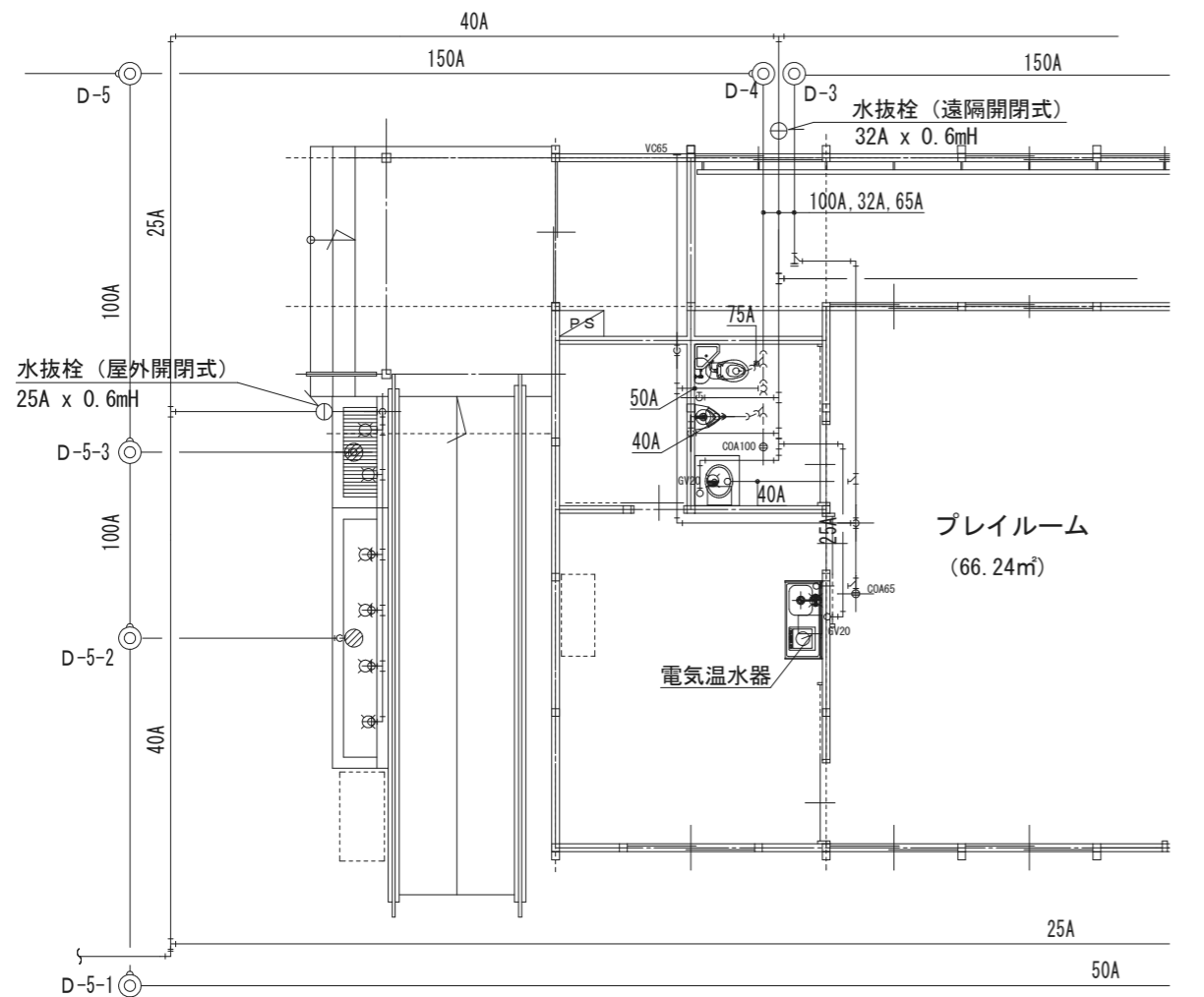
厨房機器設備	1. 厨房機器類	<ul style="list-style-type: none"> (1) 図示による(材質などは標準仕様書による)。ただし、寸法は参考とする。 (2) 厨房機器据付要領は、標準図施工74による。
--------	----------	---

ガス設備	1. 配管材料	<ul style="list-style-type: none"> (1)一般 <ul style="list-style-type: none"> ※ 配管用炭素鋼鋼管(白) ・ ガス事業者の規定による ・ ・ (2)地中埋設部 <ul style="list-style-type: none"> ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管 ・
	2. 都市ガス	<ul style="list-style-type: none"> (1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事 (2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要 (・ 別途工事 ・ 本工事)
	3. 液化石油ガス	<ul style="list-style-type: none"> (1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り (・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本) (2)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。 (3)集合装置 ・ 標準図(施工72)による (本組) (4)転倒防止等 ・ 標準図(施工73) { ・ (a) ・ (b) } ・ ボルト、チェーン等はSUS製とする。 ・ 容器固定具をGL+300に追加設置する。
	4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける (・ 分離形 ・ 一体形) ・ 別途電気工事 外部出力端子 (・ あり ・ なし)
	5. 埋設深さ	<ul style="list-style-type: none"> (1)一般敷地内 (m以上) (2)敷地内車両道路 (m以上) (3)公道 (ガス供給事業者及び道路管理者規定による)

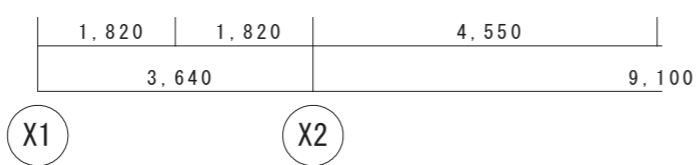
表1「完成書類」 本工事終了後下記の書類を提出すること。					
名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1 完成調書	営繕工事完成引渡要領(令和3年4月1日版)	1部	6 取扱説明書	A4版:黒表紙金文字製本(2 完成図書と合本可)	1部
2 完成図書	A4版:黒表紙金文字製本(機器完成図、取扱説明書と合本可。ただし、厚さが80mmを超える場合は分冊とする。)	1部	①保守に関する案内書	⑤完成図書電子データ	
3 完成図(縮小)	白焼縮小製本	2部	②機器別取扱説明書	10 工事に関する承諾確認書	
4 完成図・施工図(電子データ)	JWW又はDXF形式CADデータ及びPDF形式	CD 2枚	③緊急連絡先一覧		
5 機器完成図	A4版:黒表紙金文字製本(2 完成図書と合本可)	1部	④各種保証書	A4版:チューブ式ファイル	1部
①機器別完成図			7 管理の手引き		
②機材材質証明書			①工事概要書		
③機材検査成績書			②機器完成図		
④工場試験成績書			③機器別取扱説明書		
⑤工場立会検査成績書			④保守に関する案内書		
⑥現場据付試験成績書			⑤緊急連絡先一覧表		
⑦総合試運転成績書			8 工事写真		
			①施工写真	A4版:チューブ式ファイル(着手前、施工状況、完成の各写真)	1部
			②完成写真	A4版:ペーパーファイル 完成届に添付	
			9 工事に関する書類	A4版:チューブ式ファイル	1部
			①施工計画書		
			②施工要領書		
			③承諾書・確認書		
			④協議書		
			⑤打合せ議事録		
			⑥工事週報又は日報		
			⑦安全に関する書類		
			⑧廃棄物管理票の写し		

注記: 機器及びシステム参考図について
本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

池下建築設計一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21610219号	池下久幸 (一級建築士) 第280837号	工事名称 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	図面 No M-4
		図面名称 機械設備改修工事特記仕様書④	



給排水衛生設備
平面図
S=1:100

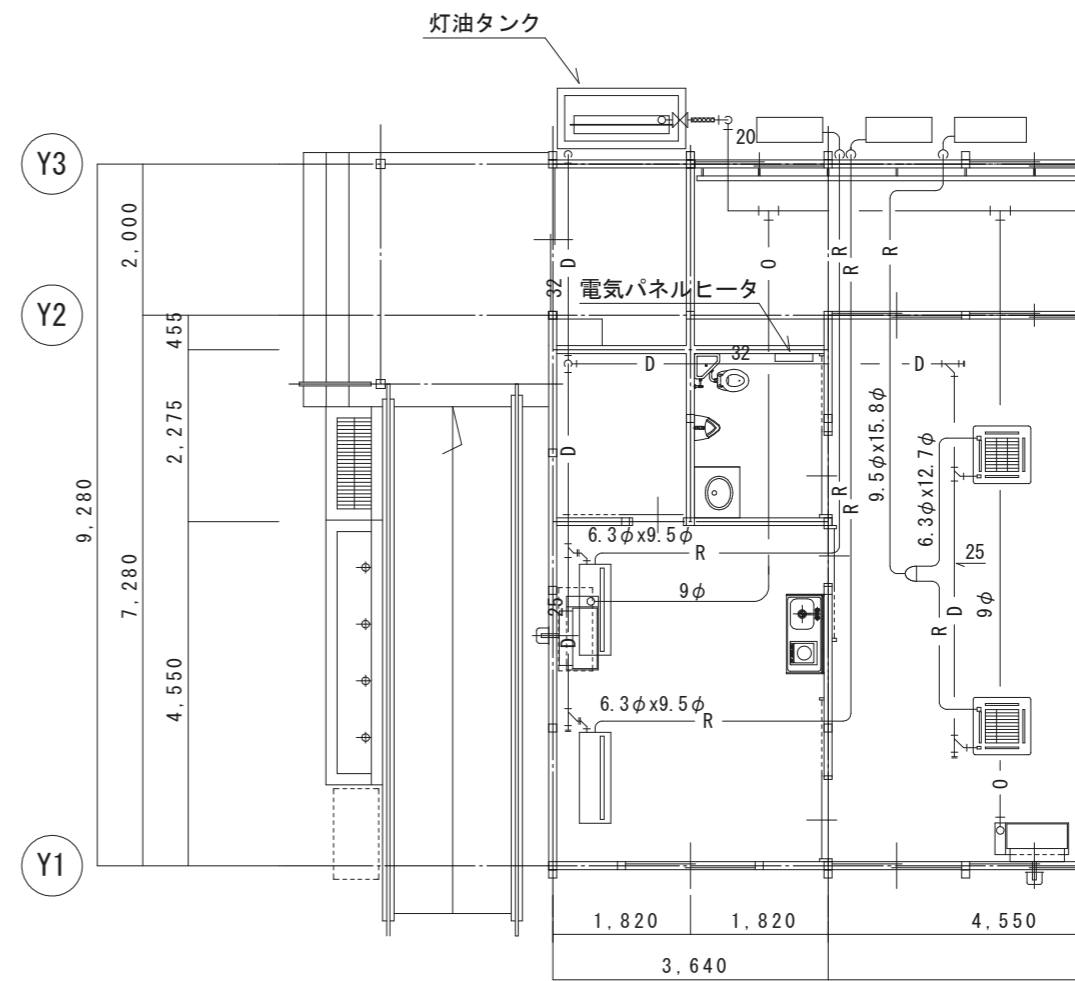


衛生器具表

室名	品名	品番	付属品・等	数量
とみやっこルーム	ミニキッチン	建築工事	混合水栓、換気扇、他 本工事：電気温水器12L REW12A1BH (AC100V)	1

樹リスト

樹No.	種別・接続管径			下流側 管底 (mmH)	蓋・等	備考
	種別	接続管径	種別			
D-3	合流点	90Y	150 x 65-200	725	樹脂製	既存
D-4	合流点	90Y	150 x 100-200	730	樹脂製	既存
D-5	合流点	90Y	150-200	800	鑄鉄T8A	既存
D-5-1	屈曲点	90L	150-200	670	樹脂製	
D-5-2	合流点	90Y	100 x 50-200	720	樹脂製	
D-5-3	合流点	90Y	100 x 50-200	750	樹脂製	



空気調和設備
平面図
S=1:100

機器表

名称	仕様	台数 (SET)	型番
灯油タンク	型式 屋外用 据置式 材質 溶融亜鉛メッキ鋼板 容量 198 L 使用燃料 灯油	1	KH2-198
	付属品 油量計、指示計、配線		
	防油堤 1500L x 600W x 300H	1	ABQ-250R

エアコンリスト (既存)

室名	形式	冷房能力 (KW)	暖房能力 (KW)	電源	消費電力			台数 (SET)	備考
					圧縮機 (KW)	ファン内 (KW)	ファン外 (KW)		
とみやっこルーム	ハウジングエアコン・天井吊付・1方向	2.8	4.0	単相200V	0.75	0.03	0.05	2	ワイヤードリモコン、MLZ-RX28RAS

◎ エアコン共通 二次側配線、防振吊金具、真空引・液充填、室外機既製品架台500H。

暖房機器表 (既存) : 移設工事

室名	形式	暖房能力 (KW)	電源	燃焼時消費電力 (W)	台数 (SET)	型番	備考
とみやっこルーム	背面給排気式	3.48	単相100V	30	1	FF-3510GS	給排気筒用保護ガード、背面カバー

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

(株)池下建築設計

管理者

設計者

担当者

図面名

M-5 既存 機械設備図①

図面No.

M-5

備考

宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3

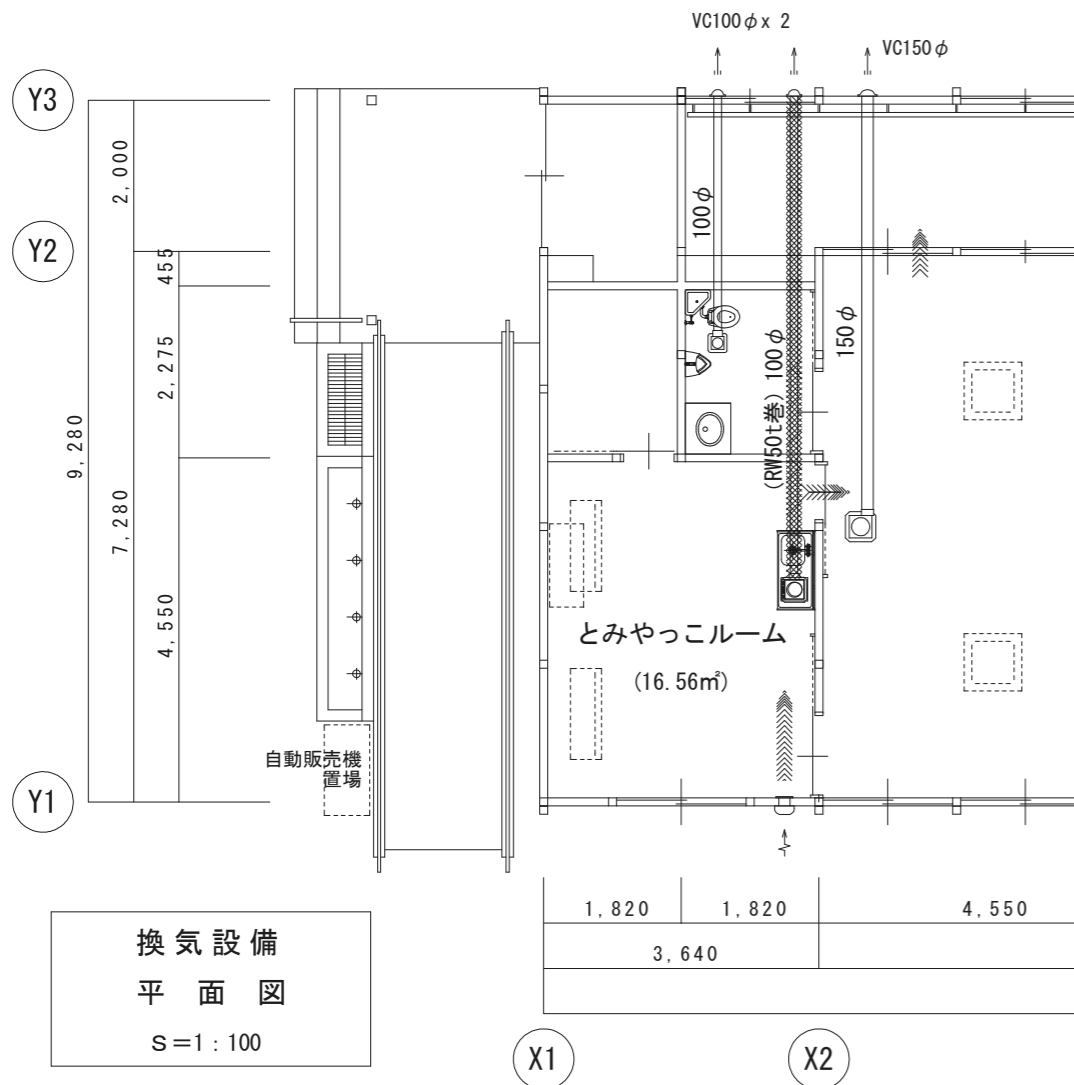
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

日付

日付

日付

縮尺 1/100



換気設備
平面図
S=1:100

凡例

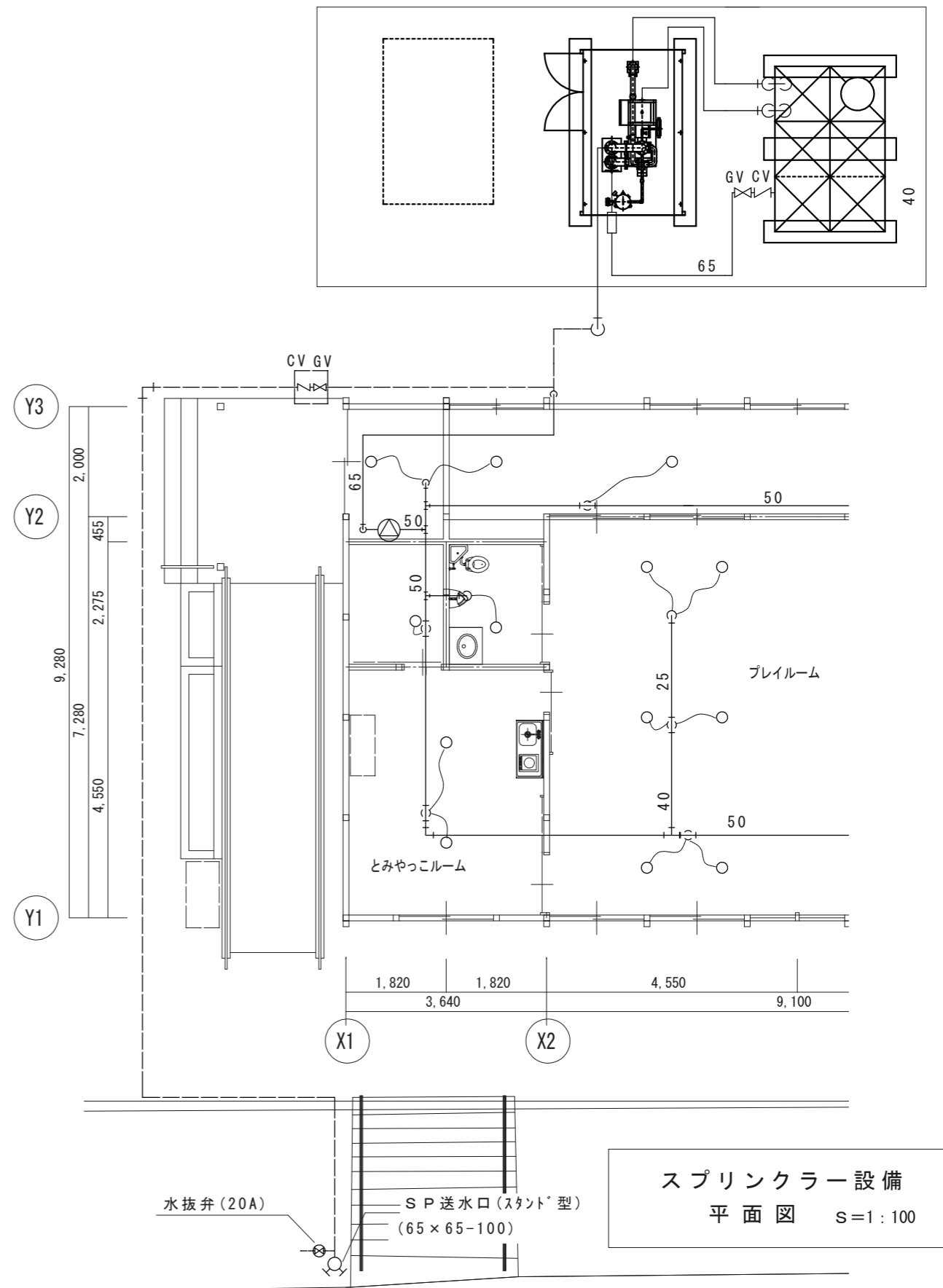
	24時間換気気流
	自然給気口 150φ 給気グリル150φ (P-18GLF5、ネットフィルタ、風量調整付) バンドキャップ150φ (P-18VSQ3、SUS深形フード、防虫網付)
	天井点検口 450x450 : 建築工事

換気扇 リスト

室名	形式	羽根径φ	風量 m3/h	静圧 Pa	電気容量		台数	備考
					電源	消費電力 W		
とみやっこルーム	天井埋込形・低騒音	100	150	50	〃	18.0	1	(VD-15ZY8)ミニキッチン組込

部屋ごとの換気量計算

室名	床面積 m2	天井高さ m	気積 m3	換気種別	常時換気			自然給気口 (50m3/h・個)		局所換気 有効換気量 $V=20 \cdot Af \cdot N$ (m3/h) Af = 実床面積 m2 (窓面積減じない)、 N = 一人当りの占有面積 m2.
					換気回数 n (回/h)	換気量 m3/h	排気機 m3/h	m3/h	150φ	
とみやっこルーム	16.56	2.70	44.71	第三種	0.54	30		50	1個	7人、N=2.3 $V=144.0 \rightarrow 150$ m3/h 火気使用・IHヒーター $\rightarrow 120$ m3/h



スプリンクラー設備
平面図
S=1:100

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事

(株)池下建築設計

管理者

設計者

担当者

図面名

M-6 既存 機械設備図②

図面No.

M-6

備考

宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3
TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ

日付

日付

日付

縮尺 1/100

記号	名称	備考
FP-1	スプリンクラーポンプ	消防認定品 附属品一式 標準色
○	スプリンクラー ヘッド	閉鎖型1種 72℃ 0.1MPa 80L/mis
⊗	スプリンクラー ヘッド	閉鎖型1種 96℃ 139℃ 0.1MPa 80L/mis
⊗	流水検知装置	湿式 80A (認定品) 附属品一式
⊗	末端試験装置	圧力計、弁、オリフィス
⊗	送水口	スタンド壁型 65A x 65A x 100A
⊗	補助散水栓	
—	仕切弁	JIS10K
—	逆止弁	JIS10K
—	フレキシブル継手	JIS10K SUS製 (消防認定品)
⊗	ポールタップ	ポンプ附属品
⊗	フート弁	80A
⊗	圧力計	ポンプ附属品
⊗	連成計	ポンプ附属品
—S—	湿式型スプリンクラー用配管	JIS-G-3452 (白) 埋設部外面被覆鋼管SGPVS
—D—	排水管	JIS-G-3452 (白)
///	電熱ヒーター巻	凍結の恐れのある部分
—	電線電線管	HP1.2

ポンプ吐出量 水源容量

設備名	同時個数 (個、台)	基本吐出量 (L/min)	ポンプ吐出量 (L/min)	基本容量 (m3)	必要水源容量 (m3)
スプリンクラー 設備	8	80	720	1.6	12.8
必要水源容量合計 (m3)					12.8

ポンプ全揚程

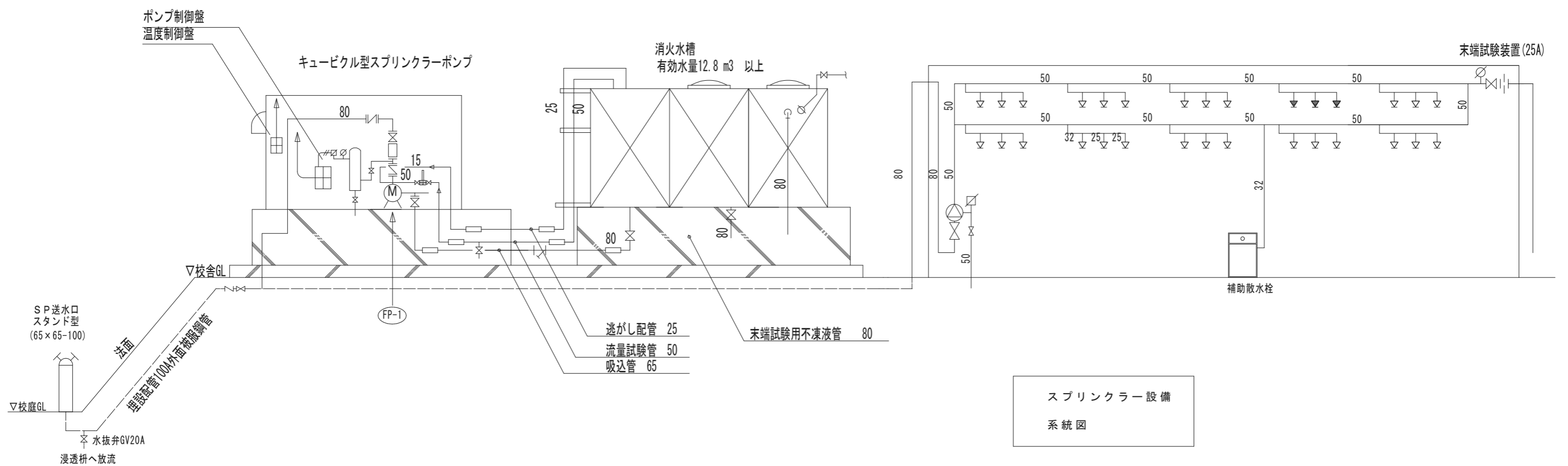
機器名称	損失水頭 (m)					
	損失水頭	放水圧力	吐出揚程	吸込揚程	アラーム損失	合計 (m)
湿式スプリンクラー	27.9	10.0	4.5	0	5.0	52.2

機器仕様

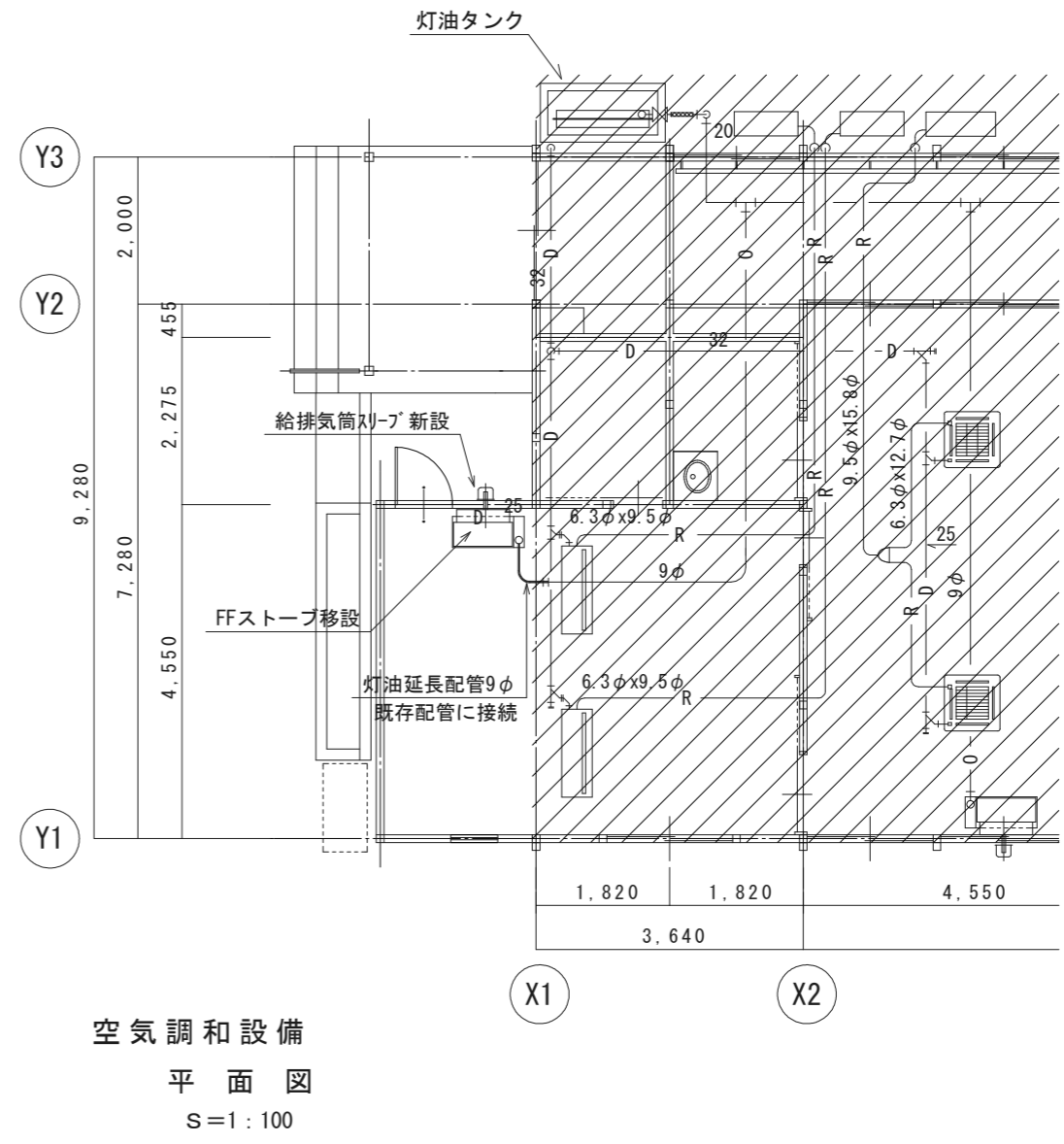
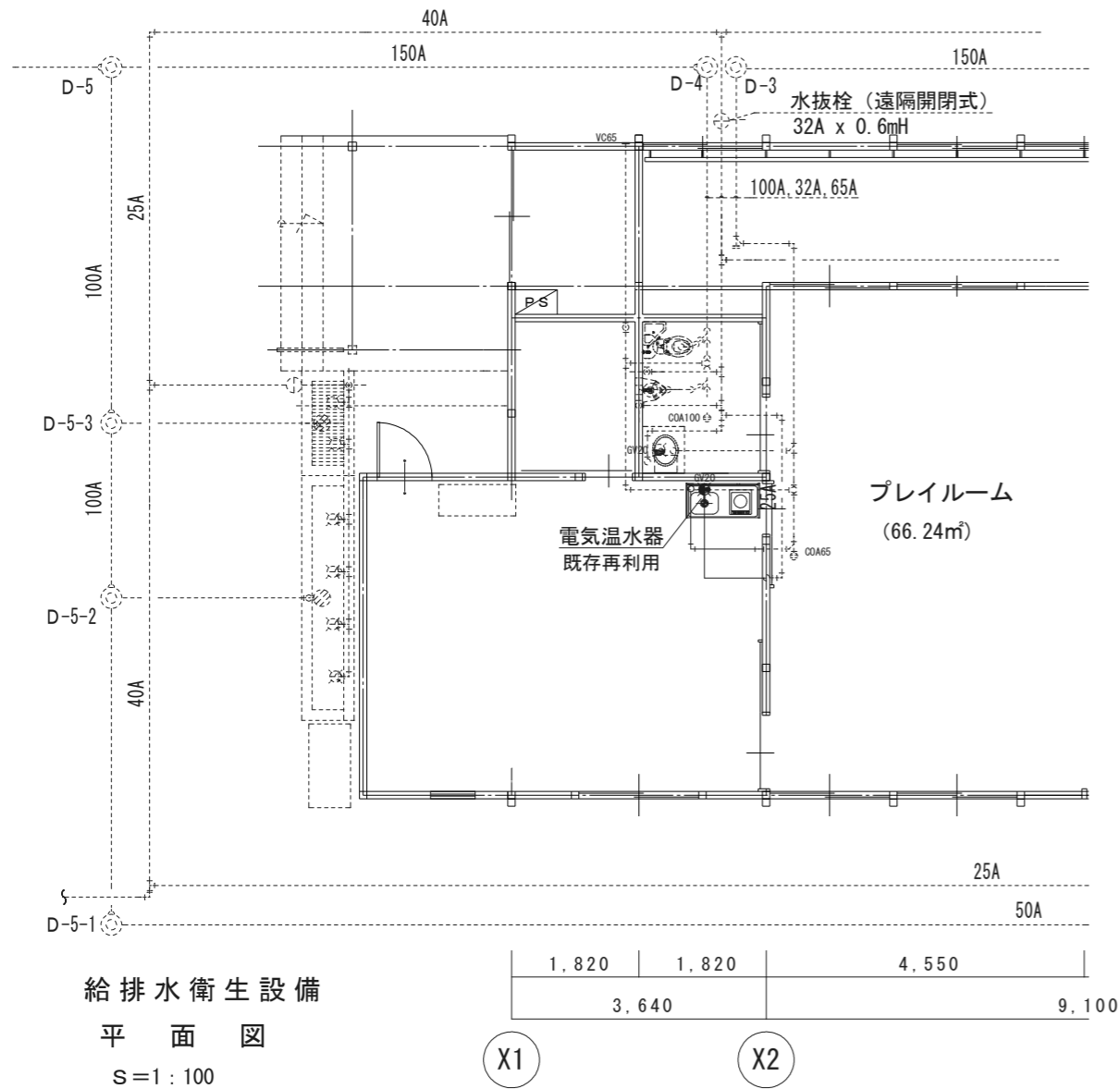
機器名称	機器仕様
FP-1 キュービクル型 スプリンクラーポンプ	80 x 720 L/min x 5.4 m x 1.1 Kw x 200V x 50Hz λ-Δ

注記

- ◇ 工事区分 (スプリンクラー設備)
 - 一次側給水工事、図示以降の排水工事 衛生工事
- ◇ 別途工事
 - 一次側電気工事、表示警報用電気工事、自火報受信機に至る電気工事 (アラーム弁警報、ポンプ起動、ポンプ異常)、非常電源、補助散水栓、盤内蔵機器及び関連電気工事 電気工事
 - 消火水槽基礎、ポンプ基礎、 建築工事
- ◇ 特記
 - スプリンクラー設備配管内不凍液注入とする
 - 不凍液注入加圧ポンプ設置位置は打合せにより決定する



工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 M-7 既存 機械設備図③	図面No. M-7
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺	



衛生器具表

室名	品名	品番	付属品・等	数量
とみやっこ ルーム	ミニキッチン移設	建築工事	混合水栓(再利用)、換気扇(撤去)	1
			再利用: 電気温水器12L REW12A1BH (AC100V)	

本工程: 既存ミニキッチンを移設、再利用する。
 既存ミニキッチンの換気扇及びダクト部分を撤去する。
 既存ミニキッチンのIHクッキングヒーターは不使用とする。
 既存ミニキッチンの給排水の延長配管接続工事。
 既存ミニキッチンの電気温水器は再利用する。

エアコン (既存を利用し、移設・増設工事無し)

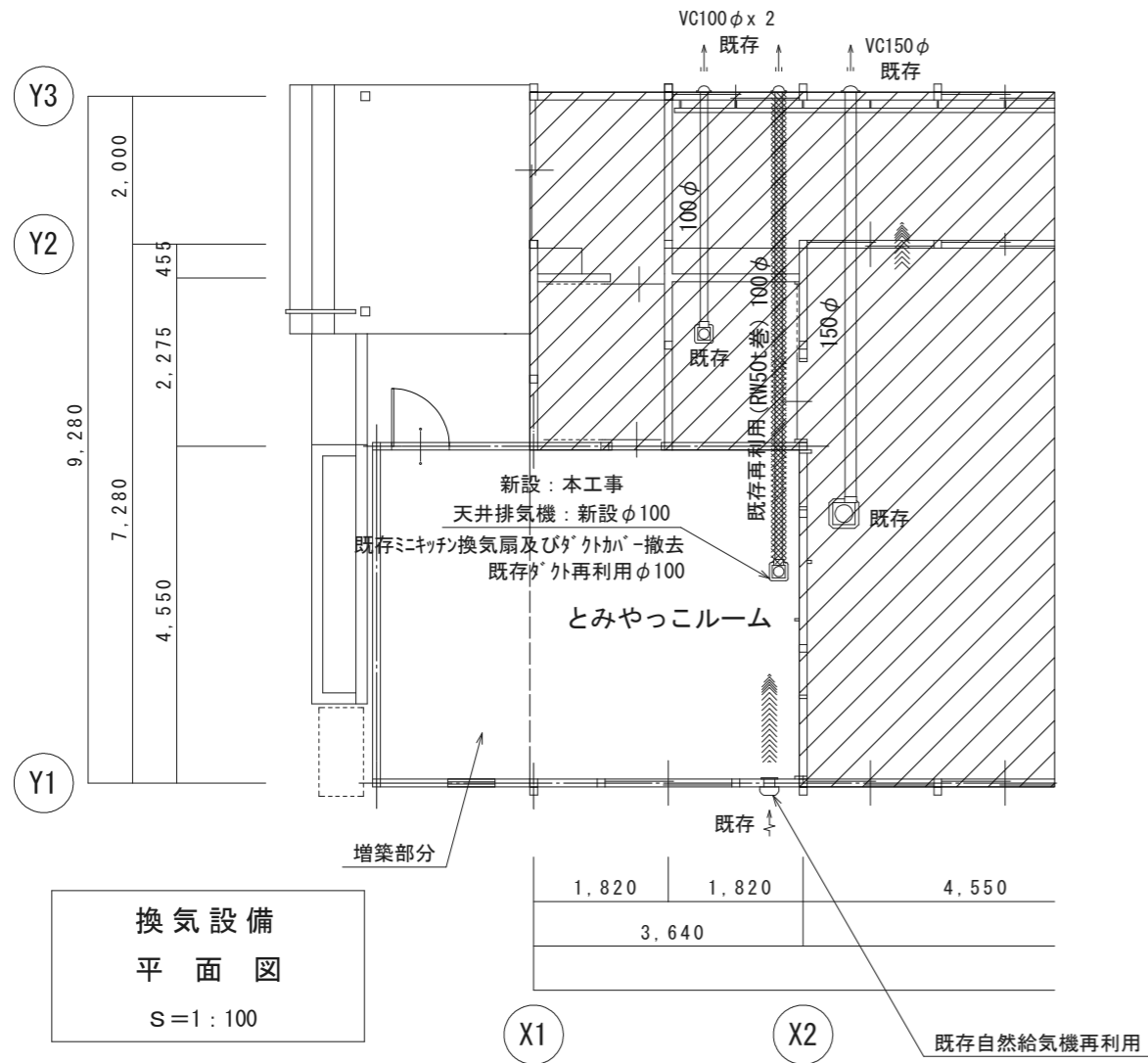
室名	形式	冷房能力 (KW)	暖房能力 (KW)	電源	消費電力			台数 (SET)	備考
					圧縮機 (KW)	ファン内 (KW)	ファン外 (KW)		
とみやっこルーム	ハウジングエアコン・天井セット・1方向	2.8	4.0	単相200V	0.75	0.03	0.05	2	ワイヤードリモコン、MLZ-RX28RAS

◎ エアコン共通 二次側配線、防振吊金具、真空引・液充填、室外機既製品架台500H。

暖房機器 (既存再利用: 移設工事)

室名	形式	暖房能力 (KW)	電源	燃焼時 消費電力 (W)	台数 (SET)	型番	備考
FF式温風暖房機 とみやっこルーム	背面給排気式	3.48	単相100V	30	1	FF-3510GS	給排気筒用保護ガード、背面カバー

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 増築 給排水、空調調和設備	図面No. M-8
		宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付		



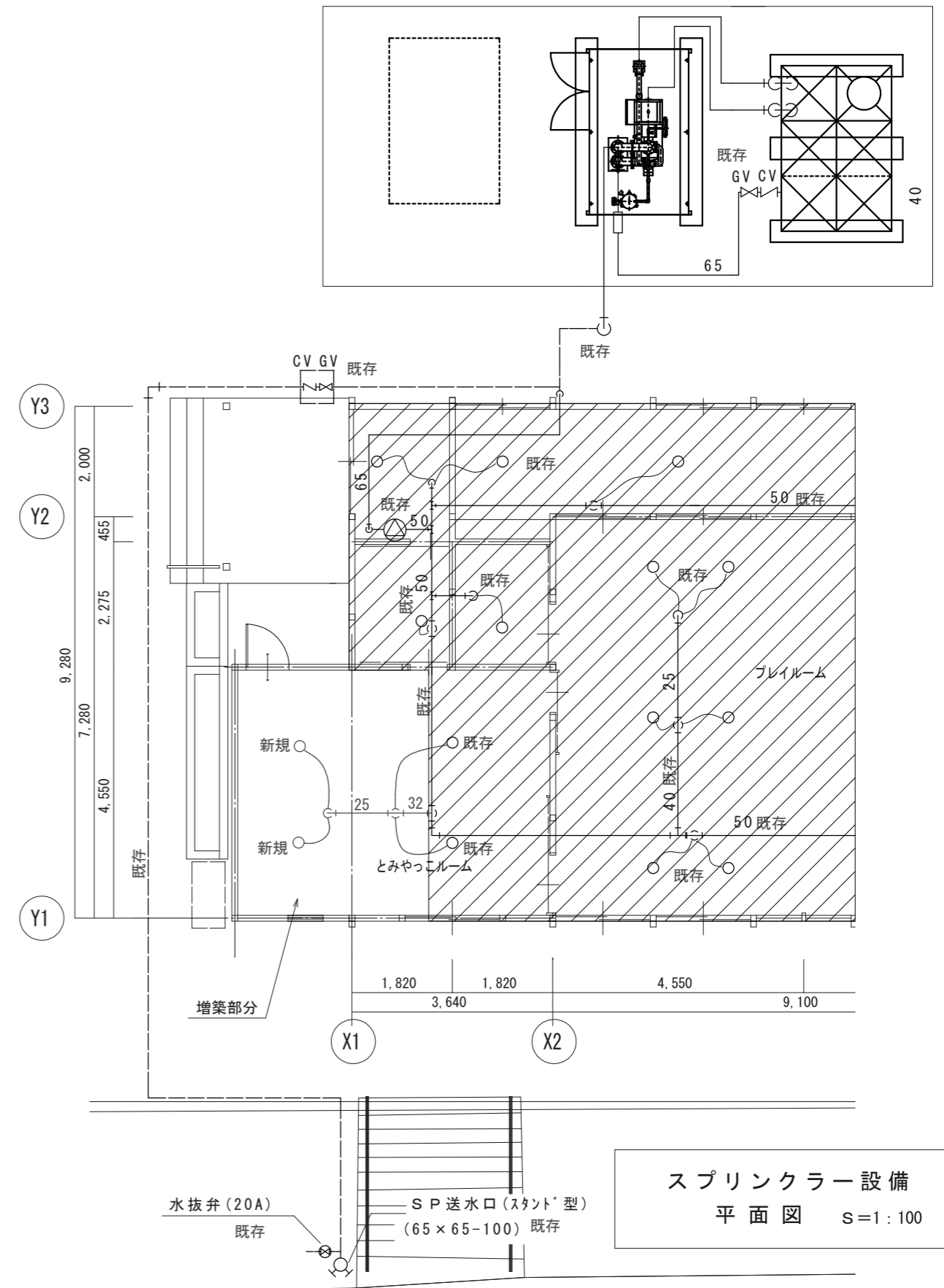
換気設備
平面図
S=1:100

凡例

	24時間換気気流
	自然給気口 150φ
	給気グリル150φ (P-18GLF5、ネットフィルター、風量調整付)
	ベンドキャップ150φ (P-18VSQ3、SUS深形フード、防虫網付)

部屋ごとの換気量計算

室名	床面積 m ²	天井高さ m	気積 m ³	換気種別	有効換気風量		自然給気口	
					換気回数 n (回/h)	ハ17'長さ20m時 m ³ /h	(50m ³ /h・個)	150φ
とみやっこルーム	26.22	2.70	70.79	第三種	0.72	51 三菱VD-13ZLC13-C 新設: 本工事	50	1個



スプリンクラー設備
平面図
S=1:100

工事名 令和5年度 西成田コミュニティセンター増築工事	(株)池下建築設計	管理者	設計者	担当者	図面名 増築 換気、スプリンクラー設備図	図面No. M-9
備考	宮城県富谷市三ノ関三枚橋27-3 TEL 022-348-8555 FAX TELと同じ	日付	日付	日付	縮尺 1/100	